

経済産業省委託調査

# UN/CEFACT コア構成要素 ユーザーズガイド

平成16年3月



電子商取引推進協議会  
財団法人日本情報処理開発協会  
電子商取引推進センター

(表紙裏)

この報告書は、平成14年度補正受託事業として(財)日本情報処理開発協会電子商取引推進センターが経済産業省から委託を受けて、電子商取引推進協議会(ECOM)の協力を得て実施した「市場構造改革に伴う業務・システムの企業間統合基盤整備」の成果です。

はじめに

2004年9月、国連の標準EDI推進機関である UN/CEFACT (United Nation / Center for Trade Facilitation and eBusiness)の技術・手法グループ(Technologies and Methodologies Group)のコア構成要素ワーキンググループより、UN/CEFACT コア構成要素ユーザーズガイドの暫定版が発表された。

UN/CEFACT コア構成要素ユーザーズガイドは、企業間電子ビジネスを遂行する上で核となるビジネス情報項目の定義手法を規定した UN/CEFACT コア構成要素技術仕様書の利用者マニュアルである。

国際取引のみならず、国内業界における電子取引も、ビジネス情報モデルからその標準化の必要性が認識されつつあり、当ガイドラインは企業間電子取引の標準化推進に役立ち、ひいては企業間電子取引の普及が促されるであろう。

(財)日本情報処理開発協会では経済産業省の委託(平成14年度補正「市場構造改革に伴う業務・システムの企業間統合基盤整備」)を受けて、複数の業界において8つの業務プロセス標準化プロジェクトを担当しており、それらプロジェクトの情報モデリング作業を標準的手法に基づき推進するために、UN/CEFACT コア構成要素ユーザーズガイドを翻訳した。当該手法は、当面の8つのプロジェクトに限らず、国内産業界で広く利用されることにより、ビジネス情報の標準化が促進されることを期待し出版するものである。

平成16年3月

財団法人日本情報処理開発協会  
電子商取引推進センター



UN/CEFACT

**DRAFT**

United Nations Centre for Trade Facilitation and Electronic Business

## UN/CEFACT – コア構成要素 ユーザーズ ガイド

2003 年 9 月 9 日

## 目次

UN/CEFACT – コア構成要素 ユーザーズガイド.....	1
目次.....	2
1.0 本書のステータス.....	5
2.0 UN/CEFACT – コア構成要素 ユーザーズガイド プロジェクト チーム参加者.....	6
2.1 免責事項.....	6
2.2 連絡先.....	6
3.0 概要.....	7
3.1 序論.....	7
3.2 大局的な見地におけるコア構成要素.....	7
3.3 コア構成要素を使用できる時と場所.....	8
4.0 コア構成要素の識別.....	10
4.1 情報はクラス図でどのようにモデル化されているか?.....	10
4.2 コア構成要素序論.....	10
4.3 コア構成要素 タイプおよびデータ タイプ序論.....	13
4.4 ビジネス情報エンティティ序論.....	14
4.5 「コンテキスト」とは?.....	15
4.5.1 コア構成要素の標準化におけるコンテキストの使用.....	16
4.6 ビジネス コラボレーションのモデリング.....	17
4.7 コア構成要素およびビジネス情報エンティティの命名規則.....	21
4.7.1 序論.....	21
4.7.2 コア構成要素の辞書見出し名 (CCT, BCC, ACC, および ASCC) .....	21
4.7.2.1 コア構成要素 タイプおよびデータ タイプの辞書見出し名.....	21
4.7.2.2 基本コア構成要素の辞書見出し名.....	23
4.7.2.3 コア構成要素集合体の辞書見出し名.....	24
4.7.2.4 関連コア構成要素の辞書見出し名.....	24
4.7.3 ビジネス情報エンティティの辞書見出し名 (BBIE, ABIE, ASBIE).....	25
4.7.3.1 基本ビジネス情報エンティティの辞書見出し名.....	25
4.7.3.2 ビジネス情報エンティティ集合体の辞書見出し名.....	26
4.7.3.3 関連ビジネス情報エンティティの辞書見出し名.....	27
4.7.4 ビジネス用語.....	28
4.8 コア構成要素の発見.....	29
4.8.1 発見のプロセス.....	29
4.8.2 詳細なコア構成要素識別のステップ.....	29
4.8.2.1 詳細な情報の識別.....	30
4.8.2.2 ビジネス情報エンティティの精緻化.....	31
4.8.2.3 コア構成要素の識別と作成.....	33

4.8.3	複数のステップに適用可能なプロセス.....	36
4.8.3.1	コア構成要素のためのレジストリ/レポジトリの検索 .....	36
4.8.3.2	前方/後方解釈ガイドライン .....	38
5.	例.....	39
5.1	ボーイング社予備部品調達例.....	39
5.1.1	ビジネス条件ビュー (BRV).....	39
5.1.1.1	ビジネス プロセス コース ケースの説明.....	39
5.1.1.3	ビジネス コラボレーション プロトコル.....	42
5.1.1.4	文書内容の記述.....	43
5.1.2	ビジネス トランザクション ビュー (BTV).....	45
5.1.2.1	ビジネス トランザクション アクティビティ図.....	45
5.1.2.2	オブジェクト クラス図.....	46
5.1.3	ビジネス サービス ビュー (BSV).....	47
5.1.3.1	シーケンス図.....	47
5.1.3.2	ビジネス情報コンテキスト.....	47
5.1.3.3	文書クラス ビュー.....	49
5.1.4	コア構成要素モデルの完成.....	50
5.1.4.1	コア構成要素付きの詳細なクラス図.....	61
5.1.5	コア構成要素を使用したビジネス文書構築例.....	61
5.1.5.2	文書データ構造条件を記述する文書タイプ定義 (DTD) ファイル.....	63
5.1.5.3	文書データ構造およびデータ タイプ条件を記述する XML スキーマ ファイル.....	64
5.1.5.4	発注のブラウザ ビュー.....	66
5.1.5.5	EDIFACT 例.....	68
5.1.5.5.1	序論.....	68
5.1.5.5.2	表.....	68
5.1.5.5.3	セグメント テーブル.....	72
5.1.5.5.4	ステップ.....	75
5.1.6	結論.....	77
5.2	EAN.UCC FMCG 小売配送例.....	78
5.2.1	ビジネス条件ビュー (BRV).....	78
5.2.1.1	ビジネス プロセス コース ケース説明.....	78
5.2.1.2	ビジネス プロセス アクティビティ図.....	79
5.2.1.3	コース ケースの具体化.....	79
5.2.1.4	ビジネス プロセス コース ケース図.....	80
5.2.1.5	条件一覧.....	81
5.2.1.6	ビジネス情報オブジェクト用語解説.....	82
5.2.2	ビジネス トランザクション ビュー (BTV).....	83
5.2.2.1	ビジネス トランザクション アクティビティ図.....	83
5.2.2.2	ハイレベル クラス図.....	85
5.2.2.2.1	配送ビジネス プロセス.....	85

5.2.2.2.2 発送通知ビジネス文書.....	86
5.2.2.2.3 受領通知ビジネス文書.....	86
5.2.3 ビジネス サービス ビュー (BSV).....	88
5.2.3.1 シーケンス図.....	88
5.2.3.2 コンテキスト分類スキーム.....	89
5.2.3.3 詳細クラス図.....	90
5.2.3.4 サブセット ビジネス文書クラス図 (詳細).....	91
5.2.3.4.1 発送通知ビジネス文書 (クラス図):.....	91
5.2.3.4.2 受領通知ビジネス文書 (クラス図).....	92
5.2.4 コア構成要素参照リスト.....	93
5.2.5 コア構成要素概観.....	95
6. 用語解説.....	100
付録 A.....	101
参考文献.....	101
著作権表示.....	103

## 1.0 本書のステータス

このユーザー ガイドは、UN/CEFACT TMG のユーザー ガイド作成手続きに従って作成されています。本書は、コア構成要素補足文書プロジェクト チームによって内部審査が承認されています。

本書には、UN/CEFACT ebXML コア構成要素技術仕様の解釈または実施をガイドする情報が含まれています。

本バージョン: コア構成要素 ユーザーズ ガイド、第 1.0 版、2003 年 6 月 18 日

## 2.0 UN/CEFACT – コア構成要素 ユーザーズガイド プロジェクト チーム参加者

本書の開発への有意義な参加に対して、以下の方々に謝意を表します。

プロジェクト チーム リーダー:

Fred van Blommestein Berenschot

編集主幹: Paula Heilig Worldspan

寄稿者:

Mary Kay Blantz	Electronic Commerce Services
Sally Chan	The Boeing Company
Regenald Kramer	EAN International
Boonserm Kulvatunyou	NIST
Kim Lambert	LMI
Melanie McCarthy	General Motors
Monica Martin	Sun
Sue Probert	
Gunther Stuhec	SAP AG
John Yunker	Amazon

### 2.1 免責事項

本書に示された見解および仕様は著者のものであり、必ずしもその雇用者のものではありません。著者並びにその雇用者は、本技術仕様の正確または不正確な実施または使用に起因するあらゆる問題の責任を明確に否認します。

### 2.2 連絡先

CCSD 議長: Fred van Blommestein, Berenschot, [f.van.blommestein@berenschot.com](mailto:f.van.blommestein@berenschot.com)

## 3.0 概要

### 3.1 序論

この手引書は、ボーイングの部品発注システムおよび Fast Moving Consumer Goods (FMCG) の EAN.UCC 配送プロセスという 2 つの実例について詳細に説明することにより、コア構成要素の発見および実施について示します。

本書は、ebXML コア構成要素技術仕様の補足文書として使用すべきものです。この手引書は、実際の例を通じてコア構成要素の原理を説明することを目的としています。

この手引書は、コア構成要素の方法論を使用して、組織の境を越えたプロセスで必要とされる情報フローを分析可能にする方法、および、業界の垣根を越えて国際的に使用できる情報モデルおよび通信システムを実現可能にする方法を示します。

この手引書は、情報システムを実施する責任を負った管理者を対象としています。また、本書は、エンドユーザー、情報管理者、および IT 担当者にも役立つ可能性があります。

本書は、UN/CEFACT ebXML 仕様書一式 (参考資料の一覧は付録 A 参照) と合わせて使用すべきものです。

### 3.2 大局的な見地におけるコア構成要素

電子ビジネスの初期の頃、システムはビジネス パートナー間の独自のデータを処理するようにつらえられ、正しいデータがシステムを行き来するようにするために多くの時間が費やされました。異なるシステムでは、同じデータが開発者の望んだとおりに定義しなおされました。これによって、システムの統合と保守には、絶え間なく変化し、増大する電子ビジネス環境の条件に合わせなければならないという悪夢が生じました。

ビジネス データの交換を大幅に簡易化する XML やインターネットといった技術が存在する今では、同じデータを異なるプラットフォーム上の異なるシステムで処理することができます。システムの相互運用性は、電子ビジネスの成功の鍵を握っています。データ不整合の間接的コストは改善する必要があります。

ebXML コア構成要素は、業界全体にわたるデータの標準化を可能にします。標準化されたデータを使用することで、システム間および業界間の一貫したデータ交換が可能になります。インターフェイス開発の時間条件は短縮されます。業界は、データ フローについて気にかける代わりに、ビジネスの改善に集中して時間を費やすことができます。

情報は、コア構成要素を使用することにより、業界の境を越えて国際的に調整されつつあります。情報エンティティの意味、名前、構造、そして定義は、それら

を定める個々のプロジェクトの範囲を越えた使用を可能にするような方法で定められています。そのようなプロジェクトへの投資は永続的で確実です。

成果は、国際的に維持されるレジストリに保存されています。どのプロジェクトも一から始める必要はなく、それまでの類似した環境の成果が使用されます。コア構成要素の方法論は、それらの環境間の機能的な差異のサポートおよび管理を可能にします。これにより、組織の境を越えた情報システムを構築する際に必要な投資が確保されるだけでなく、その額も削減されます。

### 3.3 コア構成要素を使用できる時と場所

コア構成要素とビジネス情報エンティティは、ビジネスが組織の境を越えて処理を行う場合、いつでも使用することができます。それらは、組織間で交換される情報を意味的、構造的に定義します。コア構成要素は情報が投入される構文から独立しており、どのような種類の通信ネットワーク上でもさまざまなフォーマットで情報を送信する機会をもたらします。

自動化されたシステム間の情報交換には、数多くの技術が存在します。技術は、統合されたビジネス情報システム(エンタープライズ リソース プランニング パッケージなど)に組み入れたり、特定のミドルウェアやワークフロー管理システムで使用したり、あるいは単にヒューマン インターフェイスを通じて社員に情報を提示するために使用したりすることが可能です。コア構成要素は技術に関係ありません。コア構成要素の方法論と定義は、言及されるすべての技術、およびそれらの技術の利用において使用することができます(使用されるべきです)。このようにして、技術がアップグレードされても、情報システムおよび(内部)作業手順への投資は保護されます。

従来、構造化された企業間の情報は、電子データ交換(EDI)を使用して交換されています。ビジネス プロセスの枠組み内で交換する必要のある情報は、構文(EDIFACT や ANSI ASC.X12 など)内に投入され、メッセージ内に梱包され、通信ネットワーク(インターネットなど)を使用して送信されます。交換される情報は、コア構成要素の方法論を使用して定義し、ebXML レジストリを使用して再利用のために登録することができます(将来的にはコア構成要素を使用して情報を定義することが求められます)。

ワールドワイドウェブ コンソーシアム(W3C)の標準的な eXtensible Markup Language(XML)を使用すると、同じコア構成要素の定義をより進んだシステムで使用することが可能となります。XMLはソフトウェアやミドルウェアベンダーに広く採り入れられています。XMLは、エンドユーザーに情報を提示するため、一般に使用されているブラウザで解釈することさえ可能です。ですから、コア構成要素に基づいた通信はアプリケーション間のシステムに制約されず、組織の境を越えたアプリケーションと人との間のシステムにも使用することができます。セクションDの図には、構文に中立的なコア構成要素をXMLやEDIFACTといった特定の構文フォーマットで使用する方法が示されています。

また XML メッセージは、(ウェブフォームのような) 情報提示システムおよびアプリケーション システムまたは人間のユーザー向けに市販されているウェブ サービスに使用することも可能です。ウェブ サービスの要求、およびそのサービスの応答で交換される情報は、コア構成要素の方法論に従って定義することができ、またそのようにする必要があります。こうすることで、ウェブ サービスやクライアント アプリケーション間の情報の意味や構造の一貫性が保証されます。

まとめると、コア構成要素は、使用される技術に関わりなく、異なる組織の情報システム間で情報が交換される際、常に活用されています。

## 4.0 コア構成要素の識別

### 4.1 情報はクラス図でどのようにモデル化されているか?

保存または交換されている情報をモデル化したり、構造化したりする方法は数多く存在します。コア構成要素は、統一モデルリング言語 (UML) のクラス図に基づいて、ビジネス コラボレーションに必要な情報をモデル化します。クラス図は、オブジェクトクラスとその属性および関係を示します。オブジェクトクラスは、ビジネスの業務においてアクセス、検査、操作、生成、および取り組みの行われる、製品、契約、当事者、イベントといった「事物」の категорияです。オブジェクトクラスは実体を伴う場合と実体を伴わない場合があります。人は、「肉体からなる」有形のオブジェクトです。住所は無形のオブジェクトで、これに触れることはできず、場所に関係した一片の情報としてのみ存在します。

クラス図では、オブジェクトのクラスが、(数ある中で) その名前と属性とともにボックスで示されます。

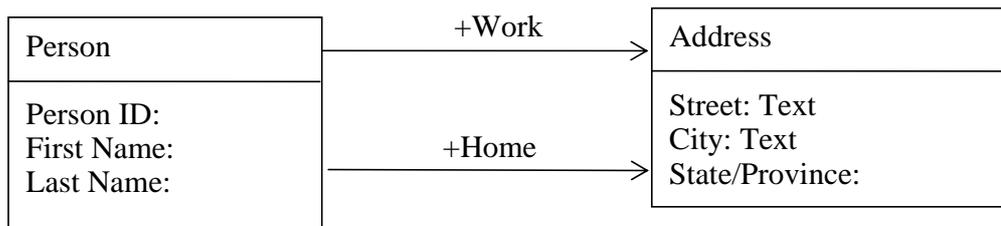


図 4-1 クラス図の例

図 4-1 の例では、Person (人) と Address (住所) は両方ともオブジェクトクラスです。Person には Person ID (人物 ID)、First Name (名)、Last Name (姓)、Work Address (職場住所)、そして Home Address (自宅住所) という 5 つの属性があり、Address には Street (番地)、City (市町村)、そして State/Province (州/県) という 3 つの属性があります。

オブジェクトクラスはボックスで表され、その上部にはオブジェクトクラス名が、そして下部にはその属性が含まれます。属性に関連したデータタイプ (情報の種類) は、それぞれの属性の隣にコロンで区切って示されます。

オブジェクトクラス間の関係は、オブジェクトクラス同士を線で結ぶことによって示されます。あるオブジェクトクラスが別のオブジェクトクラスの属性であることをその関係が意味する場合 (住所は人の属性です)、その属性 (Address) を表すオブジェクトクラスの横に矢印が描かれます。

### 4.2 コア構成要素序論

コア構成要素 (CC) は、(電子的な) ビジネス文書の構築に使用される (標準化された) データエレメントです。データは、あらゆるビジネス通信の核となるものです。データをうまく定義する能力は電子ビジネスの成功に欠かせません。コア構成要素技術仕様は、データエレメントの識別、定義、そして命名のガイドラインを提供します。コア構成要素は、実際、UML オブジェクトクラスに関する情報を一般的に表したものです。UML クラス図にはエレメントのカテゴリーが 4 つあるので、コア構成要素には以下の 4 つのカテゴリーがあります。

- オブジェクトクラスを表すコア構成要素集合体 (ACC)
- オブジェクトクラスの単一属性を表す基本コア構成要素 (BCC)
- あるオブジェクトクラスが別のオブジェクトクラスの (複合) 属性となるオブジェクトクラス間の関係を表す関連コア構成要素 (ASCC)
- テキスト、数字、または日付のように、基本コア構成要素に含めることのできる情報の種類を定義するコア構成要素 タイプ (CCT)

図 4-1 のクラス図を例として挙げると、*Person* と *Address* はどちらもコア構成要素集合体を表します。*Person ID*、*First Name*、*Last Name*、*Street*、*City*、そして *State/Province* は基本コア構成要素です。*Work Address* と *Home Address* は関連コア構成要素です (図 4-2 参照)。

コア構成要素集合体、基本コア構成要素、および関連コア構成要素には、レジストリまたは辞書でコア構成要素を探し出すことのできる一意の名前がそれぞれに与えられます。従って、この名前は「辞書見出し名」と呼ばれます。辞書見出し名は、原則的に、オブジェクトクラス用語 (オブジェクトクラスの名前)、属性用語 (コア構成要素が示す属性)、そして表記用語 (コア構成要素 タイプに由来するデータタイプの名前) の 3 つの部分または「用語」で構成されます。辞書見出し名を構築するための規則は、第 4.7 項で詳しく説明されます。

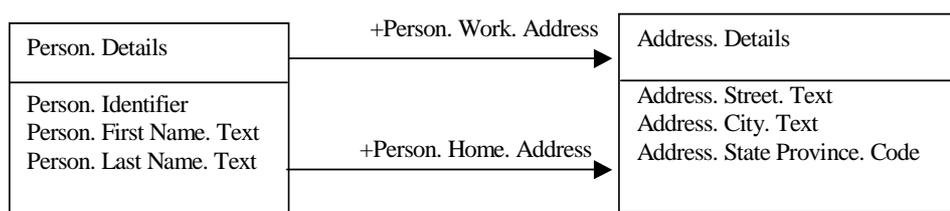


図 4-2 辞書見出し名

また、コア構成要素には、そのコア構成要素のセマンティクス (意味) を説明する定義がそれぞれに与えられます。コア構成要素のその他の属性は、一意の識別子 (意味を持たない一意の数字または文字列) と多くの「ビジネス用語」または同義語です。ビジネス用語は、一部のビジネスコミュニティでコア構成要素に使用されている名前です。ビジネス用語は一意である必要はありません。



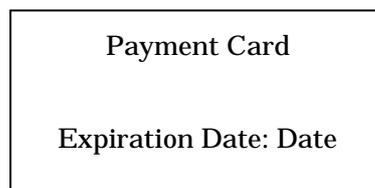


図 4-3 クラス図

### 4.3 コア構成要素 タイプおよびデータ タイプ序論

コア構成要素 タイプ (CCT) は、コア構成要素の構成の重要な要素です。基本コア構成要素は、それぞれコア構成要素 タイプから成ります。

コア構成要素 タイプは、表 4-1 に示されるとおり、10 種類定められています。

コア構成要素 タイプには、補助コンポーネントと呼ばれる追加機能がいくつか用意されています。例えば、amounts (金額) には、通貨識別子の定義に使用される補助コンポーネントがあります。従って、通貨はコア構成要素 タイプで示され、クラス図内の別の属性である必要はありません。以下の表には、10 のコア構成要素 タイプに属する補助コンポーネントが示されています。

CCT	説明	補助コンポーネント
Amount. Type	金額	Amount Currency. Identifier Amount Currency. Code List Version. Identifier
Binary Object. Type	画像やサウンドなどのバイナリ オブジェクト	Binary. Format. Text Binary Object. Mime. Code Binary Object. Encoding. Code Binary Object Character set. Code Binary Object. Uniform Resource. Identifier Binary Object Filename. Text
Code. Type	コード	Code List. Identifier Code List. Agency. Identifier Code List. Agency Name. Text Code List. Name. Text Code List. Version. Identifier Code. Name. Text Language. Identifier Code List. Uniform Resource. Identifier Code List Scheme. Uniform Resource. Identifier

CCT	説明	補助コンポーネント
Date Time. Type	日付、時間、または日付と時間の組み合わせ	Date Time. Format. Text
Identifier. Type	識別子	Identification Scheme. Identifier Identification Scheme. Name. Text Identification Scheme Agency. Identifier Identification Scheme. Agency Name. Text Identification Scheme. Version. Identifier Identification Scheme Data. Uniform Resource. Identifier Identification Scheme. Uniform Resource. Identifier
Indicator. Type	Yes/no、on/off、有/無などの表示	Indicator. Format. Text
Measure. Type	あらゆる種類の測量	Measure Unit. Code Measure Unit. Code List Version. Identifier
Numeric. Type	数値	Numeric. Format. Text
Quantity. Type	数量	Quantity. Unit. Code Quantity Unit. Code List. Identifier Quantity Unit. Code List Agency. Identifier Quantity Unit. Code List Agency Name. Text
Text. Type	テキスト	Language. Identifier Language. Locale. Identifier

表 4-1 コア構成要素 タイプ

コンテンツや補助コンポーネントの値は、データタイプの定義によって制限することができます。例えば、データタイプ Country\_Code. Type はコア構成要素タイプ Code. Type に基づいていますが、コードの値を国別コードのみに制限します。データタイプは複数のコア構成要素に使用することができます。

データタイプは、特定の BBIE または BCC の属性に使用できる有効な値一式を定義します。これは、データタイプが導き出される CCT に制限を指定することによって定義されます。データタイプは、コンテンツコンポーネントや補助コンポーネントに制限を課すことにより、基礎を置く CCT で許される有効値一式を必要に応じて制限します。

データタイプには、第 4.7.2.1 項で定められた規則を使用して、それぞれに辞書見出し名および定義が与えられることとします。

#### 4.4 ビジネス情報エンティティ序論

ビジネス コラボレーションで交換される実際の情報は、コア構成要素としてではなく、ビジネスのコンテキストが反映されるビジネス情報エンティティ (BIE) として定義されます。コア構成要素のカテゴリには、対応する BIE カテゴリがそれぞれにあります。従って、コア構成要素集合体 (ACC) にはビジネス情報エンティティ集合体 (ABIE)、関連コア構成要素 (ASCC) には関連ビジネス情報エンティティ (ASBIE)、そして基本コア構成要素 (BCC) には基本ビジネス情報エンティティ (BBIE) があります。個々のビジネス情報エンティティは、それぞれに対応するコア構成要素に基づいていなければなりません。

ビジネス情報エンティティは、それに対応する一般的な(「コンテキストに依存しない」)コア構成要素にコンテキストを適用することによって導き出されます(コンテキストについては第 4.5 項参照)。コンテキストはコア構成要素を精緻化します。定義は狭められ、属性の数は減り、それらの属性の許容値は(例えばデータ分類の方法により)制限される場合があります。

ビジネス情報エンティティは、ビジネス プロセス モデリングの際に識別することが可能です。ビジネス情報の分析の際、対応するコア構成要素が存在しないビジネス情報エンティティが見つかった場合は、一般的なコア構成要素が定義されなければなりません。

ビジネス情報エンティティは、対応するコア構成要素の名前に「限定詞」を加えることによって、そのコア構成要素と区別することが可能です。限定詞はオブジェクトクラスの名前や属性用語に加えることができます。個人情報に関する例では、図 4-2 のコア構成要素を使用し、米国に住む人物の個人情報を交換するアプリケーションにビジネス情報エンティティを指定することができます。米国のコンテキストで使用されるコア構成要素集合体 Person. Details には限定詞 US が加えられます。従って、ビジネス情報エンティティ集合体は、US\_ Person. Details と呼ばれます。図 4-4 はこの例を示します。

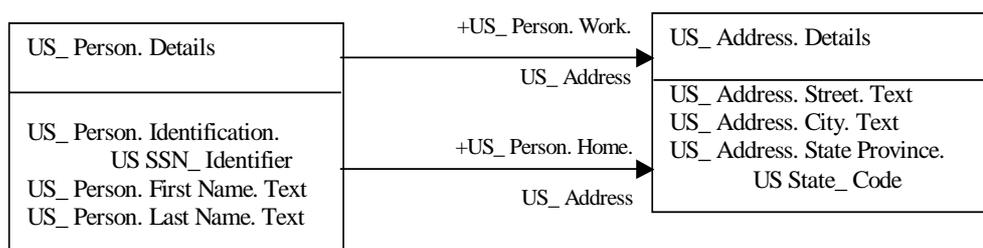


図 4-4 ビジネス情報エンティティの例

#### 4.5 「コンテキスト」とは?

コア構成要素の概念は、異なる環境でやり取りされるビジネス情報には多くの共通性が存在するという前提に基づいています。とはいえ、異なる点もあります。

コンテキストの概念は、ビジネス情報の定義や構造の共通点と相違点を管理するために導入されました。

ビジネス関係のコンテキストでは環境が詳細に定義されるので、より一般的なコア構成要素から特定のビジネス情報エンティティを導き出すことができます。コア構成要素は、あらゆるコンテキストで有効とされる一方(コンテキストがありません)、コア構成要素から導き出されたビジネス情報エンティティはコンテキストに依存します。

コンテキストは8つのカテゴリーを使用して定義されます。

コンテキスト カテゴリー	説明	例
ビジネス プロセス	ビジネス プロセスの種類	発注 引き渡し
製品分類	コラボレーションに関わる製品の種類	部品 消費物資
業界分類	コラボレーションが生じる業界の種類	航空宇宙 日用消費財 (FmCG)
地政学的分類	パートナーの所在地	国際 ヨーロッパ
公的制約	適用される法律	米国法 EU 法
ビジネス プロセス役割	パートナーがプロセスにおいて果たす役割	購入者 販売者
サポート役割	コラボレーションに含まれない関係当事者の役割	海運業者
システム性能	特定のシステム条件	EAN.UCC システム SAP Intuit

コラボレーションのビジネス コンテキストを指定することにより、ビジネス文書(あるいはその他)のビジネス情報エンティティという手段で交換される情報の正確な構造を導き出すことができます。コンテキストは、コア構成要素をビジネス情報エンティティに変えるフィルタです。

#### 4.5.1 コア構成要素の標準化におけるコンテキストの使用

ビジネス情報エンティティの命名に使用される限定詞は、特定のコンテキストの意味をコア構成要素に関連付けます。これらの限定詞は、特定のコンテキストにおいて一意の意味を持つことのできる統制語彙を構成します。例えば、限定詞として使用される「reserved」（予約済み）には、発注プロセス上の意味と旅行業のコンテキスト上の意味とがあります。限定詞のための統制語彙の構築における厳密さは、コア構成要素のための統制語彙の構築における厳密さと同様に重要です。限定詞は、コア構成要素のライブラリ全体にわたって一貫して使用する必要があります。限定詞のコンテキストカテゴリー、意味、そして統制語彙の出典は示す必要があります。

#### 4.6 ビジネス コラボレーションのモデリング

第 4.8 項で詳しく説明される、ビジネス情報エンティティとコア構成要素を発見するプロセスは、ビジネス コラボレーション プロセスの対象となるビジネス エンティティを示すクラス図から始まります。このハイレベルクラス図には、オブジェクトクラスとごく少数の属性が含まれます。これは、コラボレーションに関連した情報の範囲と境界を定めるものです。ハイレベルクラス図の目的は、ビジネス文書をモデル化することではありません。従って、ハイレベルクラス図は、通信に関するオブジェクトクラスの図です。通信自体はモデル化されません。

この時点で、できる限り多くのオブジェクトクラスとそれらの関係を、標準化され、整合されたレポジトリから取り入れる必要があります（レポジトリを利用できる場合）。

ハイレベルクラス図の構造、つまりオブジェクトクラスを互いに関連付ける方法は、REA モデルから導き出されます。REA は Resource（リソース）、Event（イベント）、そして Agent（エージェント）を表します。REA モデルによれば、ビジネス コラボレーションは、取引パートナー（「エージェント」）から別の取引パートナーに資源が譲渡され、その結果、経済的資源が逆方向に譲渡されるという、2 つの経済事象を生み出すイベントとして記述することができます。例えば、供給者（エージェント）は自動車（資源）の所有権を顧客（エージェント）に譲渡し、その見返りとして、顧客は金銭（資源）を供給者に提供することとなります。

図 4-5 には、この基本的な REA 構造が示されます。この構造は、ビジネス コラボレーションの基本的な意味をモデル化します。

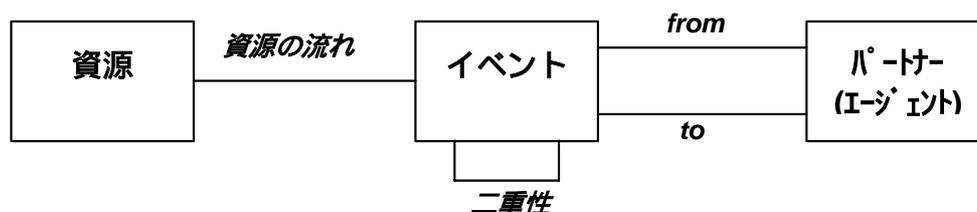


図 4-5 基本的な REA オントロジ

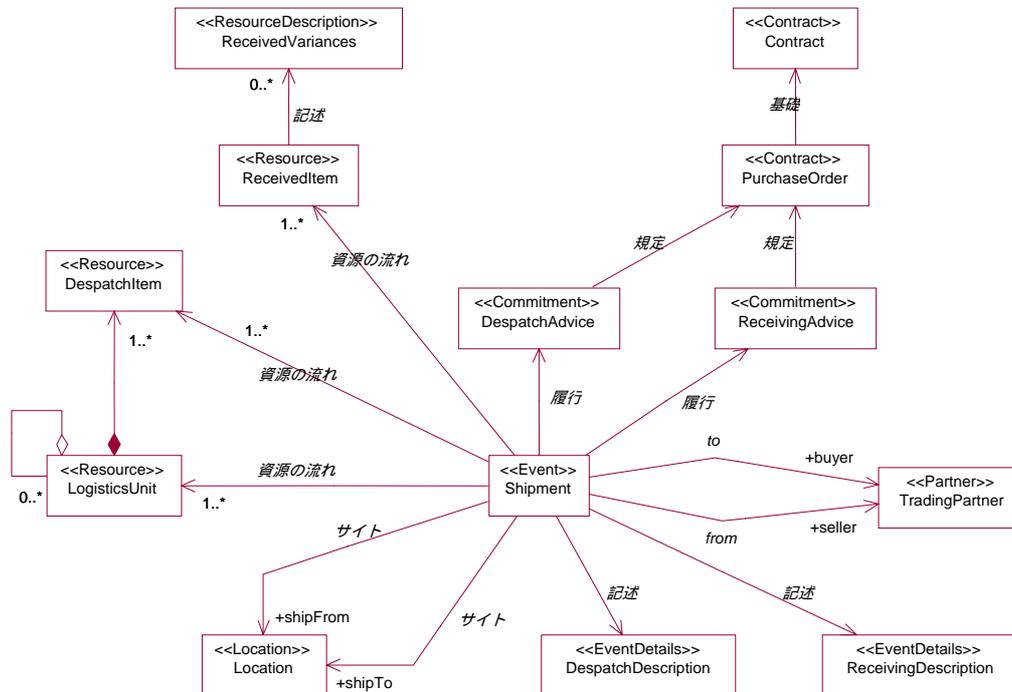


図 4-6 商品供給のハイレベルクラス図の EAN.UCC 例

ビジネス コラボレーションのモデル化には、1) コラボレーション内のオブジェクトクラスを捉え、ハイレベルクラス図をモデル化する (図 4-6)、2) コラボレーションに含まれるトランザクション上のクラス図をモデル化する (図 4-7)、そして 3) トランザクションのクラス図を結合して詳細なクラス図をモデル化する (図 4-8) という 3 つのステップが含まれます。これについては、以下で詳しく説明します。交換される情報の構造は、ハイレベルクラス図でモデル化された構造の一部です。ビジネス エンティティの属性を含む、情報エンティティの正確な意味は、ビジネス有識者との会見によって決定されます。

従って、それぞれのトランザクションまたは文書について、交換される情報はビジネス情報エンティティを使用し、別々の詳細なクラス図で定義されます。

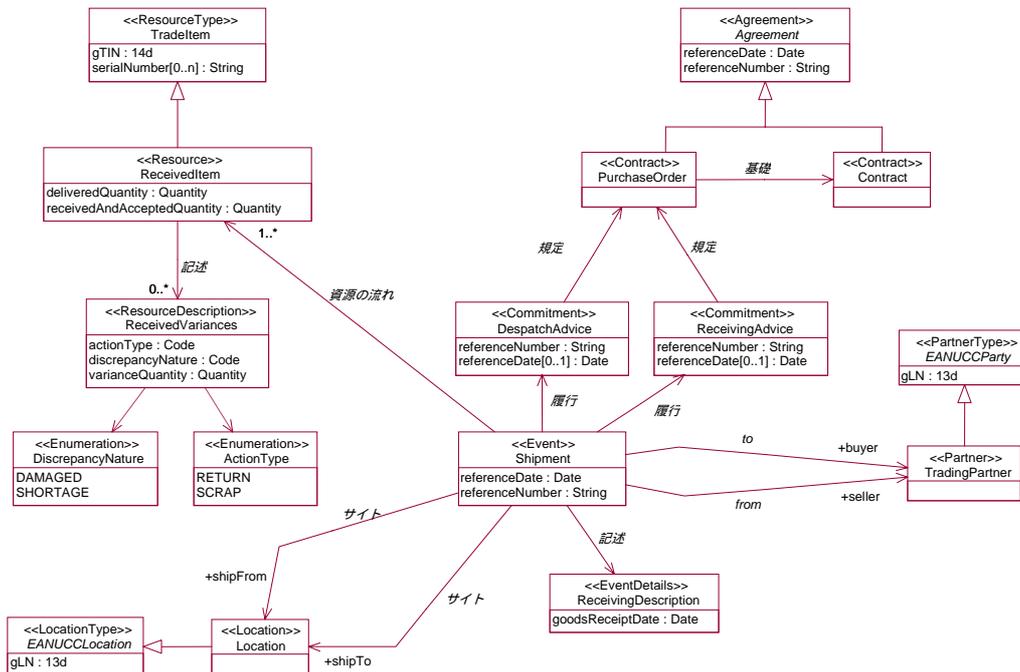


図 4-7 Receive Advice (アドバイス取得) のためのトランザクション クラス図の EAN.UCC 例

トランザクション クラス図が作成される際、レジストリや辞書にはまだ参照は作成されません。モデル化するのは**実際のビジネス条件**であり、必要となる可能性のあるすべての情報ではありません。ハイレベルクラス図は、構造を提供する役割のみ果たすものであり、おそらく必要ないと思われるものまで交換される文書の情報に含めようとするために使用すべきではありません。

コラボレーションのトランザクション クラス図がすべてモデル化されると、それらの図は(文書オブジェクトクラスを除く)、詳細なクラス全体図(図 4-8)に結合されます。この図には、コラボレーションで交換される**すべての情報**と、現在交換されている情報のみが含まれます。この図は、ビジネス情報エンティティとコア構成要素を発見するプロセスに投入されます。このプロセスのアウトプットは、発見されたビジネス情報エンティティの適切な名前が付された、詳細なクラス全体図の更新へとつながります。

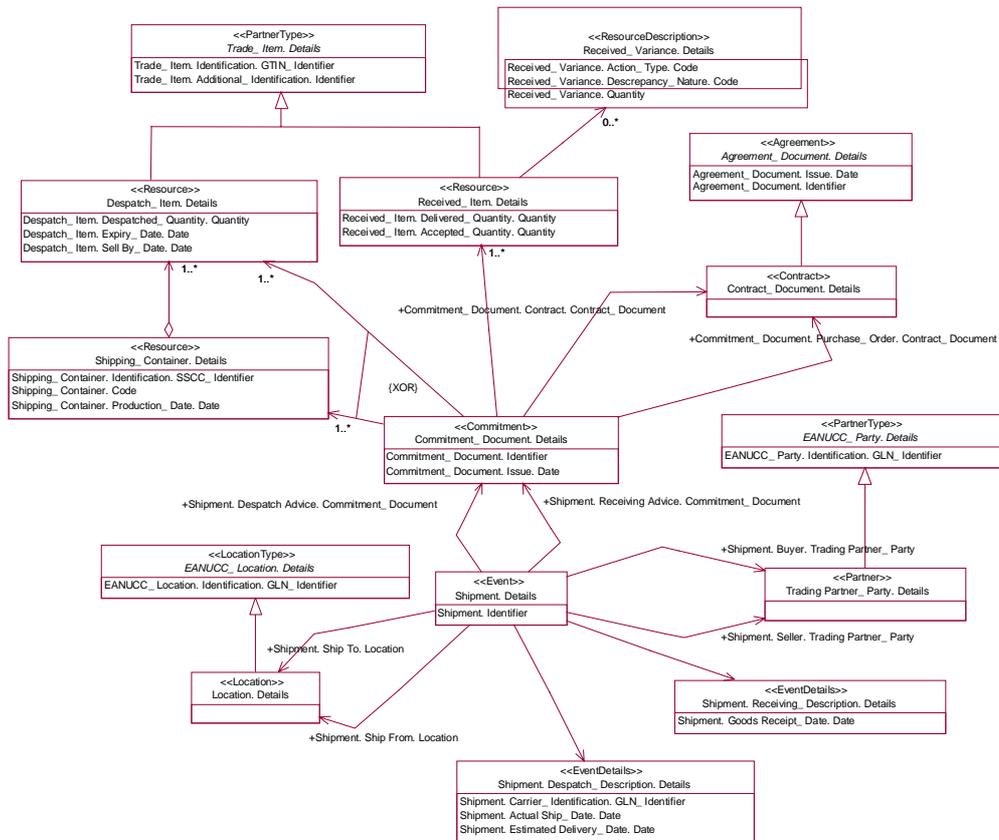


図 4-8 商品供給の詳細なクラス全体図の EAN.UCC 例

コア構成要素発見の際に従うべき手順をまとめると以下のようになります。

1. ビジネス プロセスで交換される情報の範囲と境界を決定する。
2. ebXML レジストリにある既存のオブジェクト クラスの関係を使用して、ハイレベルクラス図を作成する。
3. 各トランザクションについて、ハイレベルクラス図からサブセットを定義する。
4. トランザクションで交換する必要のある詳細情報を調べる。
5. これらの情報条件を満たすコア構成要素およびビジネス情報エンティティをレジストリで調べる。
6. 適切ならば既存のコア構成要素およびビジネス情報エンティティを再利用する。
7. 必要に応じて新たなビジネス情報エンティティを定義して、レジストリに含まれるように提出する。
8. トランザクションごとに詳細なトランザクションのクラス図を作成する。

9. トランザクションのクラス図を詳細なクラス全体図に結合する。

コア構成要素の発見については、後に本書の第 4.8 項で定義され詳述されるとともに、第 5 項のボーイングおよび EAN.UCC の例で説明されます。

#### 4.7 コア構成要素およびビジネス情報エンティティの命名規則

##### 4.7.1 序論

コア構成要素およびビジネス情報エンティティの名前は、一式の規則に従っていなければなりません。辞書見出し名は、コア構成要素またはビジネス情報エンティティの記述から導出されます。

辞書見出し名は一意的です。辞書見出し名は、でき得る限りオックスフォード英語大辞典の綴りを使用した英語でなければなりません。また、明確かつ簡潔でなければならず、重複した語が含まれてはなりません。

辞書見出し名の個々の名前は、その概念が特に複数のものを対象としている場合を除き、単数でなければなりません。辞書見出し名は文字のみで構成する必要があります。名前に使用する語としては、動詞、名詞、または形容詞が考えられます。辞書見出し名には略語や頭字語を使用することができますが、その記述内で説明されなければなりません。

辞書見出し名は原則として数々の用語で構成され、そのそれぞれは複数の語で構成される場合があります。用語内の語は、それぞれスペース ( ) で互いに区切られます。用語内の語は、それぞれ大文字で始められなければなりません。

##### 4.7.2 コア構成要素の辞書見出し名 (CCT, BCC, ACC, および ASCC)

コア構成要素の辞書見出し名は、以下の用語で構成されます。

オブジェクト クラス用語 – オブジェクト クラスの名前

属性用語 – オブジェクト クラスの属性を表します。

表記用語 – コンポーネントの表記種類を指定します。

辞書見出し名の用語は、ピリオド (.) とスペース ( ) で区切られます。

##### 4.7.2.1 コア構成要素 タイプおよびデータ タイプの辞書見出し名

コア構成要素 タイプ (CCT) には、それぞれに表記用語が含まれます。以下の表には、コア構成要素 タイプの第一表記用語と第二表記用語が示されます。辞書見出し名のコア構成要素 タイプは、第一表記用語、もしくはいずれかの第二表記用語で表されます。

コア構成要素 タイプ	第一表記用語	第二表記用語
Amount. Type	Amount	
Binary Object. Type	Binary Object	Graphic, Picture, Sound,

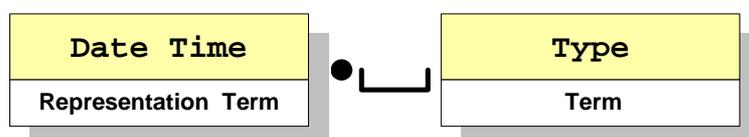
コア構成要素 タイプ	第一表記用語	第二表記用語
		Video
Code. Type	Code	
Date Time. Type	Date Time	Date, Time
Identifier. Type	Identifier	
Indicator. Type	Indicator	
Measure. Type	Measure	
Numeric. Type	Numeric	Value, Rate, Percent
Quantity. Type	Quantity	
Text. Type	Text	Name

コア構成要素 タイプの辞書見出し名は、第一表記用語、ピリオド、スペース、そして **Type** の表記の順で構成されます。

例:

表記用語: **Date Time**

用語: **Type**



辞書見出し名: **Date Time. Type**

関連する第一表記用語または第二表記用語に限定用語を追加することで、より具体的な制約または区別をデータタイプに適用することができます。制約されたデータタイプの辞書見出し名は、限定用語、第一または第二表記用語、そして **Type** という用語で構成されることとなります。

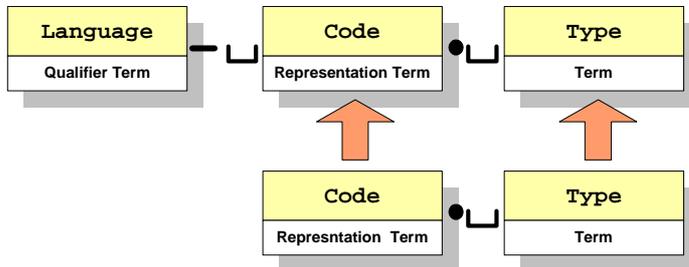
限定用語と表記用語の間には下線 ( ) とスペースが置かれ、表記用語と **Type** という用語の間にはピリオド (.) とスペースが置かれます。

例:

限定用語: **Language**

表記用語: **Code**

用語: **Type**



辞書見出し名: `Language_ Code. Type`

#### 4.7.2.2 基本コア構成要素の辞書見出し名

基本コア構成要素 (BCC) の辞書見出し名は、オブジェクトクラス用語、属性用語、そして表記用語で構成されます。

表記用語は、通常、第一表記用語または第二表記用語で構成されます。場合によっては、コア構成要素の値を制限するためにデータタイプが使用されることもあります。データタイプの表記用語は、そのデータタイプが基礎を置くコア構成要素タイプの限定用語および表記用語で構成されます。表記用語の限定詞は、下線とスペースでコア構成要素タイプの第一表記用語または第二表記用語と区切られます。

基本コア構成要素の辞書見出し名が属性用語の最後の語に相当する表記用語で構成されている場合、それらの最後の語は辞書見出し名の属性用語から削除することができます。これは、切り詰め規則と呼ばれます。

例:

オブジェクトクラス用語: `Goods`

属性用語: `Delivery Date Time`

表記用語: `Date Time`



辞書見出し名は次のようになります。

`Goods. Delivery Date Time. Date Time`

しかし、切り詰め規則の結果、辞書見出し名は次のようになります。

**Goods. Delivery. Date Time**

切り詰め規則のもう1つの適用例は、次のとおりです。

**Party. Identification. Identifier**

切り詰め規則適用後は次のようになります。

**Party. Identifier**

#### 4.7.2.3 コア構成要素集合体の辞書見出し名

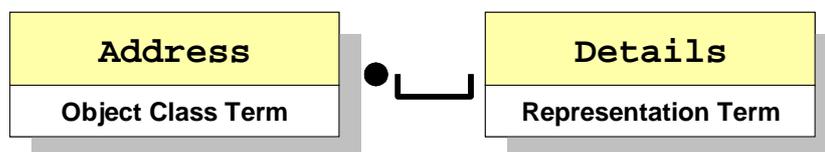
コア構成要素集合体 (ACC) は、オブジェクトクラス用語と表記用語のみで構成されます。

表記用語として **Details** という表記が使用されます。

例:

オブジェクトクラス用語: **Address**

表記用語: **Details**



辞書見出し名: **Address. Details**

#### 4.7.2.4 関連コア構成要素の辞書見出し名

関連コア構成要素 (ASCC) の辞書見出し名は、以下で構成されます。

- 関連コア構成要素が含まれるコア構成要素集合体のオブジェクトクラス用語
- 関連コア構成要素の属性を表す属性用語
- 関連コア構成要素の構造を記述するコア構成要素集合体のもう1つのオブジェクトクラス用語

基本コア構成要素辞書見出し名の切り詰め規則は、関連コア構成要素の見出し名にも適用されます。

例:

オブジェクトクラス用語: **Person**

属性用語: **Residence**

オブジェクト クラス用語: Address



辞書見出し名: Person. Residence. Address

### 4.7.3 ビジネス情報エンティティの辞書見出し名 (BBIE, ABIE, ASBIE)

ビジネス情報エンティティの辞書見出し名もオブジェクト クラス用語、属性用語、および表記用語で構成されますが、これに加え、特定のビジネス コンテキストのビジネス情報エンティティを定義するためのオブジェクト クラス用語または属性用語を限定する限定用語が含まれることもあります。

限定用語は、オブジェクト クラス用語または属性用語の前に置かれます。限定用語は、下線 ( ) とスペース ( ) でオブジェクト クラス用語または属性用語から区切られます。

オブジェクト クラス用語または属性用語の前には、複数の限定用語を置くことができます。限定用語は、それぞれ下線とスペースで区切られます。

限定用語の語順が違ってても、辞書見出し名は一意のものとなりません。例えば、`Stored_Partial_Goods_Details` と `Partial_Stored_Goods_Details` は同じ限定用語で構成されていますが、語順が異なります。これら 2 つの表記の意味は異なりますが、それによって 2 つの表記が一意的なものにはなりません。

#### 4.7.3.1 基本ビジネス情報エンティティの辞書見出し名

基本ビジネス情報エンティティ (BBIE) の辞書見出し名は、オブジェクト クラス用語とその限定用語、属性用語とその限定用語、そして最後にデータ タイプ限定用語と適切な表記用語の順で構成されます。切り詰め規則も適用されますが、属性用語または表記用語が限定される際はこの規則は使用できません。

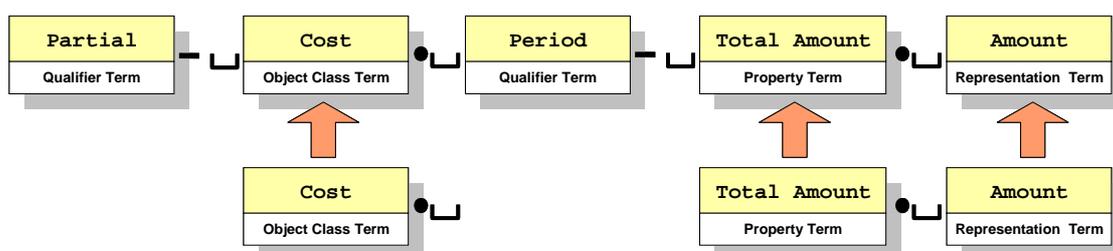
表記用語は、基本ビジネス情報エンティティのデータ タイプを表します。このデータ タイプは、さらに制約したり、限定したりすることができます。表記用語については、基本コア構成要素と同じ規則が適用されます。

例:

限定用語: `Partial`

オブジェクト クラス用語: `Cost`

限定用語: **Period**  
 属性用語: **Total Amount**  
 表記用語: **Amount**



辞書見出し名は次のようになります。

**Partial\_Cost.Period\_Total Amount.Amount**

データタイプの限定詞で表記用語が限定される BBIE の例は次のとおりです。  
**Despatch\_Shipment Information.Carrier\_ Identification.GLN\_ Identifier**

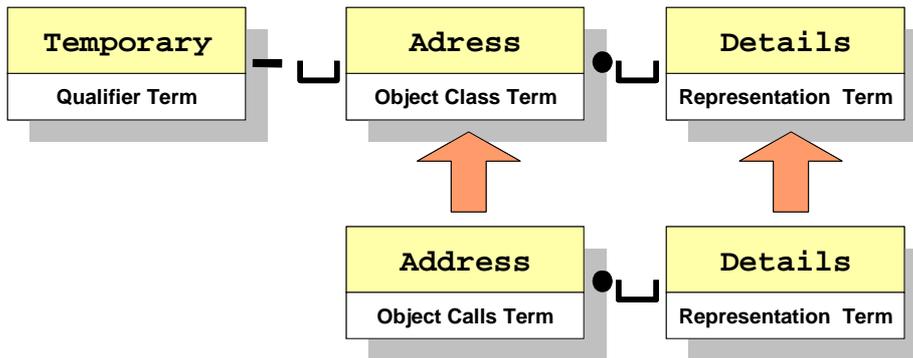
#### 4.7.3.2 ビジネス情報エンティティ集合体の辞書見出し名

ビジネス情報エンティティ集合体 (ABIE) の辞書見出し名は、オブジェクトクラス用語とその限定用語、そして **Details** で示される適切な表記用語で構成されます。

オブジェクトクラス用語と表記用語は、そのビジネス情報エンティティ集合体が基礎を置く、対応するコア構成要素集合体のものがそのまま使用されます。

例:

限定用語: **Temporary**  
 オブジェクトクラス用語: **Address**  
 表記用語: **Details**



辞書見出し名は **Temporary\_ Adress. Details** となります。

#### 4.7.3.3 関連ビジネス情報エンティティの辞書見出し名

関連ビジネス情報エンティティ (ASBIE) の辞書見出し名は、以下で構成されます。

- オブジェクト クラス用語とその限定用語
- 属性用語とその限定用語
- 構造を記述するビジネス情報エンティティ集合体のもう1つのオブジェクト クラス用語

関連ビジネス情報エンティティは、常に関連コア構成要素に基づきます。

オブジェクト クラス用語、属性用語、および第二オブジェクト クラス用語と表記用語は、その関連ビジネス情報エンティティが基礎を置く、対応する関連コア構成要素のものがそのまま使用されます。

辞書見出し名には以下の構造が含まれます。

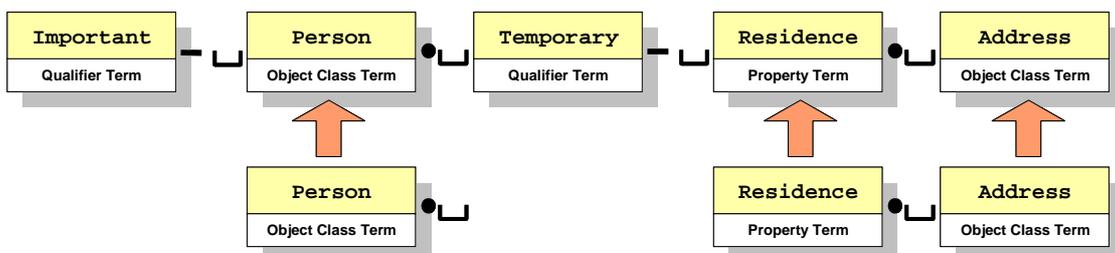
限定用語: **Important**

オブジェクト クラス用語: **Person**

限定用語: **Temporary**

属性用語: **Residence**

オブジェクト クラス用語: **Address**



辞書見出し名は次のようになります。

**Important\_ Person. Temporary\_ Residence. Address**

#### 4.7.4 ビジネス用語

ビジネス用語は、コア構成要素またはビジネス情報エンティティと同義です。異なるコア構成要素およびビジネス情報エンティティにさまざまなビジネス用語が存在する場合があります。日常的なビジネスまたは業界語としては、ビジネス用語の方が好まれるかもしれませんが、コア構成要素には複数のビジネス用語を含めることができます。

ビジネス用語は、命名規則に基づく必要はありません。

## 4.8 コア構成要素の発見

発見および設計は、標準的なビジネス文書におけるビジネス プロセスの定義と結果を利用する一連のステップです。コア構成要素技術仕様 (CCTS) では、発見と設計のハイレベルなプロセスが示されます。本書では、コア構成要素補助文書 (CCSD) チームやその他のビジネス プロセス専門家およびユーザーからのインプットを用いて、CCTS の説明が補足され、詳述されています。

### 4.8.1 発見のプロセス

ビジネス プロセスは、標準的な方法であり、その結果の 1 つがクラス図である、UN/CEFACT モデリング方法論 (UMM) を使用してモデル化する必要があります。クラス図には、ビジネスの情報と相互関係が示されます。

ビジネス プロセスからコア構成要素の発見に至るハイレベルな手順は以下のとおりです。

1. ビジネス プロセスで交換される情報の範囲と境界を定める。
2. ebXML レジストリにある既存のオブジェクト クラスの関係を使用して、ハイレベルクラス図を作成する。
3. 各トランザクションについて、ハイレベルクラス図からサブセットを定義する。
4. トランザクションで交換する必要のある詳細情報を調べる。
5. これらの情報条件を満たすコア構成要素およびビジネス情報エンティティをレジストリで調べる。
6. 適切ならば既存のコア構成要素およびビジネス情報エンティティを再利用する。
7. 必要に応じて新たなビジネス情報エンティティおよびコア構成要素を定義して、レジストリに含まれるように提出する。
8. トランザクションごとに詳細なトランザクションのクラス図を作成する。
9. トランザクションのクラス図を詳細なクラス全体図に結合する。

1 ~ 3 までの手順は第 4.1 ~ 4.6 項で説明されています。レジストリ/レポジトリの検索 (第 4.8.3.1 項) は、それぞれのエレメントを発見するために、これらの詳細なステップ全体を通じて再利用することのできるプロセスです。

### 4.8.2 詳細なコア構成要素識別のステップ

ここでは、コア構成要素の発見および開発において従うべきステップが詳しく説明されます。ここに示されたステップは、プロセス フロー図で図的に表されています。プロセスのステップの進捗度を示すため、結果として生じるビジネス情

報エンティティとコア構成要素のスプレッドシートのテンプレート例も含まれています。このプロセスを支援するため、必要に応じて、補足的な詳細が定義されます。

このプロセスから生じたビジネス情報エンティティとコア構成要素は、登録および調整プロセスに提出する前に、スプレッドシートで文書化することが可能です。必要なデータがすべて完備されるようにするため、発見のプロセス中は、テンプレートの例に列が示されたスプレッドシートを使用してデータを記録することを推奨します。ステップの順番は集められるビジネス情報、ライブラリの利用可能性、そしてその他のビジネス ニーズによって異なるはずですが、プロセスのステップは論理的に記述されています。基本的なステップは以下のとおりです。

- 詳細な情報の識別
- ビジネス情報エンティティの識別
- コア構成要素の識別

#### 4.8.2.1 詳細な情報の識別

ビジネス プロセスのコンテキストにおいて、関連性があるビジネス情報を調査、収集することが、最初のステップとなります。このステップでは、個々のデータを分析し、それが基本ビジネス情報エンティティ (BBIE) なのか、ビジネス情報エンティティ集合体 (ABIE) なのか、あるいは関連ビジネス情報エンティティなのか判断します。

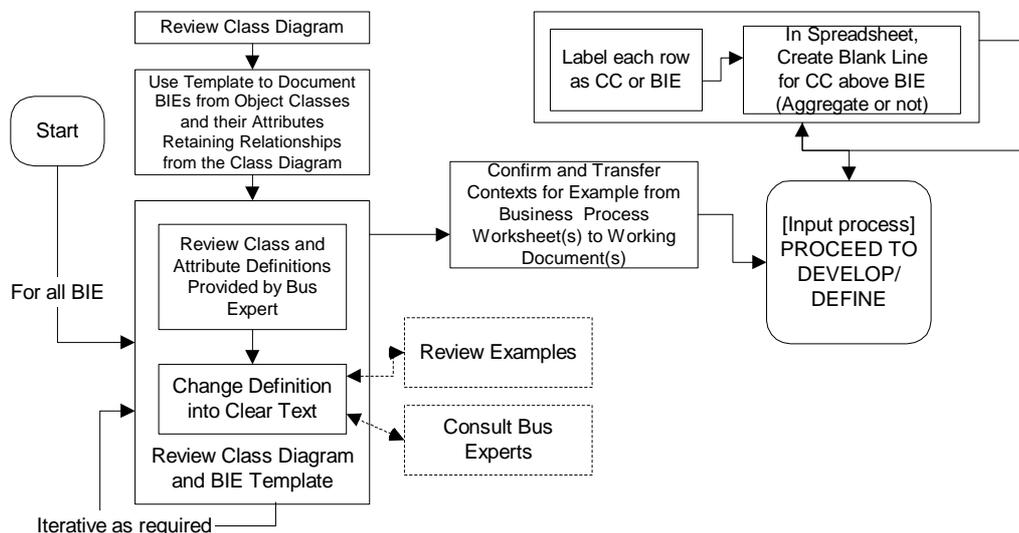
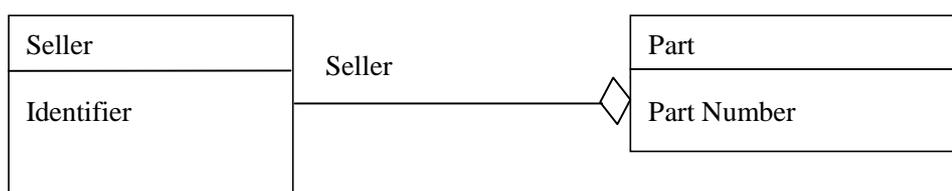


図 4-8 クラス図を検討して詳細情報を識別

以下のテンプレート (表 4-2) では、クラス図の次の部分を検討するあいだに識別された基本ビジネス情報エンティティ、ビジネス情報エンティティ集合体、そして関連ビジネス情報エンティティの例が提供されます。

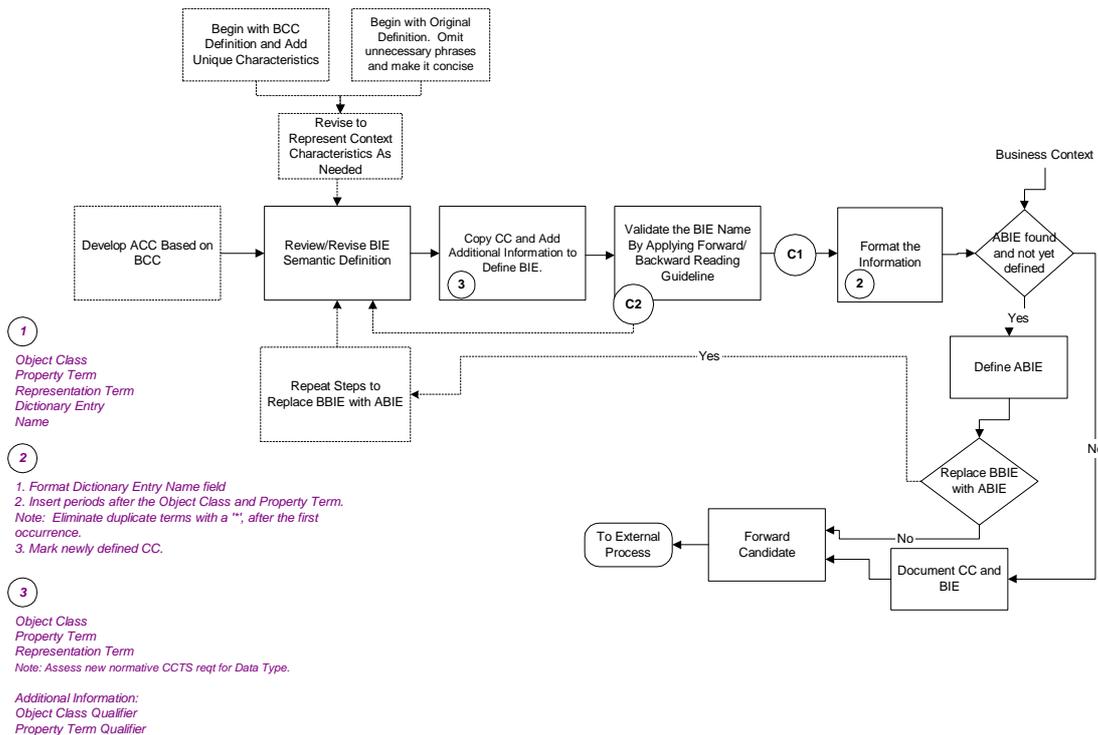


ビジネス用語	オブジェクトクラス限定詞	オブジェクトクラス	属性用語限定詞	属性用語	データタイプ限定詞	表記用語	辞書見出し名	ACC/BC/ABIE/BBIE/ASBIE/ASCC	意味の説明	注釈
部品								ABIE	対象部品、組み立て部品、キット、または原料	
部品番号								BBIE	対象部品、組み立て部品、キット、または原料の、製造者、供給者、または業界規格の ID	
販売者								ASBIE	部品の販売者	
販売者								ABIE	予備部品を購入者に販売する当事者	

表 4-2

#### 4.8.2.2 ビジネス情報エンティティの精緻化

詳細情報をスプレッドシートに集めたら、次のステップでは、それぞれの BIE の定義と名前を精緻化し、BIE の基礎となる CC を発見または定義します。以下の図は、このステップを完了させるためのプロセスを示します。



注意: このセクションのその他の図への参照は、以下の英字で提供されています。

A: CC または BIE を作成

B: 前方 – 後方解釈ガイドラインを使用(エントリ)

C1: ガイドラインを成功裡に終了

C2: ガイドラインを終了して再度適用するために、CC または BIE の作業をやり直し

図 4-9 BIE の精緻化と CC の定義

このプロセスは、主に、それぞれの BIE を検討および修正し、そのビジネス上の意味が一意的なこと、そしてコンテキストの特徴が明確なことを保証することに関係します。可能ならば、該当するコア構成要素技術仕様で定義されたコンテキストのパラメータを文書化する必要があります。BIE の命名に使用される限定詞は、BIE を作成するため、コンテキストの意味をコア構成要素に関連付けます。BIE の基礎となる CC が存在する場合、BIE を定義する一法としては、CC の定義から開始し、固有の特徴をすべて加えていきます。また、広範な BIE (ビジネス用語) の定義を採り入れ、意味のない語句/用語を削除していくという方法もあります。

定義が完了すると、名前が作成されます。以下は、ABIE、BBIE、または ASBIE のスプレッドシートを完成させるのに役立つ一部のヒントです。

- BIE の基礎となる CC が発見されている場合は、CC のオブジェクト クラスおよび表記用語を BIE の上の空白行内の適切な列にコピーします。BBIE の場合は、あわせて属性用語もコピーします。
- ASBIE を命名する際は、それが基礎を置く ABIE とオブジェクト クラス、属性用語、そして表記用語とを一致させる必要があります。

- 適切なオブジェクト クラスと属性用語の限定詞を追加します。
- ABIE の場合は、オブジェクト クラス限定詞、オブジェクト クラス、および表記用語を連結します。
- BBIE または ASBIE の場合は、オブジェクト クラス限定詞、オブジェクト クラス、属性用語限定詞、そして表記用語を連結します。
- 限定詞と用語の間には、下線とスペースをこの順序で挿入する必要があります。オブジェクト クラスと属性用語の後にはピリオドとスペースが続きます。
- 第 4.7.2.2 項の切り詰め規則に従って、重複する用語を取り除きます。
- これで、前方/後方解釈ガイドライン (第 4.8.3.2 項参照) を適用し、名前を有効にすることができます。

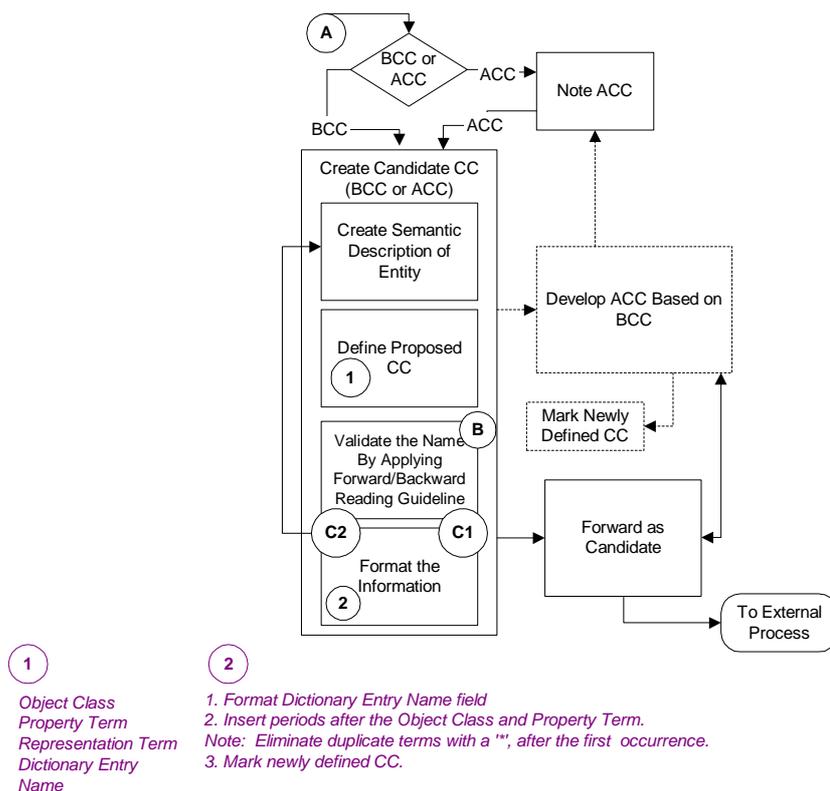
以下のテンプレート (表 4-3) には、適切に定義され、命名された BIE が示されます。

ビジネス用語	オブジェクト クラス限定詞	オブジェクト クラス	属性用語限定詞	属性用語	データタイプ限定詞	表記用語	辞書見出し名	ACC/BC/ABIE/BBIE/ASBIE/ASCC	意味の説明	注釈
部品	Spare Part	Item				Details	Spare Part_ Item. Details	ABIE	対象部品、組み立て部品、キット、または原料	
部品番号	Spare Part	Item	Manufacturer	Identification		Identifier	Spare Part_ Item. Manufacturer_ Identification. Identifier	BBIE	修正 - 予備部品の製造者 ID	修正前: 対象部品、組み立て部品、キット、または原料の、製造者、供給者、または業界規格の ID
販売者	Spare Part	Item	Spare Part	Seller	Spare Part	Seller	Spare Part_ Item. Spare Part_ Seller. Spare Part_ Seller	ASBIE	部品の販売者	
販売者	Spare Part	Seller				Details	Spare Part_ Seller. Details	ABIE	予備部品を購入者に販売する当事者	Merchandise Seller_Party. Details

表 4-3

#### 4.8.2.3 コア構成要素の識別と作成

レジストリ/レポジトリの最初の検索で既存の CC が見つからなかった場合は、定義された BIE に新たな CC を作成する必要があります。以下の図には、基本コア構成要素 (BCC)、コア構成要素集合体 (ACC)、および関連コア構成要素 (ASCC) に必要なステップが特定されています。



注意: このセクションの他の図への参照は、以下の英字で提供されています。

A: CC または BIE を作成

B: 前方 後方解釈ガイドラインを使用(エントリ)

C1: ガイドラインを成功裡に終了

C2: ガイドラインを終了して再度適用するために、CC または BIE の作業をやり直し

図 4-10: CC の作成

CC の作成および命名のプロセスは、その目標が、コンテキストを適用して別の BIE を作成するのに使用できる、再利用可能な CC の定義にあるということを除き、BIE のプロセスと類似しています。

まずは定義が開発されるべきであり、名前はその後、定義から抽出されます。以下は、ACC、BCC、または ASCC のスプレッドシートを完成させるのに役立つ一部のヒントです。

- スプレッドシートに定義を記入したら、次に BCC および ASCC のオブジェクトクラス、属性用語、および表記用語を追加します。
- ACC の場合は、オブジェクトクラスと表記用語の行のみ記入されます。
- オブジェクトクラス、属性用語 (BCC および ASCC)、および表記用語を連結して、辞書見出し名を形成します。それぞれの用語の間にはピリオドとスペースを挿入します。
- 第 4.7.2.2 項の切り詰め規則に従って、重複する用語を取り除きます。
- これで、前方/後方解釈ガイドライン (第 4.8.3.2 項参照) を適用し、名前を有効にすることができます。

以下のテンプレート (表 4-4) には、新しい CC の例が示されます。

ビジネス用語	オブジェクトクラス 限定詞	オブジェクト クラス	属性用語 限定詞	属性用語	データ タイプ 限定詞	表記用語	辞書見出し 名	ACC/B CC/ABI E/BBIE/ ASBIE/ ASCC	意味の説明	注釈
部品		Item				Details	Item. Details	ACC	商品の品目	
部品	Spare Part	Item				Details	Spare Part_ Item. Details	ABIE	対象部品、組み立て部品、キット、または原料	
アイテム		Item		Identification*		Identifier	Item. Identifier	BCC	アイテムの製造者 ID	
部品番号	Spare Part	Item	Manufacturer	Identification		Identifier	Spare Part_ Item. Manufacturer _Identification. Identifier	BBIE	修正 - 予備部品の製造者 ID	修正前: 対象部品、組み立て部品、キット、または原料の、製造者、供給者、または業界規格の ID
部品番号	Spare Part	Item	Manufacturer	Identification		Identifier	Spare Part_ Item. Manufacturer _Identification. Identifier	BBIE	修正 - 予備部品の製造者 ID	修正前: 対象部品、組み立て部品、キット、または原料の、製造者、供給

										者、または 業界規格の ID
販売者		Item		Seller		Seller	Item. Seller	ASCC	アイテムの販 売者	
販売者	Spare Part	Item	Spare Part	Seller	Spare Part	Seller	Spare Part_ Item. Spare Part_ Seller. Spare Part_ Seller	ASBIE	部品の販売者	
販売者		Seller				Details	Seller. Details	ACC	商品を購入者 に販売する当 事者	
販売者	Spare Part	Seller				Details	Spare Part_ Seller. Details	ABIE	予備部品を購 入者に販売す る当事者	Merchandise Seller_Party. Details

表 4-4

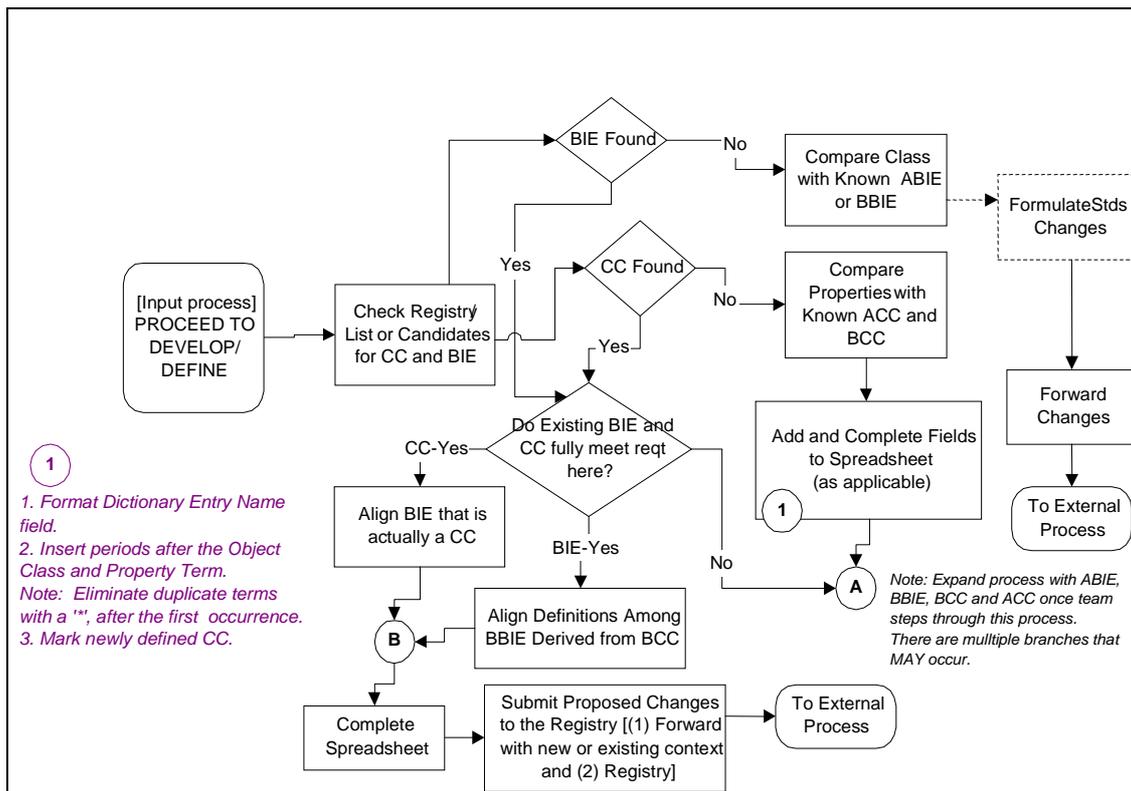
### 4.8.3 複数のステップに適用可能なプロセス

#### 4.8.3.1 コア構成要素のためのレジストリ/レポジトリの検索

ステップ 5 では、ビジネス情報エンティティ集合体/コア構成要素集合体のレベルでレジストリの検索が行われます。検索は、適切な情報が集められた時点で開始されます。

- ABIE のレベルで検索:
- 適切な ABIE をレジストリで検索します。
- 条件を完全に満たす ABIE が見つかった場合は、再利用を登録します。
- 修正することで条件が満たされる可能性のある、類似した ABIE が見つかった場合は、調整および承認プロセスに提出する変更リクエストを作成します。
- ABIE が見つからなかった場合は、ビジネス ニーズを満たす ACC を検索します。
- 条件を完全に満たす ACC が見つかった場合は、その再利用を登録し、ABIE を作成します。
- 修正することで条件が満たされる可能性のある、類似した ACC が見つかった場合は、調整および承認プロセスに提出する変更リクエストを作成します。

- ACC が見つからなかった場合は、ビジネス ニーズを満たす ACC および ABIE を定義し、提出します。
- レポジトリの検索における提案:
- クラス図のオブジェクト クラスをオブジェクト クラス用語と比べてください。
- クラス図で識別された属性を、BBIE、BCC、ASBIE、および ASCC の既知の属性用語と比べてください。



注意: このセクションのその他の図への参照は、以下の英字で提供されています。

A: CC または BIE を作成。

B: 前方 後方解釈ガイドラインを使用(エントリ)

C1: ガイドラインを成功裡に終了

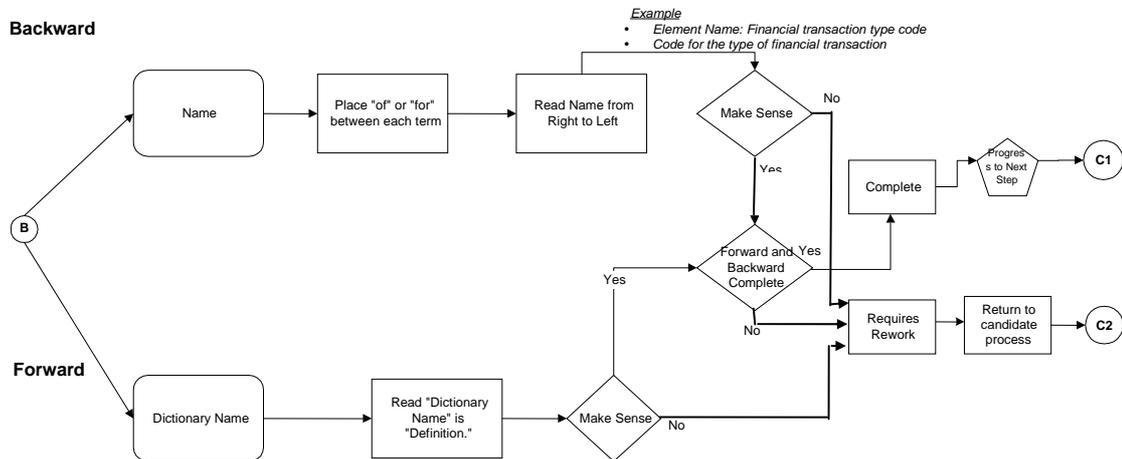
C2: ガイドラインを終了して再度適用するために、CC または BIE の作業をやり直し

図 4-11 レジストリ/レポジトリの検索

検索と発見のプロセスに続いて、調整および承認プロセスへの提出準備を行う必要があります。

### 4.8.3.2 前方/後方解釈ガイドライン

このガイドラインは、それぞれの CC および BIE の名前を有効にするために使用する必要があります。



注意: このセクションのその他の図への参照は、以下の英字で提供されています。

A: CC または BIE を作成

B: 前方 後方解釈ガイドラインを使用(エントリ)

C1: ガイドラインを成功裡に終了

C2: ガイドラインを終了して再度適用するために、CC または BIE の作業をやり直し

図 4-12 前方/後方解釈ガイドライン

## 5. 例

この手引書には、コア構成要素技術仕様の2つの実装例が盛り込まれています。これらの例は、この手引書のこれまでの章で詳述されてきたガイドラインおよびステップを、如何に実際のビジネスの場に適用できるかを示します。

これら2つの例は、独立した2つのチームによって作成されました。1つはボーイング社のチームが、そしてもう一方はEAN International / Uniform Code Council (EAN 国際統一コード委員会) が作成したものです。これらのチームはそれぞれ個別に作業を行ったことから、採用された方法が多少違っており、その結果も異なるものとなっています。

これらの例は、説明のみを目的としたものです。これらの作業から生じたビジネス情報エンティティおよびコア構成要素は統一されていません。採用された方法は各チームの解釈によるものであり、決して規範となるものではありません。

### 5.1 ボーイング社予備部品調達例

ボーイング社予備部品調達例は、UN/CEFACT コア構成要素技術仕様を実施したものです。航空業界では、これまで、電子交換形式の航空輸送協会 (ATA) 規格を使用して、このビジネス プロセスを記述していました。コア構成要素の発見を目的とし、このプロセスのビジネス条件およびデータ条件を明らかにするため、UN/CEFACT モデリング方法論 (UMM) が使用されました。

元のボーイングの例には、異なるユース ケースをサポートするため、数々のユース ケースおよび文書 (BDV、BRV、および BTV) が含まれていますが、この手引書の例として含めるにあたり、Place Order Process (発注プロセス) のみが示されています。第 5.1.1.2 項のアクティビティ図には、その他のユース ケースの活動、および発注とその他の活動との関連の仕方が示されています。また、第 5.1.1.2 項には調達活動のシーケンス図も示されています。

#### 5.1.1 ビジネス条件ビュー (BRV)

##### 5.1.1.1 ビジネス プロセス ユース ケースの説明

詳細なビジネス プロセスのそれぞれについて、以下のワークシートの1つが記入されます。

フォーム: ビジネス プロセス ユース ケース	
フォーム Id	予備部品調達
ビジネス プロセス名	[ビジネス プロセスの名前を記入。これは「ビジネス プロセスの識別」および「プロセス領域の説明」というフォームで識別された名前であればなりません。このフォームから開始する場合は、ビジネス プロセスの規範的なリストが用意されている]

	<p>ebXML ビジネス プロセス カタログを参照することができます。]</p> <p><b>予備部品オンライン発注</b></p>
フォーム Id	
識別子	
説明	<p>[ユース ケースの一部として実行される活動を述べた、一式の簡単な文。拡張ポイントでのユース ケースへの参照が含まれません。]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <u>部品発注システムは、必要な予備部品を発注管理システムから発注すべきであることを識別します。</u></li> <li>2. <u>発注管理システムは、発注情報を評価し、その発注を承認または却下します。</u></li> <li>3. <u>発注管理システムは、供給者からいつ部品が発送されるのかを部品発注システムに通知します。</u></li> </ol>
動作主	<p>[ユース ケースに含まれる動作主を示します。]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>部品発注システム</b></li> <li>• <b>発注管理システム</b></li> </ul>
成果目標	<p>[ユース ケースに関連した測定基準とそれらの目標の指定。非機能的な条件が動作目標のソースとなる場合もあります。それぞれの動作目標について、その名前と簡略な説明を記入します。]</p> <p><b>予備部品発注トランザクションの完了</b></p>
前提条件	<p>[前提条件とは、ユース ケースを開始するにあたって満たされなければならない制約です。]</p> <p><u>顧客は、予備部品が必要であることを識別します。部品発注システムは、この部品を発注して調達するためのシステムです。発注管理システムには、この予備部品の供給者へのリンクがあります。</u></p>
開始	<p>[ユース ケースを開始する動作主の最初のイベントを記述します。]</p> <p><u>部品発注システムは、予備部品注文のトランザクションを発注管理システムに発信します。</u></p>
終了	<p>[ユース ケースを正常に完了させる条件またはイベントを記述します。]</p> <p><u>発注管理システムが最終発送トランザクションを部品発注システムに送信します。</u></p>

例外	<p>[正常に完了する前にユース ケースを終了させる例外条件をすべて示します。]</p> <p><b>なし</b></p>
事後条件	<p>[事後条件とは、ユース ケースを終了するにあたって満たされなければならない状態です。]</p> <p><b>部品発注システムが、発注管理システムから発送通知を受信します。</b></p>
トレーサビリティ	<p>[網羅される条件です (UMM 付録 4 のユース ケース仕様テンプレートに示されるとおり)。] PRD-SC-6.5.4 (サプライチェーンプロジェクト製品条件文書の条件 6.5.4 を意味します)。</p> <p><b>部品発注システムからのソース条件文書への参照</b></p>
サポートされるビジネス コラボレーションおよびビジネス プロセス	<p>[このユース ケースをサポートする (その一部に含まれる) ビジネス コラボレーションおよびビジネス プロセスを示します。]</p> <p><b>未定</b></p>



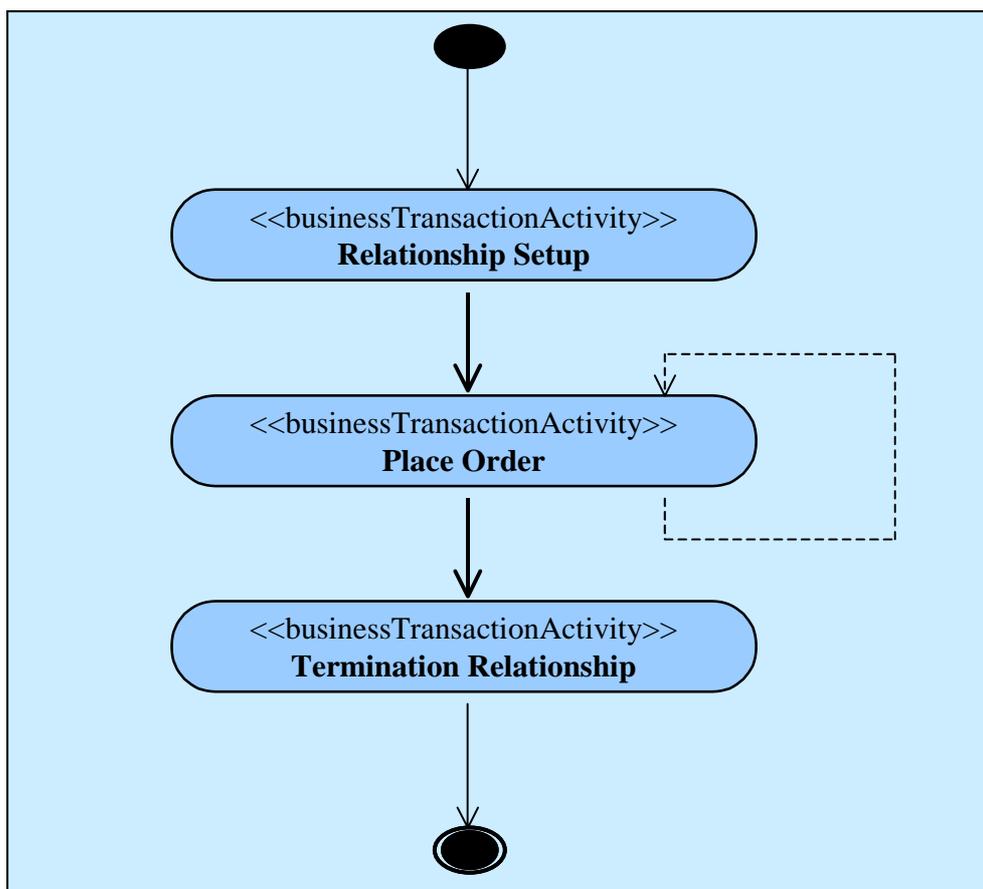


図 5-2 ビジネス コラボレーション プロトコル

#### 5.1.1.4 文書内容の記述

内容記述のワークシートは最初のビジネス データを捉えます。以下のワークシート テンプレートには、入力済みのサンプル データが示されています。クラス 図をサポートする完全なビジネス データは、[ボーイング CC 発見ワークシート V1.1](#) に示されています。

この文書では、それぞれのエレメントまたはエレメントのグループについて説明 します。論理的に関連性のあるエレメントは別のフォームに配置することができます。(例えば、1つの文書には、論理的に、見出し、本文、概要という3つの 部分を含めることが可能であり、本文にはより細かい論理的区分を含めることが できます。) 発生 (Occurs) の取り得る値は、1 (1つのインスタンス)、0..1 (1つの インスタンスで0)、1..\* (1つ以上のインスタンス)、または n..m (n<mでn以上m 以下のインスタンス) です。情報の「ルーピング」は、適切な発生 の値を通じて 指定されます。データタイプの取り得る値は、整数、文字列、日付などの基本

的なデータ種類か、または別の内容記述フォームのフォーム ID です。別の内容記述のフォーム ID への参照は、情報の階層およびネスティングを表します。ドメイン ライブラリまたはコア構成要素 カタログから再利用できるコンポーネントの名前が分かれば、それを参照することもできます。意味記述はビジネス用語で示されなければならず、また一義的なものでなければなりません。

内容記述フォーム					
内容記述名	注文 – Spec2000 EDI (S1BOOKED)				
フォーム Id					
エレメント/コンポーネント名	発生	データタイプ	フィールドサイズ	意味の説明	注意
コマンドコード	1	文字列	8	コマンドコードは、(1) オンライン ファイルの更新、(2) 調達および見積もり活動の開始、そして (3) 照会、応答、および勧告的なメッセージの送信に使用される、特定の種類の遠隔通信メッセージまたは補足情報を識別します。	
部品番号	1	文字列	1..15	部品番号は、当該部品、組み立て部品、キット、または原料の、製造者、供給者、または業界規格の ID です。	
単価	1	浮動小数	1..13	単価は、通貨コード、測定単位、そして該当する場合は数量割引に従った当該部品の販売単価です。	
指定発送方法	0..1	文字列	3	指定発送方法コードは、供給者の施設から特定の積み荷を輸送するのに使用される方法、および輸送費の支払い方法を指定します。	

## 5.1.2 ビジネストランザクションビュー (BTV)

## 5.1.2.1 ビジネストランザクションアクティビティ図

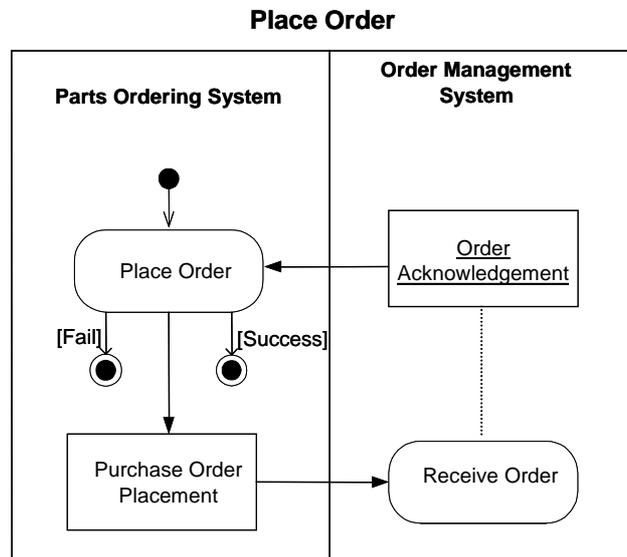
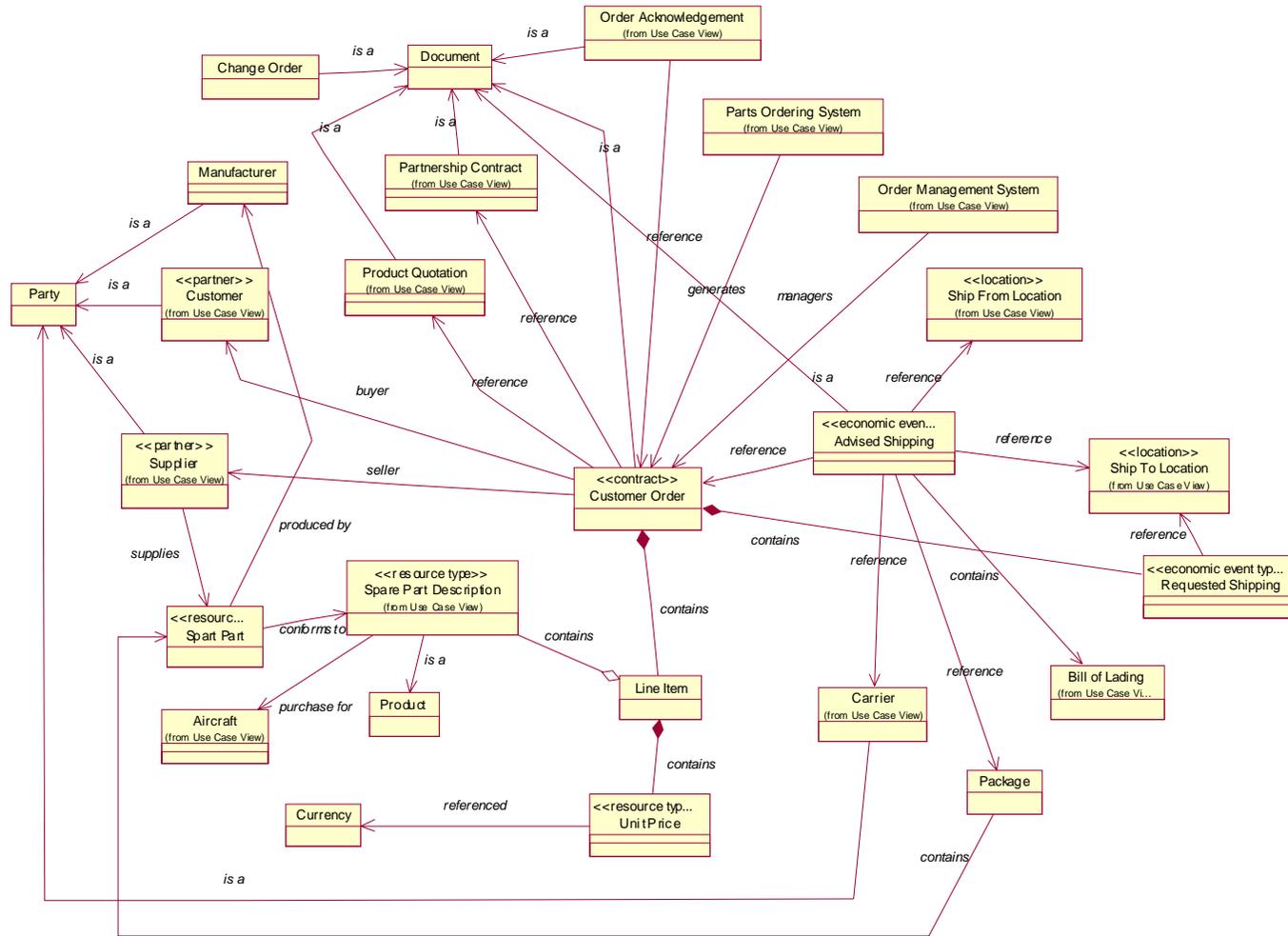


図 5-3 発注のビジネストランザクションビュー

1 5.1.2.2 オブジェクトクラス図



2

図 5-4 オブジェクトクラス図

## 5.1.3 ビジネス サービス ビュー (BSV)

### 5.1.3.1 シーケンス図

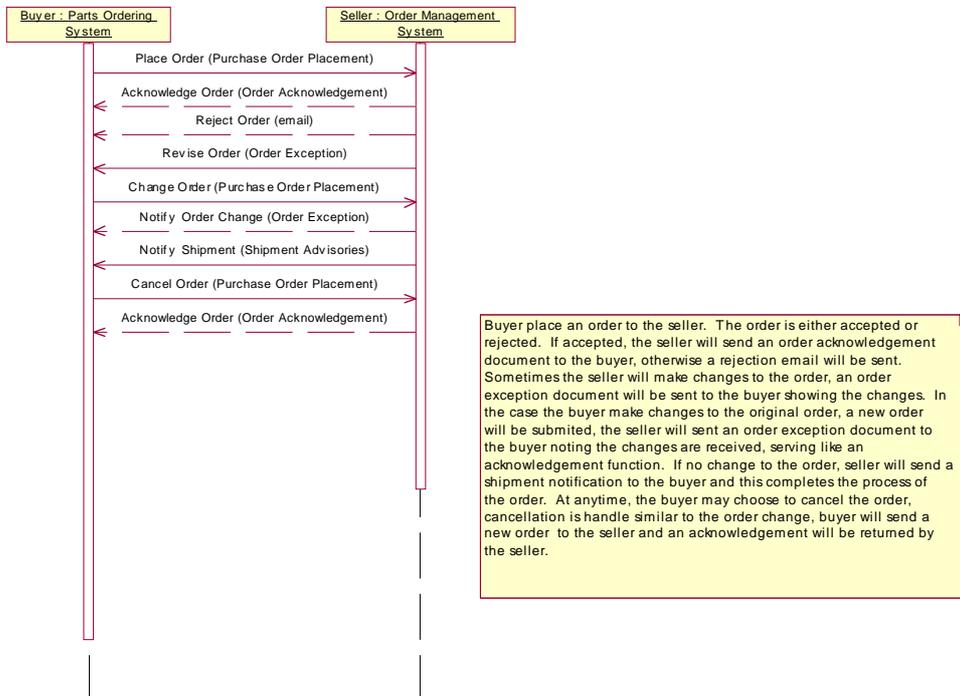


図 5-5 シーケンス図

### 5.1.3.2 ビジネス情報コンテキスト

ビジネス情報コンテキスト フォームは、ビジネス情報の分析に影響を及ぼすコンテキスト上の値をまとめる便宜をはかって提供されます。この情報はその他のフォームから取得するよう意図されています。例えば、業界はビジネス参照フォームで定められます。入力すべき値がない場合は、「NOT APPLICABLE (該当なし)」または「NONE (なし)」のどちらか適切な方を入力します。

フォーム: ビジネス情報コンテキスト	
ビジネス情報コンテキスト名	[ビジネス情報コンテキストの名前を記入します。これは、通常、関連するビジネス トランザクションの名前です。しかし、関連するビジネス コラボレーション名またはより高次元のビジネス プロセス構成の名をとって命名することも可能な場合があります。]
フォーム Id:	
ビジネス プロセス	<u>予備部品発注履行</u>
製品分類	<u>航空機予備部品</u>
業界分類	<u>航空宇宙製造物資調達</u>
地政学的分類	<u>国際</u>
公的制約	<u>航空輸送協会、連邦航空局</u>
ビジネス プロセス役割	<u>航空機予備部品購入者および製造者</u>
サポート役割	<u>運送業者</u>
システム性能	<u>予備部品調達システム</u>

### 5.1.3.3 文書クラスビュー

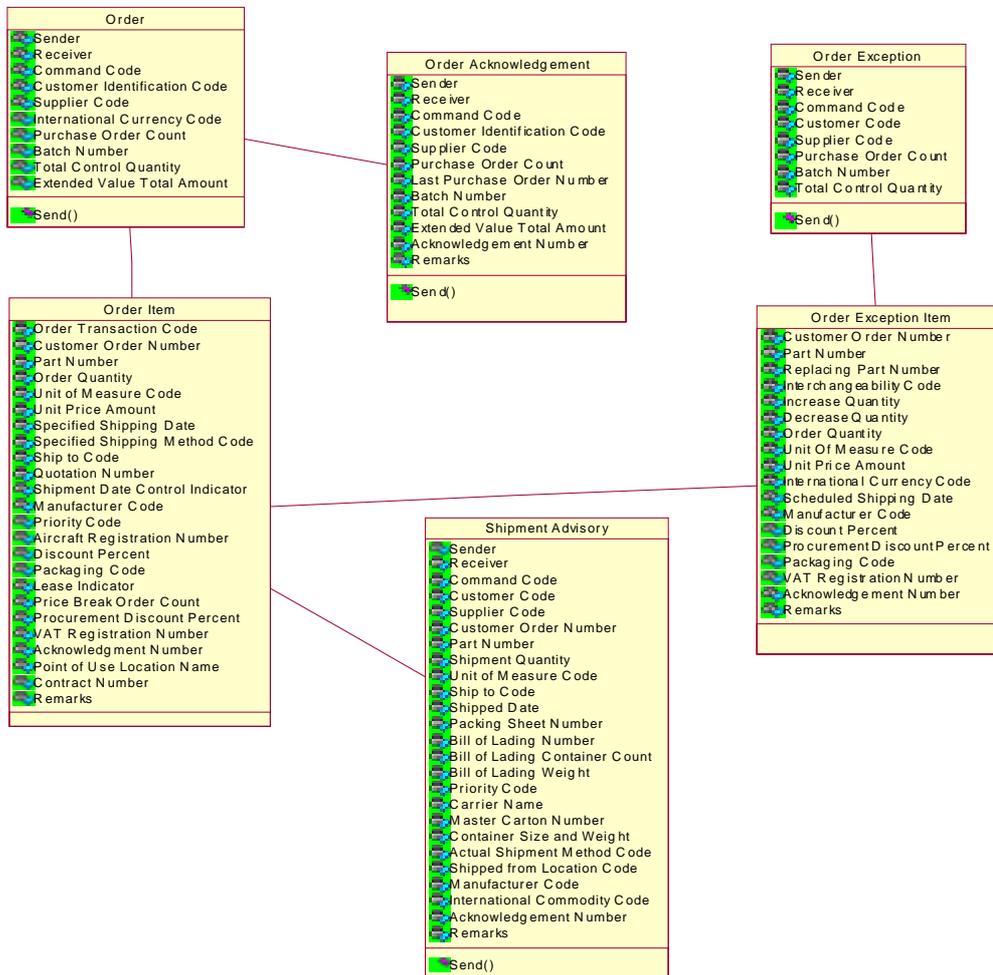


図 5-6 文書クラスビュー

### 5.1.4 コア構成要素モデルの完成

スプレッドシートの各ビジネス用語にコア構成要素識別プロセスを適用してください。以下の表には、データ分析の結果が示されます。ビジネス プロセスの境界の外にあるデータ (つまりコマンド コード) は破棄されていることに注意する必要があります。

ビジネス用語	オブジェクトクラス限定詞	オブジェクトクラス	属性用語限定詞	属性用語	データタイプ限定詞	表記用語	辞書見出し名	BCC/ACC/BBIE/ABIE/ASC/ASB/IE	意味の説明	注釈
コマンドコード									コマンドコードは、(1) オンラインファイルの更新、(2) 調達および見積もり活動の開始、そして(3) 照会、応答、および勧告的なメッセージの送信に使用される、特定の種類の遠隔通信メッセージまたは補足情報を識別します。	PO コンテンツのデータではありません。
国際通貨コード									国際通貨コードは、単価または修理価格に対応する国の通貨を指定します。	
発注数									発注数は、S1BOOKED に含まれる個々の発注の数を指定します。	PO コンテンツのデータではありません。
バッチ番号									バッチ番号は、部品発注の送信グループを識別します (S1BOOKED)。	PO コンテンツのデータではありません。
総管理数									総管理数は、S1Booked の発注送信内の発注数量の総計です。	PO コンテンツのデータではありません。使用しません。
拡張値総数									拡張値総数は、S1Booked コマンドの送信管理であり、所与のS1BOOKED コマンド内の発注トランザクションそれぞれについて、単価と発注数量を乗じ、割引率 (DIS) または調達割引率 (PDP) を減じたものを合計することによって計算されます。	PO コンテンツのデータではありません。使用しません。
発注トラ									発注トランザクション コードは、	TNC ファイル参照。集

トランザクションコード									顧客発注 (S1BOOKED トランザクション) のタイプ、カテゴリ、および条件を指定します。	計データほどには役立ちません。
		Document				Details	Document.Details	ACC	文書の詳細	
		Document		Processing		Code	Document.Processing.Code	BCC	文書処理のタイプを指定するコード	
発注の種類	Purchase Order	Document		Processing		Code	Purchase Order.Document.Processing.Code	BBIE	発注処理のタイプを指定するコード	
		Document		Type		Code	Document.Type.Code	BCC	文書のタイプを指定するコード	
発注の分類	Purchase Order	Document		Type		Code	Purchase Order.Document.Type.Code	BBIE	発注のタイプを指定するコード	
		Document		Purpose		Code	Document.Purpose.Code	BCC	文書の目的を指定するコード	
発注の条件	Purchase Order	Document		Purpose		Code	Purchase Order.Document.Purpose.Code	BBIE	発注の目的を指定するコード	
契約番号	Purchase order	Document	Sales contract	Identification		Identifier	Purchase Order.Document.Sales Contract.Identification.Identifier	BBIE	修正 – 当事者間の販売契約の識別 修正前 – 契約番号は、供給者と顧客が相互に合意した、特殊ビジネス契約を表す参照番号です。	参照番号は、当事者間の販売を参照します。
見積もり番号	Purchase order	Document	Supplier Quotation	Identification		Identifier	Purchase Order.Document.Supplier Quotation.Identification.Identifier	BBIE	修正 – 供給者が見積もりに指定した識別子 修正前 – 見積もり番号は、供給者が当該部品の価格および調達期間の見積もりに指定した ID です。	当該部品の価格および調達期間
顧客発注番号	Purchase Order	Document	Customer	Identification		Identifier	Purchase Order.Document.Customer.Identification.Identifier	BBIE	修正 – 顧客が発注に指定した識別子 修正前 – 顧客発注番号は、所与の部品またはその修理/オーバーホー	

							Identifier		ルのための特定の発注に指定された顧客の ID 番号です。	
	Purchase Order	Document		Customer	Customer	Party	Purchase Order_ Document. Customer. Customer_ Party	ASBIE		
	Purchase Order	Document		Contract	Contract	Document	Purchase Order_ Document. Contract. Contract_ Document	ASBIE		
	Purchase Order	Document		Quote	Quotation	Document	Purchase Order_ Document. Quote. Quotation_ Document	ASBIE		
		Item				Details	Item. Details	ACC	予備部品の詳細	
		Item		Leasing		Indicator	Item. Leasing. Indicator	BCC	アイテムがリース用かどうかを指定する指標	
	Spare Part	Item		Manufacturer	Manufacturer	Party	Spare Part_ Item. Manufacturer. Manufacturer_ Party	ASBIE		
	Spare Part	Item		Aircraft	Aircraft	Equipment	Spare Part_ Item. Aircraft. Aircraft_ Equipment	ASBIE		
部品番号	Spare Part	Item	Manufacturer	Identification		Identifier	Spare Part_ Item. Manufacturer_ Identification. Identifier	BBIE	修正 – 予備部品アイテムの製造者 ID 修正前 – 部品番号は、当該部品、組み立て部品、キット、または原料の、製造者、供給者、または業界規格の ID です。製造者コードとリンクさせると、部品番号は所与のアイテムに一意の ID を提供します。(注意: 部品番号を一意のものとするため、将来的には製造コードの代わりにシリアル番号が使用されます。)	部品番号は、製造者コードとリンクさせると、特定のアイテムに一意の ID を提供します。

リース指 標	Ordered	Item	Onwar d	Leasing		Indicator	Ordered_ Item. Onward_ Leasing. Indicator	BBIE	修正 – リース用として発注された アイテムかどうかを指定する指標 修正前 – リース指標は、対象とな る発注が、参照される部品番号の リースのために行われたことを示 します。	ATA の例: 部品がリース 用に購入されるものかど うかを示す Yes/No コー ド。 PO のリース指標は、発 注された部品がリースの プロジェクト用のもの か、リースの在庫用のも のかを示します。
		Line item				Details	Line Item. Details	ACC	ライン アイテムの詳細	ライン アイテムは、部 品番号、数量、価格など のような、論理的な情報 のグループ分けを表す統 制語彙に含まれる必要が あります。
発注数量		Line item		Ordered quantity*		Quantity	Line Item. Ordered. Quantity	BBIE	修正 – 発注されたライン アイテム の数量 修正前 – 発注数量は、当初発注さ れるか、もしくは特定の顧客発注 番号、部品番号、発送日、または 発送先コードについて後に変更さ れた (測定単位に準じた) 数量で す。	
		Line Item		Purchase Order	Purchase Order	Docume nt	Line Item. Purchase Order. Purchase Order_ Document	ASBIE		
		Base charge price		Quantity*		Quantity	Base Charge Price. Quantity	BCC	料金/単価の基本数量	Unit Price. Base. Quantity という辞書名を 検討してください。
測定単位 コード		Base charge price		Quantity*		Quantity	Base Charge Price. Quantity	BBIE	修正 – 単価の基本数量 修正前 – 測定単位コードは、対象 部品の数量のタイプ、軽量、コン テナ、または形状を指定するもの であり、単価と相互に関連しま す。	
		Unit charge price		Amount*		Amount	Unit Charge Price. Amount	BCC	料金/単価	単価は統制語彙内または 集合体内で定義する必要 があります。

単価		Unit charge price		Amount*		Amount	Unit Charge Price. Amount	BBIE	修正 - 料金/単価 修正前 - 単価は、通貨コード、測定単位、そして該当する場合は数量割引範囲に準じた、当該部品 1 単位の販売価格です。	
		Transport		Method		Code	Transport. Method. Code	BCC	商品または人の移動に使用される輸送方法	調整 輸送方法と輸送形態の違いを考慮してください。
指定発送方法		Transport		Method		Code	Transport. Method. Code	BBIE	修正 - 商品または人の移動に使用される輸送方法 修正前 - 指定発送方法コードは、供給者の施設から特定の積荷を輸送するのに使用される方法、および輸送費の支払い方法を指定します。	最初の 2 文字は発送方法を、最後の文字は支払方法をそれぞれ識別します。
		Transport		Timeframe		Indicator	Transport. Timeframe. Indicator	BCC	輸送日に関連した期限を指定する指標	
発送日管理指標		Transport	Not before fifteen days	Timeframe		Indicator	Transport. Not Before Fifteen Days_ Timeframe. Indicator	BBIE	修正 - 輸送日の 15 日前より早くアイテムを輸送できないように指定します。 修正前 - 発送日管理指標は、当該発注が顧客の指定発送日の 15 日前より早く発送されないように指定します。	
		Payment		Method		Code	Payment. Method. Code	BCC	支払方法を指定するコード	
	Transport	Payment		Method		Code	Transport_ Payment. Method. Code	BBIE	修正 - 輸送費の支払方法を指定するコード 修正前 - 指定発送方法コードは、供給者の施設から特定の積荷を輸送するのに使用される方法、および輸送費の支払い方法を指定します。	
		Processing		Priority		Code	Processing. Priority. Code	BCC	プロセスの優先事項を指定するコード	
優先事項コード	Purchase Order	Processing	Response	Priority		Code	Purchase Order_ Processing. Response_ Priority. Code	BBIE	修正 - 発注への対応の優先事項を指定するコード 修正前 - 優先事項コードは、当該見積もりまたは発注の処理および対応の緊急度を示す、(顧客が指定	

									した)優先度の格付けです。	
		Equipment		Identification*		Identifier	Equipment Identifier	BCC	機器の単位の識別	
航空機登録番号	Aircraft	Equipment	Aviation Authority Assigned	Identification		Identifier	Aircraft_Equipment_Aviation Authority Assigned_Identifier	BBIE	修正 – 該当する航空当局によって個々の航空機に指定された登録識別子 修正前 – 航空機登録番号は、公認国家機関によって個々の航空機に指定された登録 ID です。	
割引率									割引率は、単価に適用される商業割引を指定します。	調達割引率参照
		Packaging		Instruction		Code	Packaging_Instruction_Code	BCC	梱包の指示を提供するコード	梱包は、アイテムの周囲に梱包資材を詰め込むプロセスです。
梱包コード	Aircraft part	Packaging		Instruction		Code	Aircraft Part_Packaging_Instruction_Code	BBIE	修正 – 航空機部品の梱包指示を指定するコード 修正前 – 梱包コードは、当該部品の発送に使用するコンテナの種類、梱包条件、または資材処理機器を特定の顧客発注番号ごとに指定します。	ATA の例: ATA SPEC300 では、梱包コードは、航空機の部品を発送するための梱包条件、資材、およびコンテナを定めます。部品が曲がったり、劣化したりの、梱包条件に関する航空機規定の特定条件。 「2」= 部品製作時に部品コンテナも作成されます。 BCC は複数の可能性があります。
		Packaging		Spart Part	Spare Part	Item	Packaging_Spare Part_Spart Part_Item	ASBIE		
		Unit Price				Details	Unit Price_Details	ACC, ABIE	単価の詳細	
		Unit price discount		Base quantity*		Quantity	Unit Price Discount_Base_Quantity	BCC	単価割引を計算する際の基本数量	
割引数量		Unit price discount	Order	Base quantity		Quantity	Unit Price Discount_Order_Base	BBIE	修正 – 価格の割引を計算する際に考慮される個々の発注数 修正前 – 割引数量は、数量割引を	航空業界固有のものではありません。価格と数量の評価用。より経済的な

		nt					Quantity. Quantity		適用するためにまとめられる発注内の、共通する部品番号の個々の発注数を指定します。	もの。2 つでは通常価格で、3 つ購入すると割引など。
		Unit price discount		Percent*		Percent	Unit Price Discount. Percent	BCC	単価割引率	
調達割引率		Unit price discount		Percent*		Percent	Unit Price Discount. Percent	BBIE	修正 - 単価割引率 修正後 - 調達割引率は、単価および修理価格に適用される商業割引率 (小数第 2 位まで) を指定します。関連する数量割引も適用されます。	
		Unit Price		Line Item		Line Item	Unit Price. Line Item. Line Item.	ASBIE		
		Organization		Tax identification*		Identifier	Organisation. Tax. Identifier	BCC	組織の登録納税 ID	CCC 調整 - これは当事者ですか、それとも組織ですか? ID ですか、それとも登録ですか? Organisation.tax registration.identifier
VAT 登録番号	Customer	Organization	VAT	Tax identification		Identifier	Customer_ Organisation. VAT_Tax Identification. Identifier	BBIE	修正 - 顧客の付加価値税 (VAT) 登録番号 修正前 - VAT 登録番号は、顧客の納税登録番号です。	ヨーロッパ税は、発注時、輸入および輸出に適用されます。
		Transaction		Reference		Identifier	Transaction. Reference. Identifier	BCC	トランザクションへの参照を可能にする識別子	注意: 「トランザクション」という語の BP 定義を取得してください。
通知番号		Transaction		Reference		Identifier	Transaction. Reference. Identifier	BBIE	修正 - トランザクションのトレーサビリティを保証するため、メッセージ内で送信される識別子 修正前 - 通知番号は、トレーサビリティを保証するために送信される、特定のコマンドに関連した値です。	PO 作成の際、追跡のために生成される一意の番号
		Location		Identification		Code	Location. Identification. Code	BCC	場所の識別子	コードと識別子に関する CCSD の討議に基づき、location. Identifier とすることを推奨しま

										す。
使用場所名	Receiving Storage	Location		Identification		Code	Receiving Storage_ Location. Identification. Code	BBIE	修正 – 保管のための受け取り場所の識別子 修正前 – 使用場所名は、ユーザーの施設のストック/貯蔵場所を識別します。	「ストック/貯蔵」を定義してください。 ATA 定義 – 在庫を保管するための場所で、この場所は貯蔵所と呼ばれます。
		Location		Identification*		Identifier	Location. Identifier	BCC	場所の ID	
発送先コード	Shipment destination	Location		Identification*		Identifier	Shipment Destination_ Location. Identifier	BBIE	修正 – 発送先の場所の識別子 修正前 – 発送先コードは、必要なマークおよび積荷コンテナに表示しなければならない情報を含む、発送の宛先住所を識別します。発送先コードは、積荷の宛先に関する特定の税金や料金の適用または除外に関する情報を伝える場合もあります。	
		Information		Text*		Text	Information. Text	BCC	情報を提供するテキスト	
注釈テキスト	Miscellaneous	Information		Text*		Text	Miscellaneous_ Information. Text	BBIE	修正 – その他の情報を提供するテキスト 修正前 – 注釈テキストは、さまざまな記録システム専用のテキストエレメント識別子 (TEI) で提供されないその他の情報を提供します。	
		Party				Details	Party. Details	ACC	ビジネス機能の役割を持つ、個人、グループ、または団体の詳細	
製造者コード	Manufacturer	Party		Identification*		Identifier	Manufacturer_ Party. Identifier	BBIE	修正 – アイテムの製造者の ID 修正前 – 製造者コードは、当該部品の設計および部品番号の割り当てを管理する製造者、政府機関、またはその他の組織を識別します。	ATA 定義 – 製造者は部品の作成者および部品番号指定者です。製造者コードは部品番号に含まれると思われかもしれませんが、これには含まれません。
供給者コード	Vendor	Party		Identification*		Identifier	Vendor_ Party. Identifier	BBIE	修正 – ベンダーの ID 修正前 – 供給者コードは、調達データの発案者、および調達プラン、V ファイルの供給、そして構成データのアプリケーションの提	注意: 供給者とは、通常、データ情報を供給する当事者を指します。ATA は、予備部品等の製品を供給する供給者に

									供における当該部品の供給源を識別します。	「ベンダー」を使用しています。配給者と供給者の違い。航空会社は、部品を販売する場合「供給者」となることが可能で、供給者コードを持つこととなり、部品の番号は航空会社の部品番号となります。 ATA は、ベンダー当事者識別子の使用を推奨しています。
顧客 ID コード	Customer	Party		Identification*		Identifier	Customer_ Party. Identifier	BBIE	修正 – 商品およびサービス購入者の識別子 修正前 – 顧客 ID コードは、航空会社顧客に加え、S1BOOKED およびその他いくつかのトランザクションを送受信する会社または個人を識別します。	最初の 2 文字は航空会社を識別します。最後の文字は製品 ID 用です。  同意語の調整 (顧客/購入者)
	Vendor	Party		Spare Part	Spare Part	Item	Vendor_ Party. Spare Part. Spare Part_ Item	ASBIE		
通貨									関連する金額の通貨	金額と連携する CCT であり、単体では使用されません。
		Package				Details	Package. Details	ACC, ABIE	パッケージの詳細	
		Package		Spare Part	Spare Part	Item	Package. Spare Part. Spare Part_ Item	ASBIE		
		Ship to Location				Details	Ship to Location. Details	ACC, ABIE	発送先の詳細	
		Shipping				Details	Shipping. Details	ACC	発送の詳細	
		Shipping		Date*		Date	Shipping. Date	BCC	施設から発送される日付	
指定発送 日	Customer required	Shipping		Date*		Date	Customer Required Shipping. Date	BBIE	修正 – 顧客が要求する供給者の施設からの原料の発送日 修正前 – 指定発送日は、所与の発	

									注において顧客が要求する、供給者の施設からの原料の発送日	
	Customer Required	Shipping		Purchase Order	Purchase Order	Document	Customer Required_ Shipping. Purchase Order. Purchase Order_ Document	ASBIE		
	Customer Required	Shipping		Ship to Location	Shipment Destination	Location	Customer Required_ Shipping. Ship to Location. Shipment Destination_ Location	ASBIE		
	Advised	Shipping				Details	Advised_ Shipping. Details	ABIE	発送通知の詳細	
	Advised	Shipping		Purchase Order	Purchase Order	Document	Advised_ Shipping. Purchase Order. Purchase Order_ Document	ASBIE		
	Advised	Shipping		Purchase Order	Purchase Order	Document	Advised_ Shipping. Purchase Order. Purchase Order_ Document	ASBIE		
	Advised	Shipping		Ship to Location	Shipment	Location	Advised_ Shipping. Ship to Location. Shipment_ Location	ASBIE		
	Advised	Shipping		Package		Package	Advised_ Shipping. Package. Package	ASBIE		
	Requested	Shipping				Details	Requested_ Shipping. Details	ABIE	発送要求の詳細	

2003-06-16

	Customer Required	Shipping		Ship to Location	Shipment Destination	Location	Customer Required_ Shipping. Ship to Location. Shipment Destination_ Location	ASBIE		
--	-------------------	----------	--	------------------	----------------------	----------	---	-------	--	--

### 5.1.4.1 コア構成要素付きの詳細なクラス図

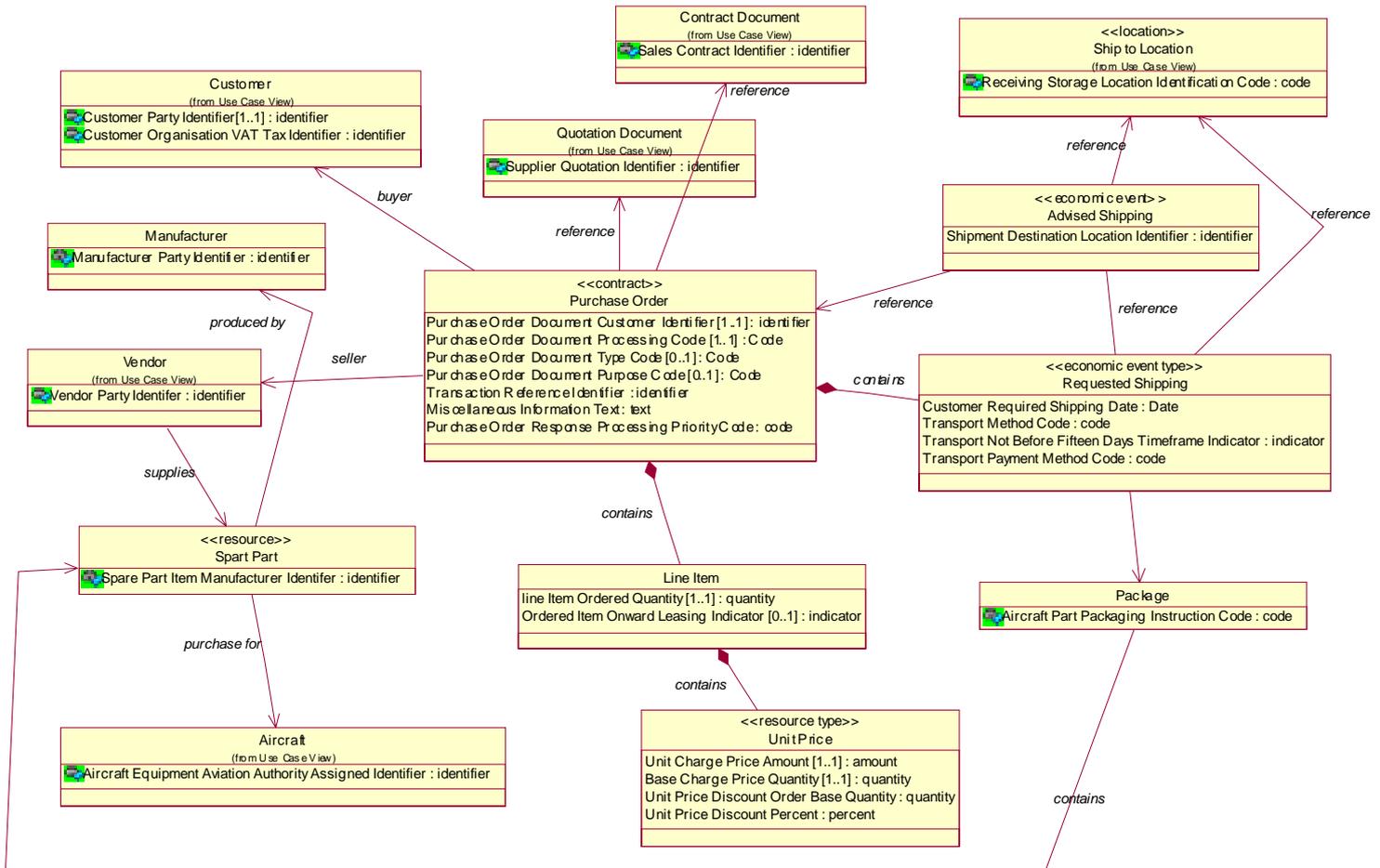


図 5-7 詳細クラス図

発注クラス図は、発見された BIE 名を示すように現在更新されています。

### 5.1.5 コア構成要素を使用したビジネス文書構築例

以下には、ATA 発注文書および EDIFACT 文書に同じコア構成要素を適用した例が示されます。

### 5.1.5.1 ATA 発注文書の例

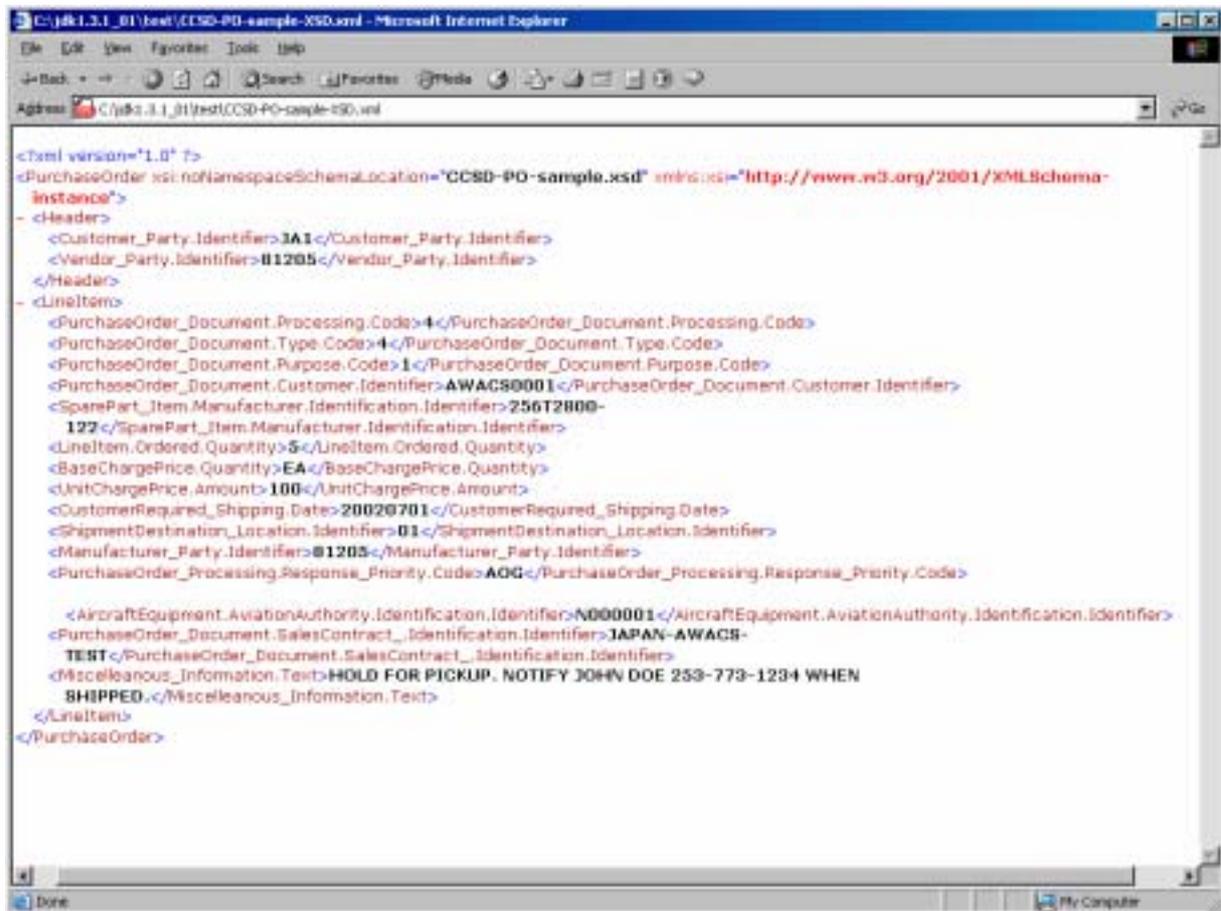


図 5-8 ATA 発注文書

この例には、XML メタデータ タグとしてのコア構成要素の使用が示されています。

### 5.1.5.2 文書データ構造条件を記述する文書タイプ定義 (DTD) ファイル

```
<!ELEMENT BaseChargePrice.Quantity (#PCDATA)>
<!ELEMENT Customer_Party.Identifier (#PCDATA) >
<!ELEMENT CustomerRequired_Shipping.Date (#PCDATA) >
<!ELEMENT Header ( Customer_Party.Identifier, Vendor_Party.Identifier ) >
<!ELEMENT LineItem ( PurchaseOrder_Document.Processing.Code,
PurchaseOrder_Document.Type.Code,
PurchaseOrder_Document.Purpose.Code,
PurchaseOrder_Document.Customer.Identifier,
SparePart_Item.Manufacturer.Identification.Identifier, LineItem.Ordered.Quantity,
BaseChargePrice.Quantity, UnitChargePrice.Amount,
CustomerRequired_Shipping.Date, ShipmentDestination_Location.Identifier,
Manufacturer_Party.Identifier,
PurchaseOrder_Processing.Response_Priority.Code,
AircraftEquipment.AircraftAuthority Identification.Identifier,
PurchaseOrder_Document.SalesContract_Identifier.Identifier,
Miscellaneous_Information.Text ) >
<!ELEMENT LineItem.Ordered.Quantity (#PCDATA) >
<!ELEMENT Manufacturer_Party.Identifier (#PCDATA) >
<!ELEMENT Miscellaneous_Information.Text (#PCDATA) >
<!ELEMENT PurchaseOrder_Document.Customer.Identifier (#PCDATA) >
<!ELEMENT PurchaseOrder_Document.Processing.Code (#PCDATA) >
<!ELEMENT PurchaseOrder_Document.Purpose.Code (#PCDATA) >
<!ELEMENT PurchaseOrder_Document.Type.Code (#PCDATA) >
<!ELEMENT PurchaseOrder_Processing.Response_Priority.Code (#PCDATA) >
<!ELEMENT PurchaseOrder ( Header, LineItem ) >
<!ELEMENT PurchaseOrder_Document.SalesContract_Identifier.Identifier (#PCDATA) >
<!ELEMENT ShipmentDestination_Location.Identifier (#PCDATA) >
<!ELEMENT SparePart_Item.Manufacturer.Identification.Identifier (#PCDATA) >
<!ELEMENT Transaction.Reference.Identifier (#PCDATA) >
<!ELEMENT UnitChargePrice.Amount (#PCDATA) >
<!ELEMENT Vendor_Party.Identifier (#PCDATA) >
```

## 5.1.5.3 文書データ構造およびデータ タイプ条件を記述する XML スキーマ ファイル

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<xsd:schema xmlns:xsd="http://www.w3.org/2000/10/XMLSchema">
  <xsd:element name="PurchaseOrder">
    <xsd:complexType>
      <xsd:sequence>
        <xsd:element name="Header" minOccurs="1" maxOccurs="1">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="CustomerPartyIdentifier" type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="VendorPartyIdentifier" type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
        <xsd:element name="LineItem" minOccurs="1" maxOccurs="unbounded">
          <xsd:complexType>
            <xsd:sequence>
              <xsd:element name="PurchaseOrder.Document.Processing.Code" type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="PurchaseOrder.Document.Type.Code" type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="PurchaseOrder.Document.Purpose.Code" type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="PurchaseOrder.Document.Customer.Identifier" type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="SparePart.Item.Manufacturer.Identification.Identifier" type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="LineItem.Ordered.Quantity" type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="BaseChargePrice.Quantity" type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="UnitChargePrice.Amount" type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="CustomerRequired.Shipping.Date" type="xsd:string" minOccurs="1" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="Transport.Method.Code" type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="Payment.Method.Code" type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="ShipmentDestination.Location.Identifier" type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
              <xsd:element name="PurchaseOrder.Document.RunlineQuantitation.Identifier" type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
            </xsd:sequence>
          </xsd:complexType>
        </xsd:element>
      </xsd:sequence>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
</xsd:schema>

```

図 5-9 XML スキーマ (1)

```

<xsd:element name="ShipmentDestination_Location_Identifier" type="xsd:string" minOccurs="0"
maxOccurs="1" />
<xsd:element name="PurchaseOrder_Document.SupplierQuotation_Identifier" type="xsd:string"
minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="Transport.NotBeforeFifteenDays_Timeframe.Indicator" type="xsd:string"
minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="Manufacturer_Party.Identifier" type="xsd:string" minOccurs="0"
maxOccurs="1" />
<xsd:element name="PurchaseOrder_Processing.Response.Priority.Code" type="xsd:string"
minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="Aircraft_Equipment.AviationAuthorityAssigned_Identifier.Identifier"
type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="AircraftPart_Packaging.Instruction.Code" type="xsd:string" minOccurs="0"
maxOccurs="1" />
<xsd:element name="Ordered_Item.Onward_Leasing.Indicator" type="xsd:string" minOccurs="0"
maxOccurs="1" />
<xsd:element name="UnitPriceDiscount_Order.Base.Quantity" type="xsd:string" minOccurs="0"
maxOccurs="1" />
<xsd:element name="UnitPriceDiscount.Percent" type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="Customer_Organisation.VAT_Tax.Identifier" type="xsd:string" minOccurs="0"
maxOccurs="1" />
<xsd:element name="Transaction.Reference.Identifier" type="xsd:string" minOccurs="0"
maxOccurs="1" />
<xsd:element name="ReceivingStorage_Location.Identification.Code" type="xsd:string"
minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="PurchaseOrder_Document.SalesContract_Identifier.Identifier"
type="xsd:string" minOccurs="0" maxOccurs="1" />
<xsd:element name="Miscellaneous_Information.Text" type="xsd:string" minOccurs="0"
maxOccurs="1" />
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
</xsd:sequence>
</xsd:complexType>
</xsd:element>
</xsd:schema>

```

図 5-10 XML スキーマ (2)

## 5.1.5.4 発注のブラウザ ビュー

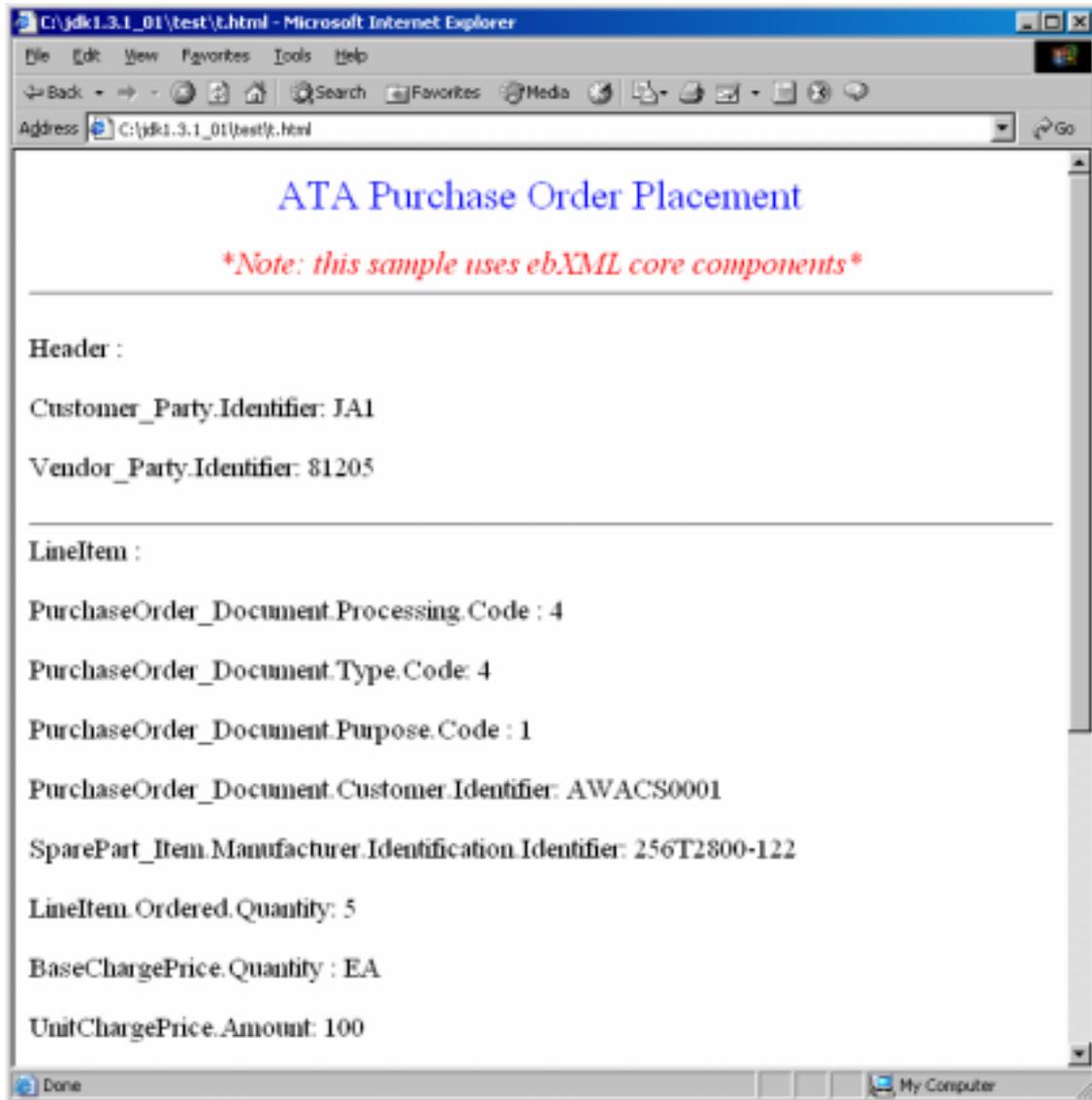


図 5-11 ブラウザ ビュー (1)

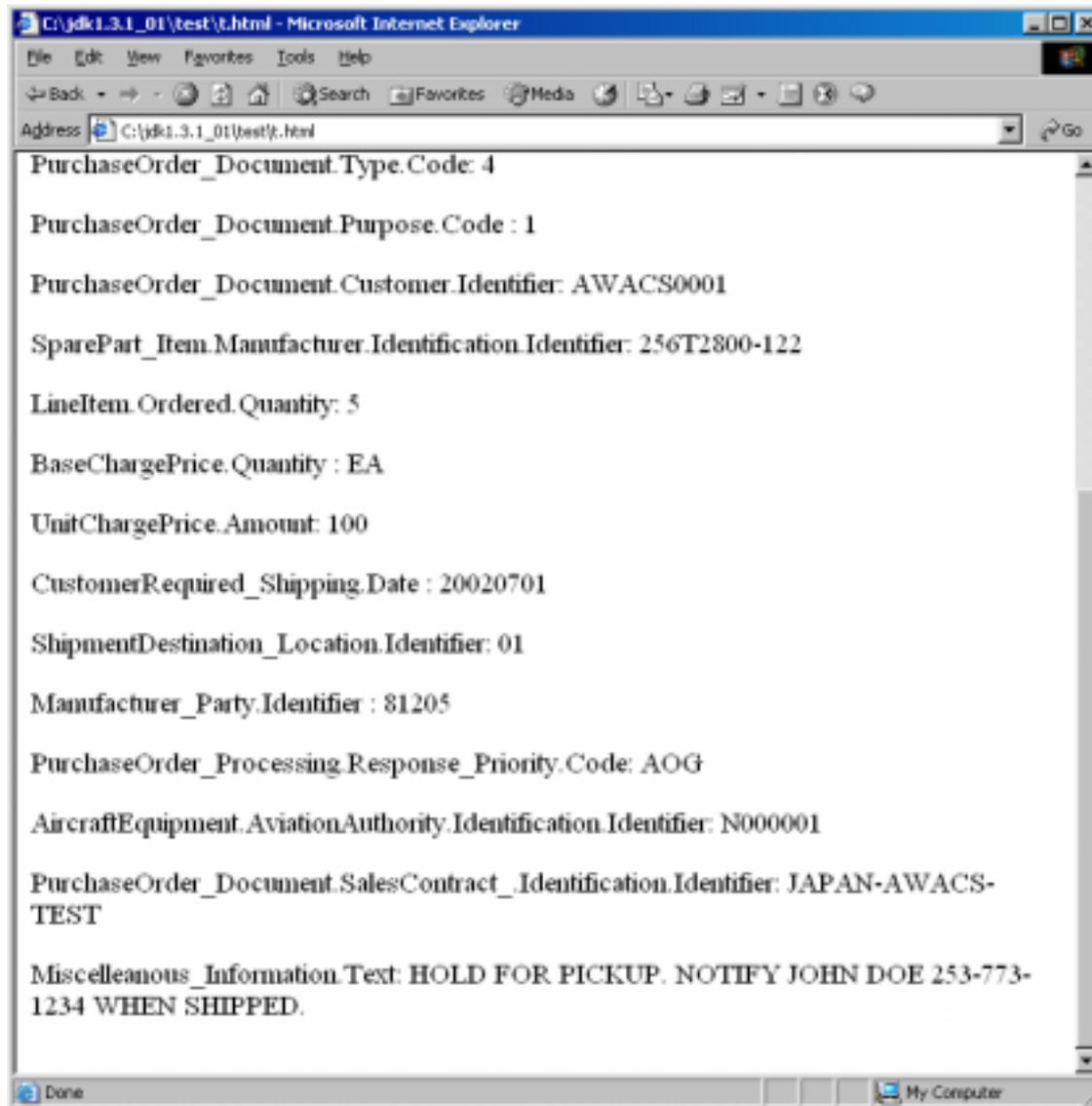


図 5-12 ブラウザ ビュー (2)

## 5.1.5.5 EDIFACT 例

### 5.1.5.5.1 序論

CCSD プロジェクトは、航空宇宙部品発注文書で交換されるビジネス情報エンティティを識別します。本書では、例として、発注文書が EDIFACT 構文で生成されています。

EDIFACT による生成は、EDIFACT のセグメント、エレメント、およびコードの意味と、コア構成要素で定義されたプロセスを通じて発見された BIE との間に使用可能な相互参照のマッピングがない限り、手作業のプロセスとなります。それでも、生成は、可能な限り単純な活動として実行されています。ビジネス専門家に尋ね直さなくても済むように、BIE 定義には十分な情報を含める必要があります。

これは BIE のおよそ 90% で達成されています。残り 10% の不確定部分は注釈部で述べられており、発見プロセス全般の向上、またはプロセス実施方法の明確化のために使用することができます。

### 5.1.5.5.2 表

以下の表には、EDIFACT が適格としたセグメントおよびエレメントへの BIE のマッピングが示されています。航空宇宙業界で使用される際、BIE は、メッセージの機能定義（「販売者と購入者との間で合意された条件に基づいて発注された商品またはサービスの詳細を指定するメッセージ」）が EDIFACT ORDERS メッセージの記述に一致すると、そのメッセージに存在するセグメントおよびエレメントにマップされます。

ほとんどの BIE は、適格なセグメント内のデータ エレメントにマップされています。そのような場合、「EDIFACT 名」の列には、適格なセグメント名とデータ エレメントの両方が示されます。

電子メッセージのデータはほとんどがコード化されています。この特定のコンテキストで使用されるコード値が EDIFACT コード一覧にない場合は、追加を要求するか、もしくは私的なコード一覧（メッセージ内で識別されます）を使用する必要があります。

辞書見出し名	BCC/BBIE	意味の説明	EDIFACT セグメント限定詞	EDIFACT エレメント	EDIFACT 名
	ABIE ???	Order Transaction Code は顧客発注 (S1BOOKED トランザクション) のタイプ、カテゴリー、および条件を指定します。	UNH	0065	Message Type = ORDERS
Purchase Order_ Document. Processing. Code	BBIE	発注処理のタイプを指定するコード	?	?	注釈: 例がなければ定義が十分に明確なものとなりません。BGMまたはGISではエンベロープ (UNB/UNH) に配置可能。
Purchase Order_ Document. Type. Code	BBIE	発注のタイプを指定するコード	BGM	1001	Document name code (文書名タイプ)
Purchase Order_ Document. Purpose. Code	BBIE	発注の目的を指定するコード	BGM	1225	Message function code (メッセージ機能コード)
Purchase Order_ Document. Sales Contract_ Identification. Identifier	BBIE	当事者間の販売契約の識別子	RFF-CT	1154	Contract number (契約番号)
Purchase Order_ Document. Supplier Quotation_ Identification. Identifier	BBIE	供給者が見積りに指定した ID	RFF-AGG	1154	Offer number (オファー番号)
Purchase Order_ Document. Customer_ Identification. Identifier	BBIE	顧客が発注に指定した識別子	BGM	1004	Document Identifier (文書識別子)

Spare Part_ Item. Manufacturer_ Identification. Identifier	BBIE	製造者の予備部品アイテム識別子	LIN-BZ	7140	Item identifier (アイテム識別子) Original equipment number (オリジナル機器番号) 注釈: Qualifier = 7143
Line Item. Ordered. Quantity	BBIE	ライン アイテムの発注数量	QTY-21	6060	Ordered quantity (発注数量)
Base Charge Price. Quantity	BBIE	料金/単価の基本数量	PRI-CAL	5284	Unit price basis value (単価基本数量)
	Supp. Component	単価の基本数量	PRI-CAL	6411	Measurement unit code (測定単位コード) 注釈: CC 仕様では、補助コンポーネントで指定されたとおりの定義。EDIFACT では別のエレメント。
Unit Charge Price. Amount	BBIE	単位あたりの料金/価格	PRI-CAL	5118	Price amount (価格)
Customer Required Shipping. Date	BBIE	顧客が要求した供給者施設からの資材の発送日	DTM-10	2380	Shipment date/time, requested (発送日/時間、要求)
Transport. Method. Code	BBIE	商品または人の運搬に使用される輸送方法	TDT	8067	Transport mode name code (輸送形態名コード) 注釈: 10 の UN/ECE Rec.19 コードのみ使用可能。その形態だけでなく、要求された輸送サービスを示す、より多くのオプションが必要となる可能性あり。
Payment. Method. Code	BBIE	輸送費の支払方法を指定するコード	TOD-5	4215	Transport charges payment method code (輸送料金支払方法コード)
Shipment Destination_ Location. Identifier	BBIE	積荷の宛先の識別子	NAD-ST	3039	Ship to party identifier (発送先当事者識別子)
Transport. Not Before Fifteen Days Timeframe. Indicator	BBIE	輸送日の 15 日より前に輸送を行えないように指定する指標	SCC-1	4493	Firm Delivery instruction code (確定配送指示コード)
Purchase Order_ Processing. Response_ Priority. Code	BBIE	発注への対応における優先事項を指定するコード	GIS	7365	Processing indicator description code (処理指標記述コード) 注釈: D.02B ディレクトリの実施によ

					ってこのセグメントは削除。 GIS セグメントは詳細レベルでのみ提示。
Aircraft_ Equipment. Aviation Authority Assigned_ Identification. Identifier	BBIE	適切な航空当局によって個々の航空機に指定された登録識別子	GIR-?	7402	Related identification number, object identifier (関連 ID 番号、オブジェクト識別子) 注釈: 7297:Set type code qualifier (タイプコード識別子)に要求される新たなコード。 例: "Target equipment" (対象機器)
Aircraft Part_ Packaging. Instruction. Code	BBIE	航空機部品の梱包指示を指定するコード	PAC	7073 7065	Packaging terms and conditions code (梱包条件コード) Package type description code (梱包タイプ記述コード)
Ordered_ Item. Onward_ Leasing. Indicator	BBIE	アイテムがリース用に発注されたものかどうかを指定する指標	ALI	4183	Special condition code (特別条件コード) 注釈: コード 104 の場合: レンタルは適用されず、新たなコードが要求されなければなりません (例、「リース用にアイテムを発注」)
Unit Price Discount. Order_ Base. Quantity. Quantity	BBIE	割引計算の際に考慮される個々の発注の数	ALC-H QTY-398	6060	Line item allowance (ライン アイテム値引き) Maximum number of purchase orders allowed (最大発注可能数)
Unit Price Discount. Percent	BBIE	単価割引率	ALC-H PCD-1	5482	Line item allowance (ライン アイテム値引き)
Customer_ Organisation. VAT_ Tax Identification. Identifier	BBIE	顧客の付加価値税 (VAT) 登録番号	NAD-OY RFF-VA	1154	Ordering customer (発注顧客) VAT registration number (VAT 登録番号)
Transaction. Reference. Identifier	BBIE	トランザクションのトレーサビリティを保証するためにメッセージ内で送信される識別子	RFF-AIH	1154	Common transaction reference number (共通トランザクション参照番号)
Receiving	BBIE	保管のための受け取り場	NAD-	3225	Ship to party

Storage_ Location. Identification. Code		所の識別子	ST LOC-88		identifier (発送先当事者識別子) Place of receipt (受け取り場所)
Miscellaneous_ Information. Text	BBIE	その他の情報を提供するテキスト	FTX-AAJ	4440	General information (一般情報)
Manufacturer_ Party. Identifier	BBIE	アイテムの製造者の ID	NAD-MF	3039	Manufacturer of goods (商品製造者)
Vendor_ Party. Identifier	BBIE	ベンダーの識別子	NAD-VN	3039	Vendor (ベンダー)
Customer_ Party. Identifier	BBIE	商品およびサービス購入者の識別子	NAD-OY	3039	Ordering customer (発注顧客)
	Supp. Component	関連した通貨の金額	CUX-2	6345	Reference currency (参照通貨) 注釈: CC 仕様では、これは Amount. Type に属する補助コンポーネントです。EDIFACT では、CUX セグメントは規定の通貨としてヘッダー内に配置することができますが、金額を搬送する適切なセグメントの CUX セグメントにも配置可能です。

### 5.1.5.5.3 セグメント テーブル

以下の表では、BIE が EDIFACT ORDERS メッセージにマップされています。

Pos	Tag Name	S	R
HEADER SECTION			
0010	UNH Message header 0065 = "ORDERS"	M	1
0020	BGM Beginning of message 1001 = Purchase Order_ Document. Type. Code 1004 = Purchase Order_ Document. Customer_ Identification. Identifier 1225 = Purchase Order_ Document. Purpose. Code	M	1
0030	DTM Date/time/period 2005 = 10 Shipment date/time, requested	M	1

2380 = Customer Required Shipping. Date

0070	FTX Free text	C	99	
	4451 = AAI General information			
	4440 = Miscellaneous_ Information. Text			
0090	----- Segment group 1 -----	C	3-----	
0100	RFF Reference	C	1	
	1153 = CT Contract number			
	1154 = Purchase Order_ Document. Sales Contract_ Identification. Identifier			
0100	RFF Reference	C	1	
	1153 = AGG Offer number			
	1154 = Purchase Order_ Document. Supplier Quotation_ Identification. Identifier			
0100	RFF Reference	C	1	
	1153 = AIH Common transaction reference number			
	1154 = Transaction. Reference. Identifier -----			
0120	----- Segment group 2 -----	C	4-----	
0130	NAD Name and address	C	1	
	3035 = OY Ordering customer			
0160	----- Segment group 3 -----	C	1-----	
0170	RFF Reference	M	1	
	1153 = VA VAT registration number			
	1154 = Customer_ Organisation. VAT_ Tax Identification. Identifier -----			
0130	NAD Name and address	C	1	
	3035 = ST Ship to party			
	3039 = Shipment Destination_ Location. Identifier			
0140	LOC Place/location identification	C	1	
	3227 = 88 Place of receipt			
	3225 = Receiving Storage_ Location. Identification. Code			
0130	NAD Name and address	C	1	
	3035 = MF Manufacturer of goods			
	3039 = Spare Part_ Item. Manufacturer_ Identification. Identifier			
0130	NAD Name and address	M	1	
	3035 = VN Vendor			
	3039 = Vendor_ Party. Identifier -----			

0410	----- Segment group 10 -----	C	1
0420	TDT Details of transport	M	1
	8051 = 20 Main-carriage transport		
	8067 = Transport. Method. Code -----		
0460	----- Segment group 12 -----	C	1
0470	TOD Terms of delivery or transport	M	1
	4055 = 5 Transport charges payment method code		
	4215 = Payment. Method. Code -----		
0490	----- Segment group 13 -----	C	1
0500	PAC Package	M	1
	7073 = Aircraft Part_ Packaging. Instruction. Code (conditions)		
	7065 = Aircraft Part_ Packaging. Instruction. Code (description)-----		
0620	----- Segment group 16 -----	C	1
0630	SCC Scheduling conditions	M	1
	4017 = 1 Firm delivery instruction code		
	4493 = Delivery instruction code		
	(= ? Transport. Not Before Fifteen Days Timeframe. Indicator) -----		
DETAIL SECTION			
1030	----- Segment group 28 -----	M	1
1040	LIN Line item	M	1
	7140 = Spare Part_ Item. Manufacturer_ Identification. Identifier		
	7143 = BZ Original equipment number (= Original equipment number allocated to spare parts by the manufacturer.)		
1080	QTY Quantity	M	1
	6063 = 21 Ordered quantity		
	6060 = Line Item. Ordered. Quantity		
1100	ALI Additional information	C	1
	4183 = 10 Ordered_ Item. Onward_ Leasing. Indicator		
1130	X GIS General indicator	C	1
	7365 = ? Order_ Processing. Response_ Priority. Code		

1150	GIR	Related identification numbers	C	1	
		7297 = ? Target equipment			
		7402 = Aircraft_ Equipment. Aviation Authority Assigned_ Identification. Identifier			
1320		----- Segment group 32 -----	M	1	
1330	PRI	Price details	M	1	
		5125 = CAL Calculation price			
		5118 = Unit Charge Price. Amount			
		5284 = Base Charge Price. Quantity			
		6411 = Measurement Unit. Code			
1340	CUX	Currencies	M	1	
		6347 = 2 Reference currency			
		6345 = Currency identification code-----			
1780		----- Segment group 43 -----	C	1	
1790	ALC	Allowance or charge	M	1	
		5463 = H Line item allowance			
1820		----- Segment group 44 -----	C	1	
1830	QTY	Quantity	M	1	
		6063 = 398 Maximum number of purchase orders allowed			
		6060 = Unit Price Discount. Order_ Base. Quantity. Quantity -----			
1850		----- Segment group 45 -----	C	1	
1860	PCD	Percentage details	M	1	
		5245 = 1 Allowance			
		5482 = Unit Price Discount. Percent -----			
SUMMARY SECTION					
2330	UNS	Section control	M	1	
2400	UNT	Message trailer	M	1	

#### 5.1.5.5.4 ステップ

EDIFACT 構文で予備部品発注メッセージを生成するために従うべきステップは以下のとおりです。

1. 文書の機能定義を EDIFACT メッセージの定義と比較します。定義が完全または十分に一致した場合は、基礎としてそのメッセージを採用し、欠けている機能で

EDIFACT の機能定義を拡張するよう要求します。それ以外の場合は、新たなメッセージを要求します。

2. 組み立て構造および ABIE それぞれについて、おそらくはより一般的な抽象化のレベルで定義が一致するセグメントを見つけ出します。一致するセグメントがなければ、新たな (一般的な) セグメントを要求します。
3. 見つかったセグメントが適格ならば、そのセグメントの限定コード一覧の中から ABIE の特定の定義に一致する限定詞を調べます。一致するものがない場合は、新たな限定詞を要求します。既存の限定詞の一部を採用できる場合は、変更を要求します。
4. セグメントの構造を確認します。多くの場合、その構造は ABIE の構造と一致しません。セグメント グループ内で使用したり、それぞれの BBIW (クラスタ) のセグメントを発見したりすることによって、ABIE に含まれる BBIE を適合させられるかどうかを見積もります。セグメントの要素およびサブ要素構造が BBIE の構造と一致し、定義も一致する場合は、その要素を使用します。必要に応じて、セグメント構造への変更および追加を要求します。
5. BBIE と要素を一致させる際は、補助コンポーネントの評価も忘れずに行ってください。補助コンポーネントは、別の要素もしくは別のセグメントで表さなければならないこともあります。

これらのステップと、それによって生成される EDIFACT メッセージは、コア構成要素を使用してさまざまな構文でメッセージを定義できるということを示す例に過ぎず、決して規範となるものではありません。UN/CEFACT は、EDIFACT によるコア構成要素生成が如何に行われるべきかに関するガイドラインおよび規則を後に発表する可能性があります。

### 5.1.6 結論

この例では、CC 技術仕様 V1.9 に基づくビジネス用語からコア構成要素を識別する方法について説明しました。最初に識別される際、CC にはビジネス コンテキストや構文が一切含まれていないので、どの業界のビジネス データにもマップすることができます。

ボーイング社の例では、CC は ATA 規格にマップされています。第 5.1.5.5 項の EDIFACT の例は、同じ CC を別のメッセージ標準フォーマットにマップする方法が示されています。マッピングは、業界が異なると同じアイデアが別の用語を使用して表され、これがビジネスの意思疎通やデータ統合を困難なものにしていることを示しています。コア構成要素は、異なる業界で定義された同じビジネス用語/概念に対して利用/再利用することができます。

CC を使用してビジネス文書やシステム データを定義することにより、ビジネス プロセス全体が向上し、データはサプライ チェーンのより多くの人々によって理解され、ビジネスの機会の増大につながる可能性があります。

## 5.2 EAN.UCC FMCG 小売配送例

FMCG 小売業領域には、配送のビジネス プロセスを網羅する世界規模の標準的な電子ビジネスのモデルおよびメッセージ セットは今のところありません。FMCG 小売配送プロセスの効率とビジネス情報の相互運用性を向上させ、構文に中立的な電子ビジネスソリューションをサポートするため、このビジネス プロセスは UML を使用してモデル化されました。詳細クラス図を作成した結果、コア構成要素は、コア構成要素技術仕様を使用して発見されました。

### 5.2.1 ビジネス条件ビュー (BRV)

#### 5.2.1.1 ビジネス プロセス ユース ケース説明

ユース ケース名	配送
トレーサビリティ ID	BP2.Delivery-DUDE1
動作主	購入者、販売者、発送先、発送元、運送業者
ユース ケース説明	販売者は、承認された発注のとおり、購入者に対して特定の商品を特定の場所および日時に供給する必要があります。
前提	発注が受理され、商品/付属文書の発送が用意されていること。 1 件の発注が 1 件の配送と関連すること。 発注を履行するための商品が入手可能であること。 運送業者と販売者の双方が配送の場所および日時を知っていること。 販売者が商品の発送を準備済みであること。 運送業者が配送する商品を回収すること。
事後条件	購入者/発送先 – 配送の受け入れ 運送業者 – 品物を配送し、購入者が配送品を受理したことを販売者に通知 購入者/発送先 – 配送された品物を発注と照合確認 購入者/発送先 – 元の発注のうち受領した品と受領していない品、そして受理した品と受理されない品を販売者に通知 販売者 – 購入者に送り状を作成できること
主なシナリオ	販売者による発送通知で <b>開始</b>  販売者は発送先当事者に商品の発送を通知します。 購入者は商品の発送通知を受け取ります。 運送業者は指定の場所および日時に商品を配送します。 購入者/発送先は商品を受け取り、受理します。 購入者/発送先は、発送通知と配送品とを照合します。 運送業者は、商品が配送されたことを販売者に通知します。  元の発注のうち受領した品と受領していない品、そして受理した品と受理されない品を購入者/発送先が販売者に通知した時点で <b>終了</b>
代わりとなるシナリオ	該当なし
特別な条件	
拡大ポイント	
含まれる条件	Req# 1 – 17

### 5.2.1.2 ビジネス プロセス アクティビティ図

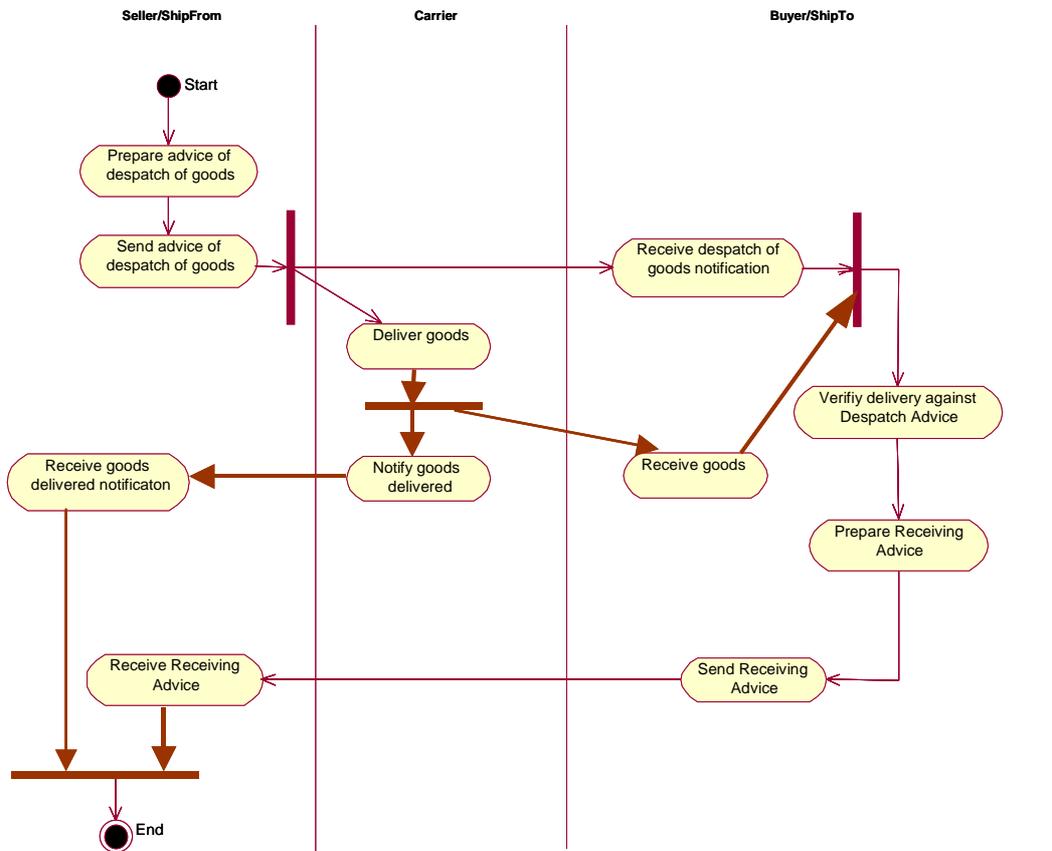


図 5-13 アクティビティ図

### 5.2.1.3 コース ケースの具体化

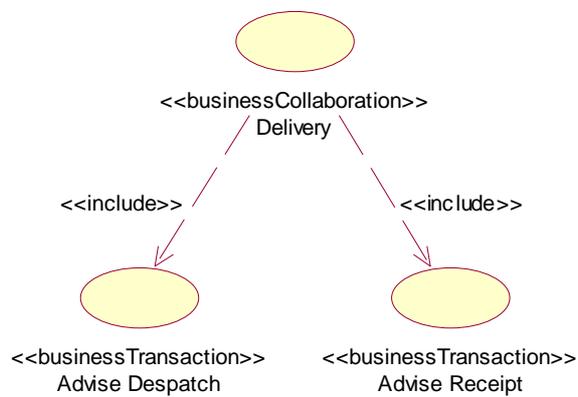


図 5-14 FMCG の配送 – BC2.Delivery

アクティビティ図では、ある動作主から別の動作主にコントロールが移されるたびに、何らかのコラボレーション活動が生じます。上で示されたビジネス コラボレーションは、これらのコラボレーション活動をサポートするために開発されるビジネス トランザクションを記述したものです。

注意: これには、必要なビジネス トランザクションがすべて含まれているわけではありません。例えば、運送業者と販売者間のトランザクションはこのビジネス モデルには含まれていません。

#### 5.2.1.4 ビジネス プロセス ユースケース図

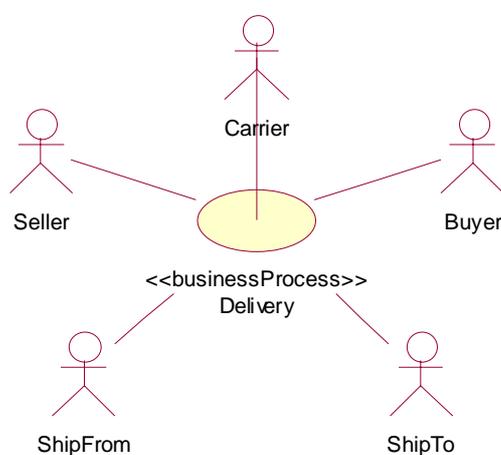


図 5-15 ユース ケース

## 5.2.1.5 条件一覧

Req. #	説明	出典	日付け	ステータス
1	販売者は、積荷ごとに発送通知を送信しなければなりません。	例	11/7/2002	MIG に含まれる予定です。
2	販売者は、発送先に商品を配送する前に、発送通知を送信しなければなりません。	例	11/7/2002	アクティビティ図に含まれます。
3	発送通知には、販売者にとって一意の ID が含まれていなければなりません。	例	11/7/2002	詳細クラス図、文書クラスに含まれます。
4	当事者はそれぞれ GLN を使用して識別されなければなりません。	例	11/7/2002	詳細クラス図に含まれます。
5	発送通知の通知が参照できる発注は 1 件です。	例	11/7/2002	詳細クラス図に含まれます。
6	発送通知の通知が参照できる契約は最大 1 件です。	例	11/7/2002	詳細クラス図に含まれます。
7	発送通知は、それぞれ発行の日付または日時を示さなければなりません。	例	11/7/2002	詳細クラス図に含まれます。
8	発送通知は、購入者と販売者を示さなければならず、また、発送先や発送元が購入者や販売者と異なる場合、そのいずれかまたは両方を示すこととします。	例	11/7/2002	詳細クラス図に含まれており、MIG にも含まれる予定です。
9	発送通知は運送業者を示すことができます。	例	11/7/2002	より詳しい説明を追加してください。すでに詳細クラス図に含まれています。
10	発送通知の通知が参照できる配送注意は最大 1 件です。	例	11/7/2002	詳細クラス図に含まれています。
11	発送通知の通知が参照できる積荷番号は最大 1 件です。	例	11/7/2002	詳細クラス図に含まれています。
12	当事者は ISO パレット以外使用しないことに同意します。	例	11/7/2002	条件は精緻化する必要があります。詳細クラス図に含まれます。

13	当事者は段ボール箱以外使用しないことに同意します。	例	11/7/2002	条件は精緻化する必要があります。
14	ロジスティクス ユニットの、それぞれ SSCC で識別されなければなりません。	例	11/7/2002	詳細クラス図に含まれています。
15	アイテムは、それぞれ GTIN を使用して識別されなければなりません。	例	11/7/2002	詳細クラス図に含まれています。
16	発送通知は、パレットのレベルから始まってアイテムのレベルで終了する、積荷の階層的な記述を可能にする必要があります。	例	11/7/2002	詳細クラス図に含まれています。
17	発送通知は、発送されたアイテムとその数量を示さなければなりません。オプションで使用期限や販売期限を含めることができます。	例	11/7/2002	詳細クラス図に含まれています。

### 5.2.1.6 ビジネス情報オブジェクト用語解説

(このセクションでは、ユースケースで指定された条件を満たす、当初の BIO について詳しく説明されています。)

(以下の用語解説にビジネス情報オブジェクトを記録してください。)

ビジネス用語	GDD キー	UID ebXML	辞書見出し名	定義	注釈
購入者	00000001	999960	Buyer Party. Details	商品が販売される側の取引パートナー	
販売者	00000002	999959	Seller Party. Details	購入者に商品を販売する側の取引パートナー	
運送業者	00000003	999956	Carrier Party. Details	指定された 2 地点間の商品輸送を実行または手配する第三者	
発送先	00000004	999957	Receiver Party. Details	商品が発送される、または発送された宛先の ID	
発送元	00000005	999958	Ship From Party. Details	商品が発送される、または発送された場所の ID	
発注	00000006	999999	Related Purchase. Details	購入者が、オファーで定められた条件もしくは購入者の既知の条件に従って、指定どおりに商品またはサービスを提供することに関連したトランザクションを販売者と開始する文書/メッセージ	
配送メモ				この積送品の内容に関して受領側の当事者に情報を提供する、積送品に添付された紙の文書	

ロジスティクス ユニット				サプライチェーン全体を通じて管理する必要のある、輸送や保管のために定められたアイテムのあらゆる構成	
発送通知				供給者または荷送人が購入者または荷受人に商品の発送について通知する文書/メッセージ	
受領通知				商品の受領、あるいは発送された商品と発注/予定された商品との不一致に関連したビジネスニーズに対処するメッセージ	
積送品				積送品は、運送会社に委託され、まとめて輸送される、論理的にグループ化された商品(1つ以上の物理的なエンティティ)です。	
発送				発送は、取引パートナー間で商品を移動するイベントです。	
契約				複数の当事者の正式な合意。(定義は未承認)	
発送アイテム				発送される個々のアイテム	
取引アイテム				あらかじめ定められた情報の検索が必要で、サプライチェーンのいずれかのポイントにおいて値段が付けられたり、発注されたり、あるいは請求されたりすることのあるすべてのアイテム(製品またはサービス)	
当事者				ビジネスプロセスにおいて特定の役割を果たす組織または組織内のエンティティ(定義は未承認)	

## 5.2.2 ビジネス トランザクション ビュー (BTV)

### 5.2.2.1 ビジネス トランザクション アクティビティ図

ビジネス トランザクション アクティビティは、特定のビジネス トランザクションを実行するビジネス コラボレーション プロトコルのアクティビティです。ビジネス トランザクションは、合意された形式、順序、および期間に生じなければならない、二者のビジネス パートナー間における一式のビジネス情報およびビジネス信号の交換です。

発送通知の通知パターン

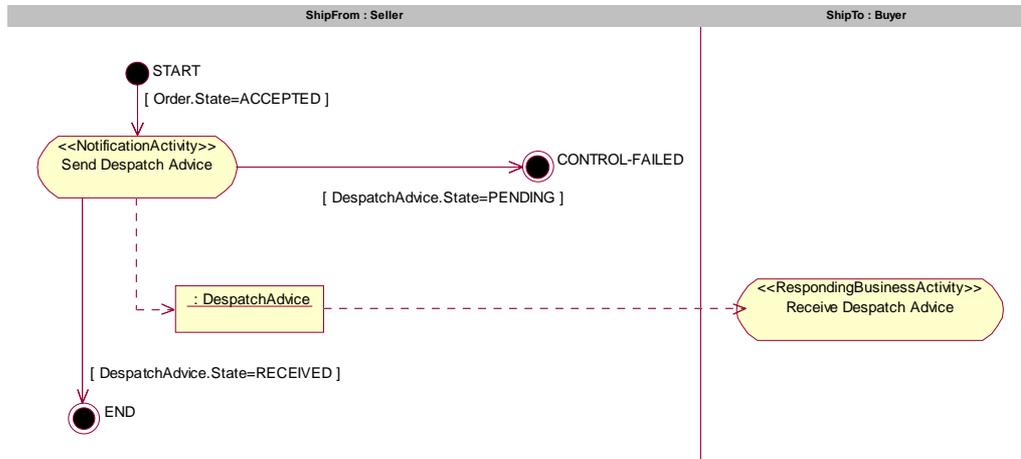


図 5-16

受領通知の通知パターン

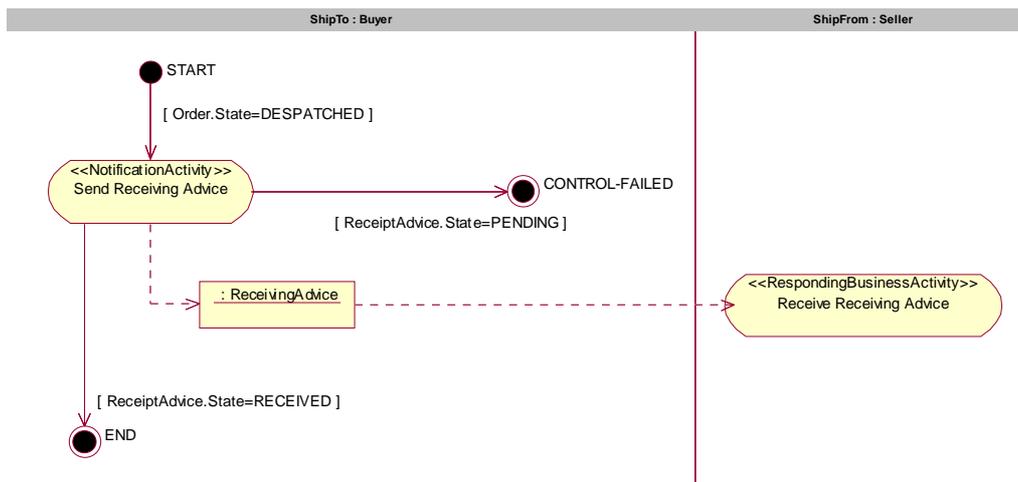


図 5-17

### 5.2.2.2 ハイレベルクラス図

ハイレベルクラス図の作成には、用語解説(第 5.2.1.5 項)のビジネス情報オブジェクトが使用されます。ハイレベルクラス図のクラスおよび属性の候補発見のため、GDD に含まれるビジネス情報オブジェクトも使用されます。

#### 5.2.2.2.1 配送ビジネスプロセス

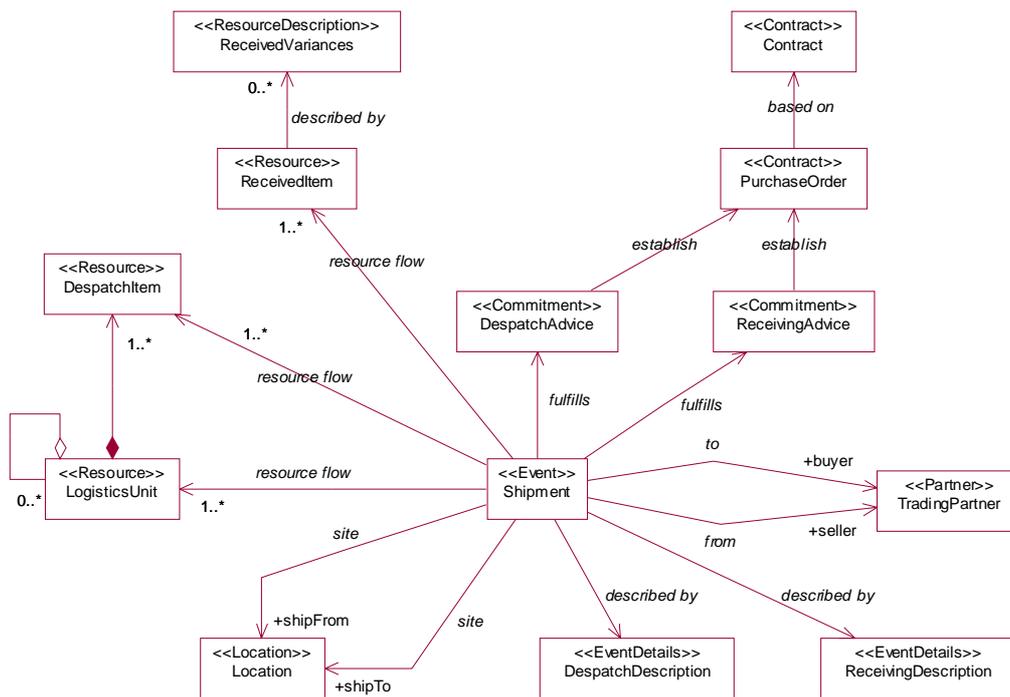


図 5-18

### 5.2.2.2.2 発送通知ビジネス文書

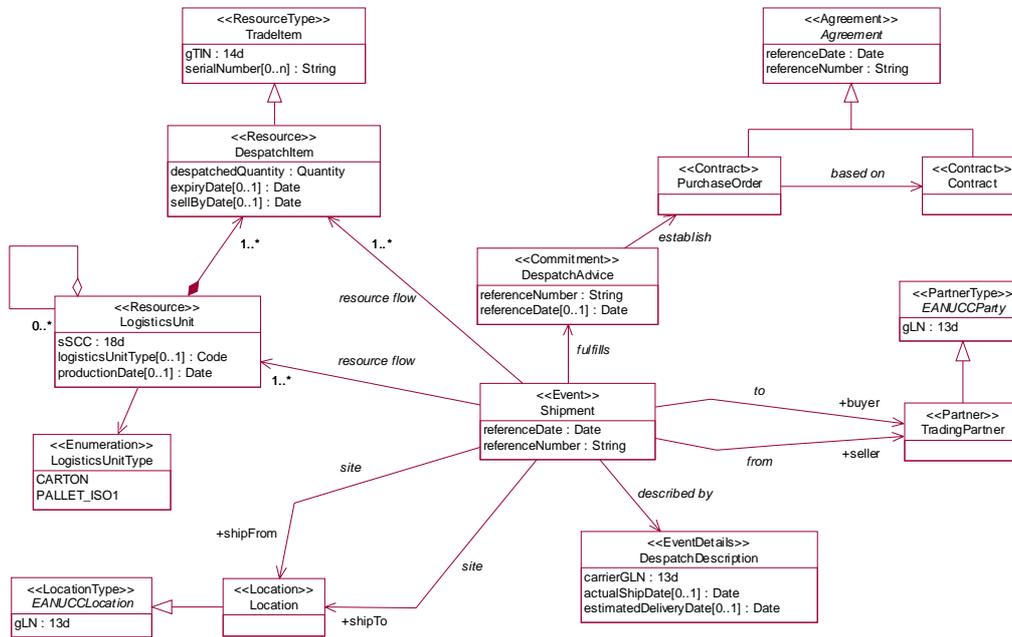


図 5-19

### 5.2.2.2.3 受領通知ビジネス文書

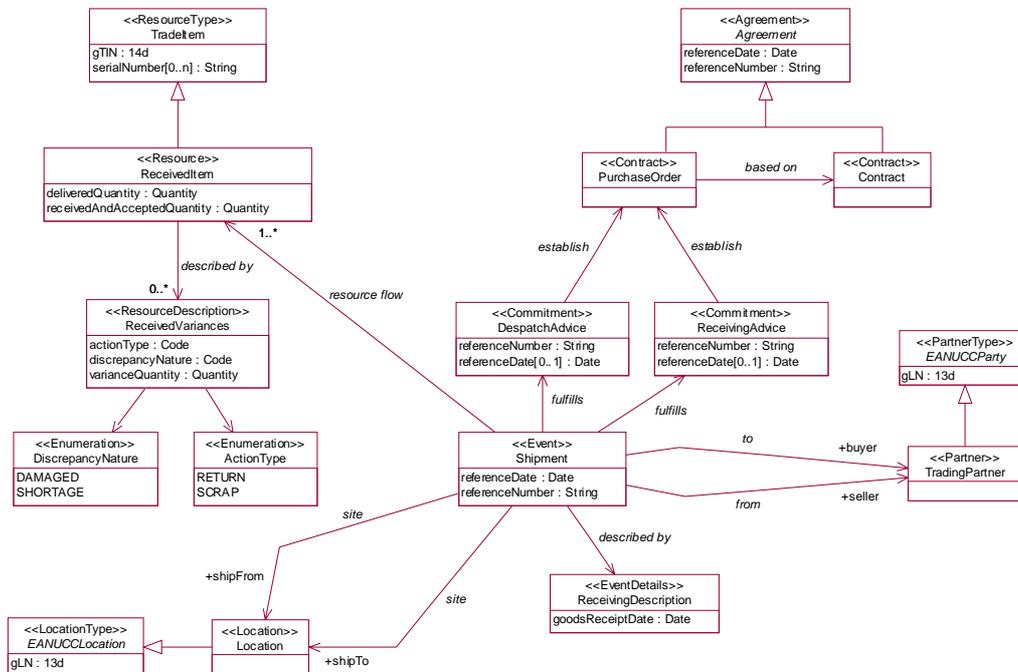


図 5-19

2003-06-16

## 5.2.3 ビジネス サービス ビュー (BSV)

### 5.2.3.1 シーケンス図

サービス交流は、開始サービスと対応サービス間の拘束力を持った相互交流です。

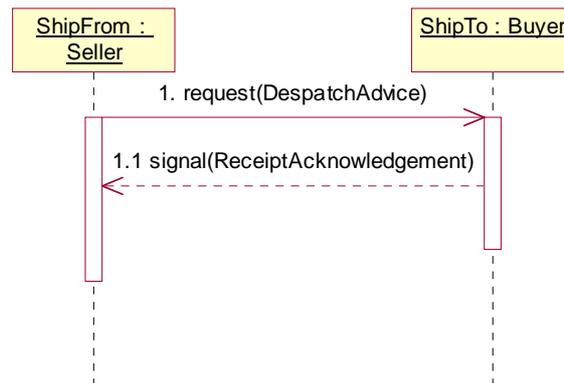


図 5-20 BC2.Delivery-BT1.AdviseDespatch-SI1.AdviseDespatch

注意: SI1.AdviseDespatch の設計には、サービス間の交流パターン E が使用されます。

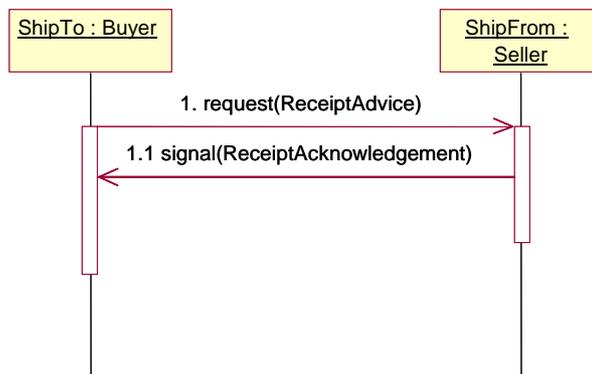


図 5-21 BC2.Delivery-BT1.AdviseDespatch-SI2.AdviseReceipt

注意: SI2.AdviseReceipt の設計には、サービス間の交流パターン E が使用されます。

### 5.2.3.2 コンテキスト分類スキーム

これは、ビジネス プロセスの 8 つのコンテキスト カテゴリの値を指定するための最終的なスキームです。

コンテキスト カテゴリ	値
ビジネス プロセス	配送
製品分類	消費財、取引アイテム
業界分類	FMCG 小売り
地政学的分類	グローバル
公的制約	なし
ビジネス プロセス役割	すべてのコンテキスト
サポート役割	すべてのコンテキスト
システム性能	EAN.UCC システム

### 5.2.3.3 詳細クラス図

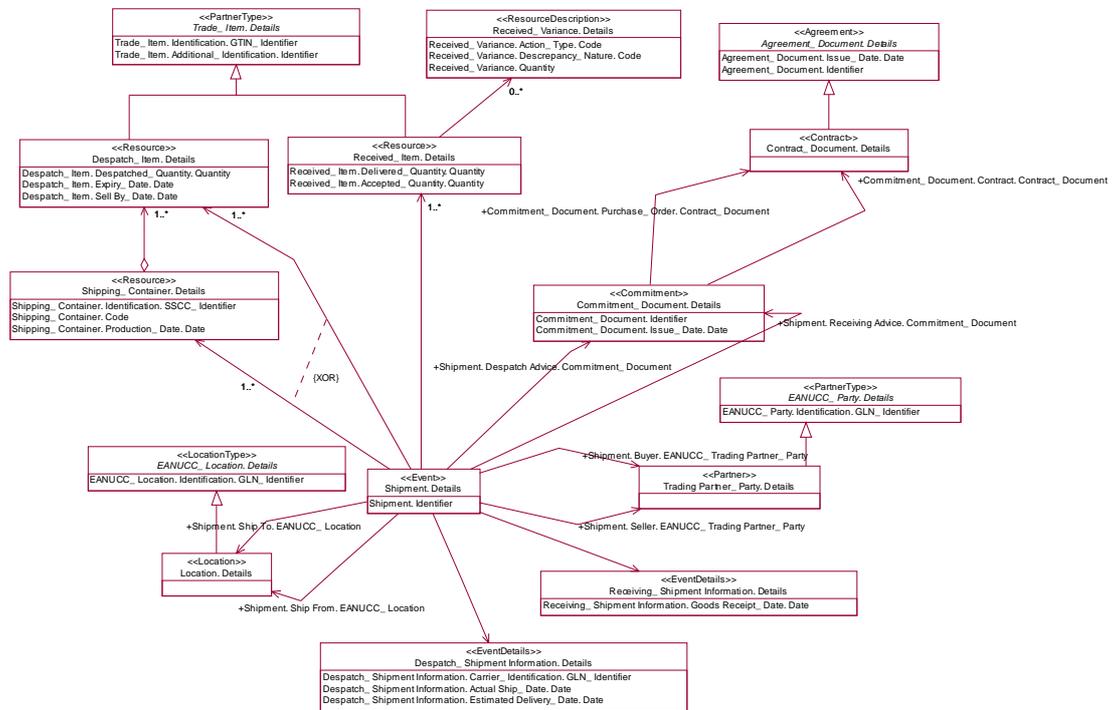


図 5-22 詳細クラス図



### 5.2.3.4.2 受領通知ビジネス文書 (クラス図)

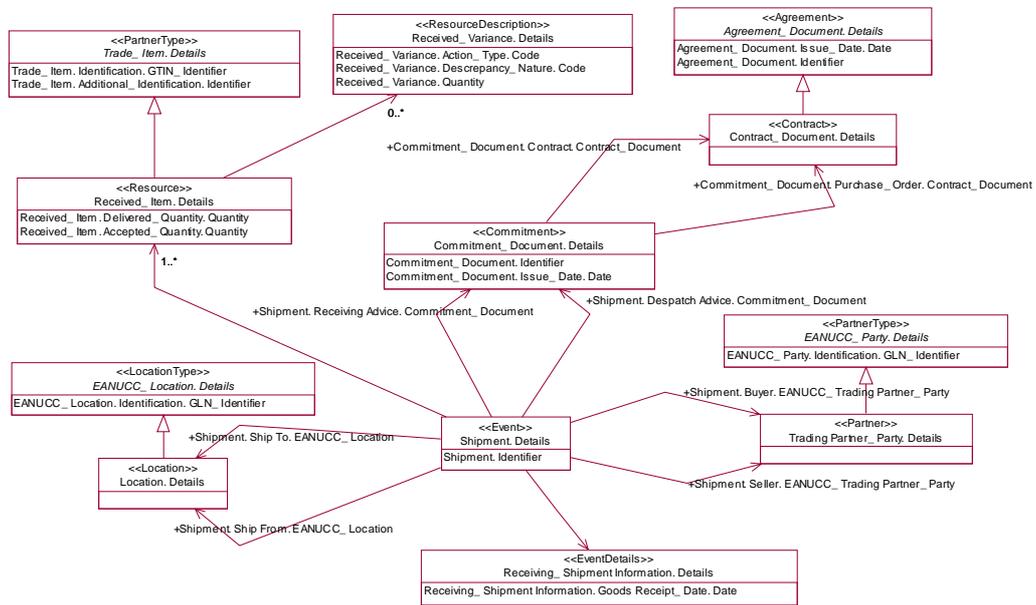


図 5-24 文書クラス図

## 5.2.4 コア構成要素参照リスト

Commitment	Document				Details	Document_Details	ACC	文書の詳細
	Document				Details	Commitment_Document_Details	ABIE	取引契約文書の詳細
	Document		(Identification)		Identifier	Document_Identifier	BCC	文書を一意に識別するのに使用される文字列
Commitment	Document		(Identification)		Identifier	Commitment_Document_Identifier	BBIE	取引契約を一意に識別するのに使用される文字列
	Document		(Date)		Date	Document_Date	BCC	文書に関連した日付け
Commitment	Document	Issue	Date		Date	Commitment_Document_Issue_Date_Date	BBIE	取引契約が発効された日付け
Commitment	Document	Purchase	Order	Contract	Document	Commitment_Document_Purchase_Order_Contract_Document	ASBIE	指定されたとおりの商品またはサービスの供給に関連する。オファーで定められた条件もしくは購入者に知られている他の条件に従って購入者が販売者とのトランザクションを開始する文書
Commitment	Document		Contract	Contract	Document	Commitment_Document_Contract_Contract_Document	ASBIE	複数の当事者間の正式な合意
	Shipment				Details	Shipment_Details	ACC	配送イベントの詳細
	Shipment				Details	Shipment_Details	ABIE	配送は、取引パートナー間で商品を移動するイベントです。
	Shipment		(Identification)		Identifier	Shipment_Identifier	BCC	配送を一意に識別する文字列
	Shipment		(Identification)		Identifier	Shipment_Identifier	BBIE	配送を一意に識別する文字列
	Shipment		Buyer	EAUCC Trading Partner	Party	Shipment_Buyer_EANUCC_Trading_Partner_Party	ASBIE	商品が販売される当事者
	Shipment		Seller	EAUCC Trading Partner	Party	Shipment_Seller_EANUCC_Trading_Partner_Party	ASBIE	購入者に商品を販売する当事者
	Shipment		Ship To	EAUCC	Location	Shipment_Ship_To_EANUCC_Location	ASBIE	商品の発送先
	Shipment		Ship From	EAUCC	Location	Shipment_Ship_From_EANUCC_Location	ASBIE	商品の発送元
	Shipment		Despatch Advice	Commitment	Document	Shipment_Despatch_Advice_Commitment_Document	ASBIE	販売者が商品の発送について購入者や運送業者に通知する文書
	Shipment		Receiving Advice	Commitment	Document	Shipment_Receiving_Advice_Commitment_Document	ASBIE	商品の受領、もしくは発送または発注/予定された商品との差異の通知に関連したビジネス ニーズに対処する文書
	Shipment Information				Details	Shipment_Information_Details	ACC	発送品情報に関する詳細
Despatch	Shipment Information				Details	Despatch_Shipment_Information_Details	ABIE	発送情報に関する詳細
Receiving	Shipment Information				Details	Receiving_Shipment_Information_Details	ABIE	受領情報に関する詳細
	Shipment Information		(Identification)		Identifier	Shipment_Information_Identifier	BCC	発送品を一意に識別するのに使用されるコード
Despatch	Shipment Information	Carrier	Identification	GLN	Identifier	Despatch_Shipment_Information_Carrier_Identifier_GLN_Identifier	BBIE	運送業者識別のための EAN.UCC-13 データ構造を使用する EAN.UCC グローバル ロケーション ナンバー (GLN)
	Shipment Information		(Date)		Date	Shipment_Information_Date	BCC	発送に関する日付け
Despatch	Shipment Information	Actual Ship	Date		Date	Despatch_Shipment_Information_Actual_Ship_Date_Date	BBIE	実際の商品発送日

Trade	Item				Details	Item_Details	ACC	アイテムの詳細	
Trade	Item				Details	Trade_Item_Details	ABIE	あらかじめ定められた情報の検索が必要で、サプライチェーンのいずれかのポイントにおいて集約が付けられたり、発注されたり、あるいは請求されたりすることのあるすべてのアイテム (製品またはサービス)	
Trade	Item		(Identification)		Identifier	Item_Identifier	BCC	アイテムを一意に識別するために使用される文字列	
Trade	Item		Identification	GTIN	Identifier	Trade_Item_Identifier, GTIN_Identifier	BBIE	EAN.UCC-8, UCC-12, EAN.UCC-13, または EAN.UCC-14 データ構造を使用する EAN.UCC グローバルトレードアイテムナンバー (GTIN)	
Trade	Item		(Identification)		Identifier	Item_Identifier	BCC	アイテムを一意に識別するために使用される文字列	
Trade	Item	Additional	Identification		Identifier	Trade_Item_Additional_Identifier	BBIE	取引アイテムを参照するために使用されるシリアルナンバー	
Despatch	Item				Details	Item_Details	ACC	アイテムの詳細	
Despatch	Item				Details	Despatch_Item_Details	ABIE	発送される個々のアイテム	
Despatch	Item		(Quantity)		Quantity	Item_Quantity	BCC	アイテムの数量	
Despatch	Item	Despatched	Quantity		Quantity	Despatched_Quantity, Quantity	BBIE	発送されるアイテムの発送数量	
Despatch	Item		(Date)		Date	Item_Date	BCC	アイテムに開運した日付け	
Despatch	Item	Expiry	Date		Date	Despatch_Item_Expiry_Date, Date	BBIE	発送されるアイテムの有効期限	
Despatch	Item	Sell By	Date		Date	Despatch_Item_Sell_By_Date, Date	BBIE	発送されるアイテムの販売期限	
Received	Item				Details	Item_Details	ACC	アイテムの詳細	
Received	Item				Details	Received_Item_Details	ABIE	受領される個々のアイテム	
Received	Item		(Quantity)		Quantity	Item_Quantity	BCC	アイテムの数量	
Received	Item	Delivered	Quantity		Quantity	Received_Item_Delivered_Quantity, Quantity	BBIE	配送された受領アイテムの数量	
Received	Item	(Receipt And) Accepted	Quantity		Quantity	Received_Item_Accepted_Quantity, Quantity	BBIE	受領された受領アイテムの数量	
Shipping	Container				Details	Container_Details	ACC	コンテナの詳細	
Shipping	Container				Details	Shipping_Container_Details	ABIE	サプライチェーン全体を通じて管理する必要がある、輸送や保管のために定められたあらゆる構成のコンテナ	
Shipping	Container		(Identification)		Identifier	Container_Identifier	BCC	コンテナを一意に識別するために使用される文字列	
Shipping	Container		Identification	SSCC	Identifier	Shipping_Container_Identifier, Identification, SSCC_Identifier	BBIE	18桁のデータ構造を使用したロジスティクスユニット (つまり輸送コンテナ) の一意の ID である、シリアル Shipping Container Code (SSCC)	
Shipping	Container		(Code)		Code	Container_Code	BCC	コンテナに開運したコード	
Shipping	Container	Type	Code		Code	Shipping_Container_Type_Code, Code	BBIE	輸送コンテナのタイプのコード	<<enumeration>> Carton, Pallet ISO 1
Shipping	Container		(Date)		Date	Container_Date	BCC	コンテナに開運した日付け	
Shipping	Container	Production	Date		Date	Shipping_Container_Production_Date, Date	BBIE	コンテナに開運した製造日	
Received	Variance				Details	Variance_Details	ACC	不一致の詳細	
Received	Variance				Details	Received_Variance_Details	ABIE	受領品不一致の詳細	
Received	Variance		Type		Code	Variance_Type_Code	BCC	不一致のタイプのコード	
Received	Variance	Action	Type		Code	Variance_Action_Type_Code	BBIE	受領品不一致のアクションタイプコード	<<enumeration>> Return, Scrap
Received	Variance	Discrepancy	Type		Code	Variance_Discrepancy_Type_Code	BBIE	受領品不一致の差異タイプコード	<<enumeration>> Damaged, Shortage
Received	Variance				Quantity	Variance_Quantity	BCC	不一致の数量	
Received	Variance				Quantity	Received_Variance_Quantity	BBIE	受領品不一致の数量	

### 5.2.5 コア構成要素概観

コア構成要素概観は、ABIE の構造とそれに関連した BBIE および ASBIE を図で示します。また、BIE が基礎を置く CC も示されます。

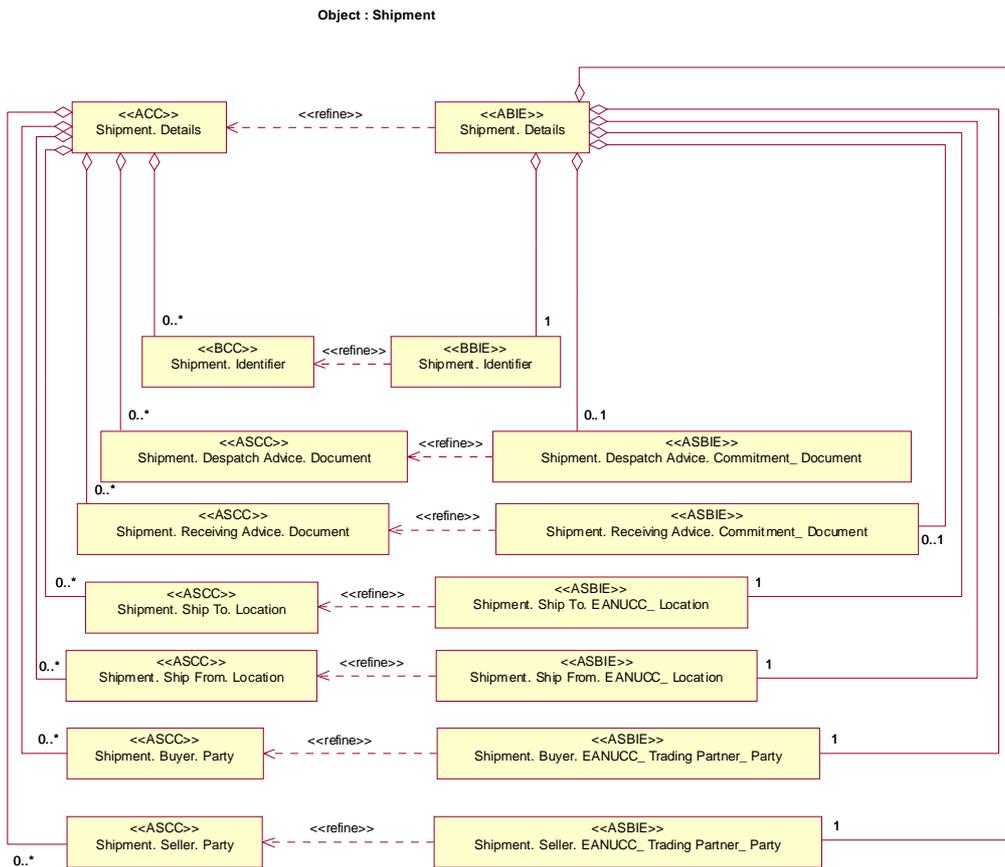


図 5-25

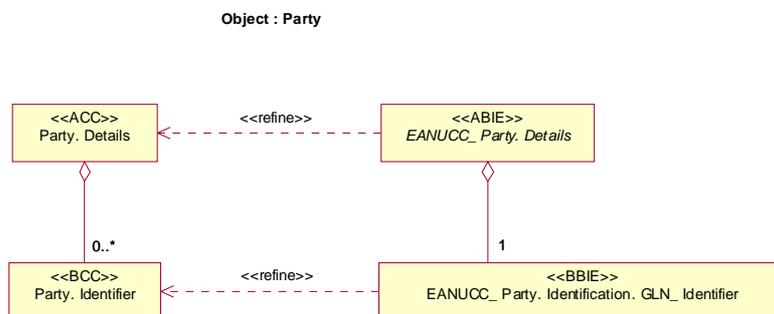


図 5-26

Object : Shipment Information

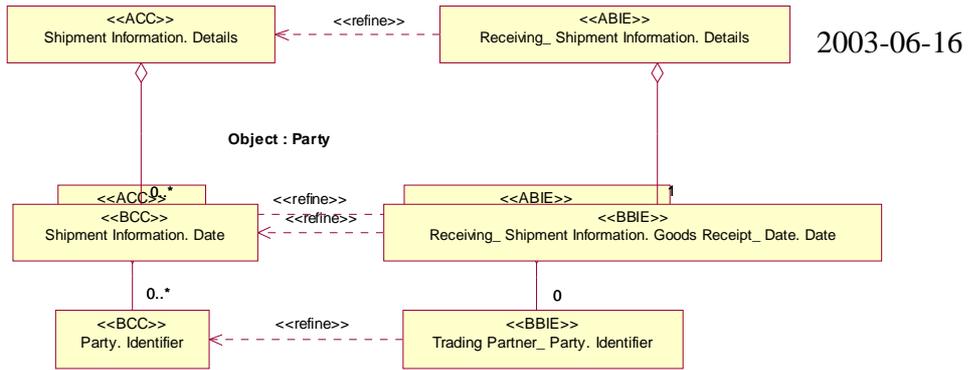


図 5-27

Object : Party

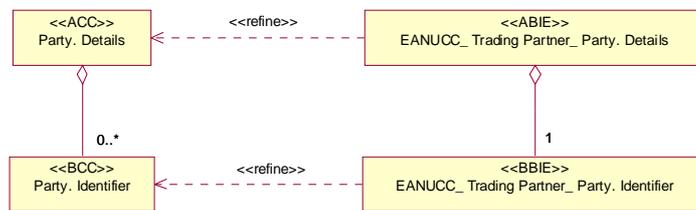


図 5-28

Object : Location

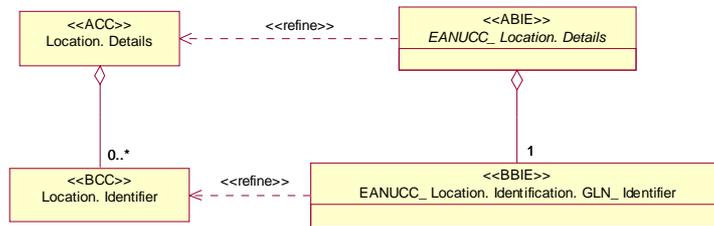


図 5-29

Object : Shipment Information

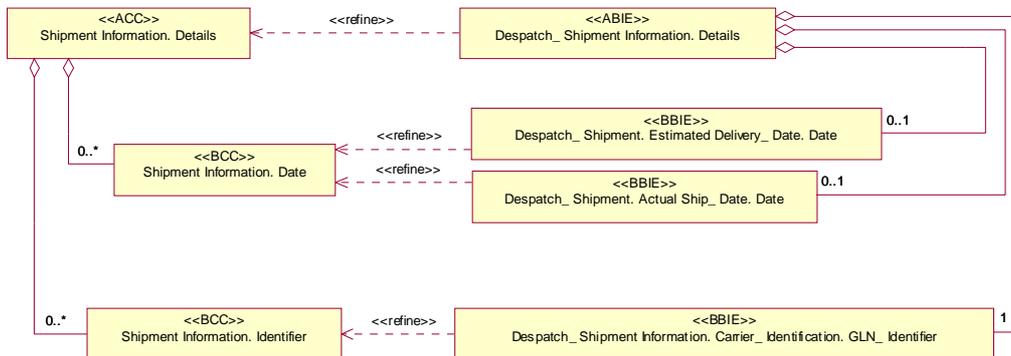


図 5-30

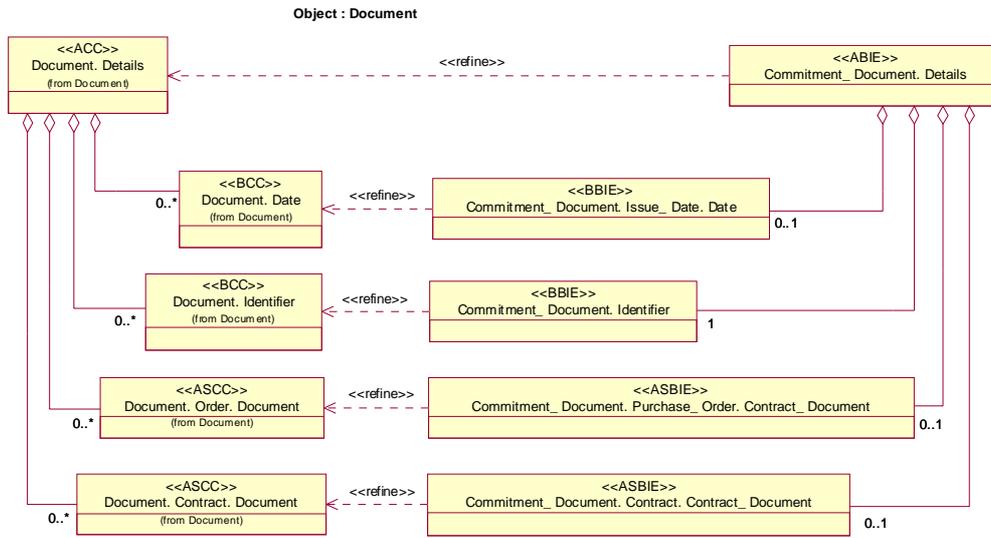


図 5-31

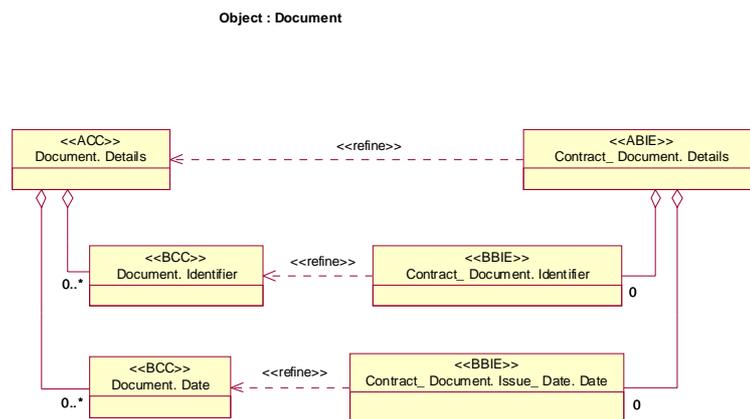
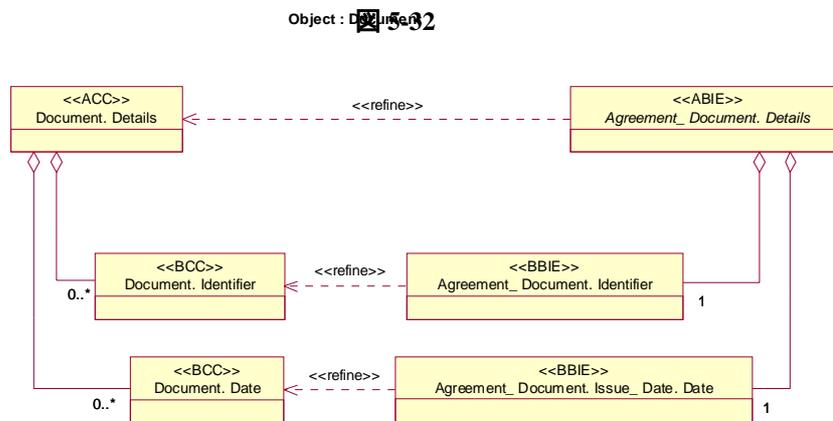


図 5-32



Object : Item

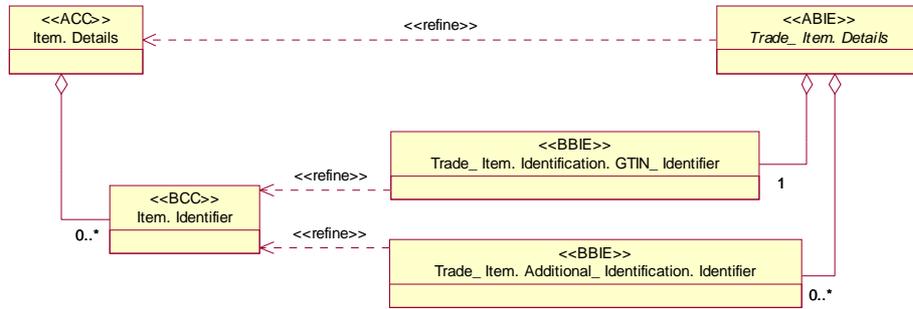


図 5-33

Object : Item

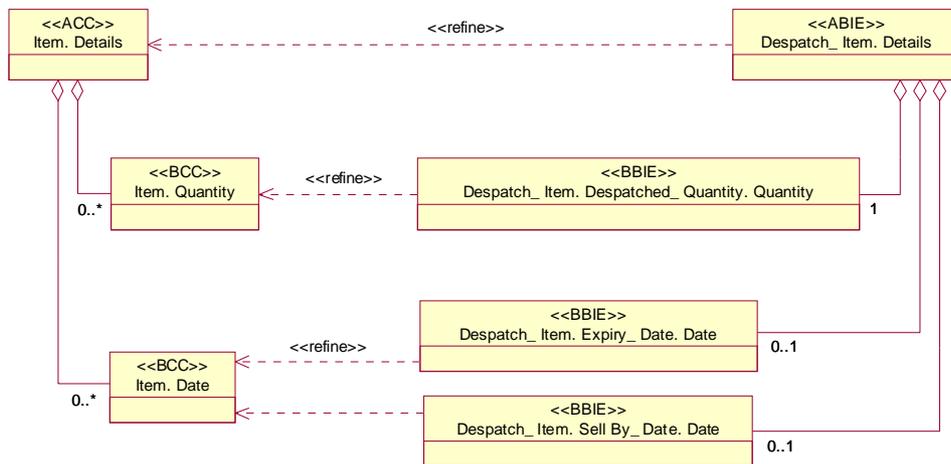


図 5-34

Object : Item

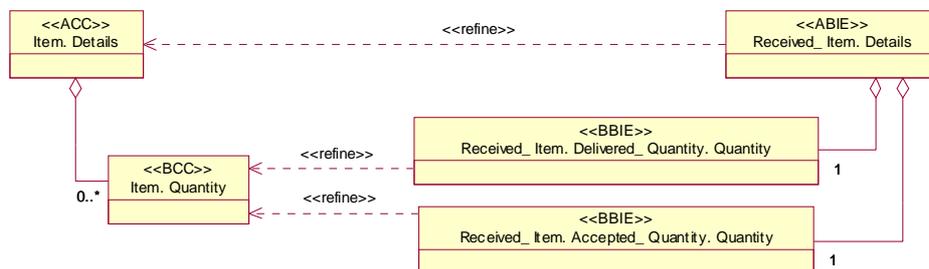


図 5-35

Object : Container

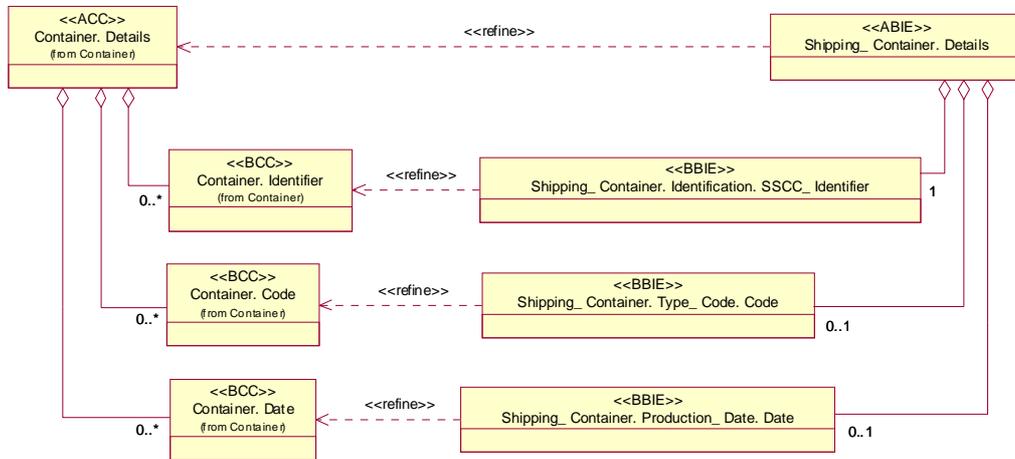


図 5-36

Object : Variance

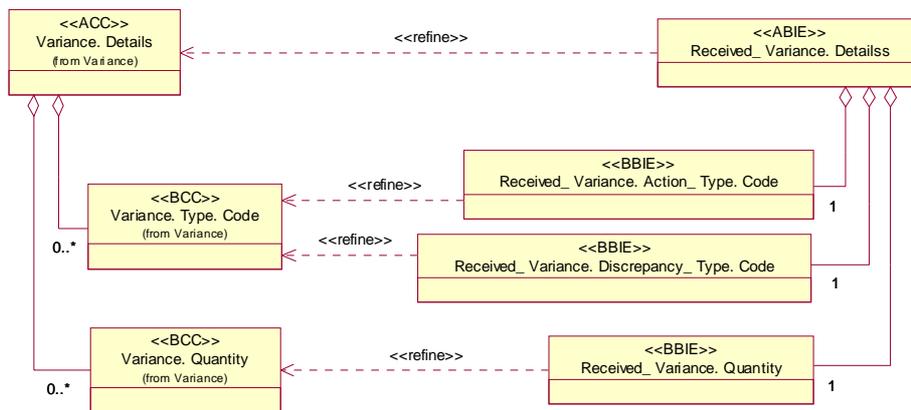


図 5-37

## 6. 用語解説

ABIE	ビジネス情報エンティティ集合体
ACC	コア構成要素集合体
ANSI	米国規格協会
ASBIE	関連ビジネス エンティティ
ASC	公認標準化委員会
ATA	米国輸送協会
BBIE	基本ビジネス情報エンティティ
BCC	基本コア構成要素
CC	コア構成要素
CCSD	コア構成要素補助文書
CCTS	コア構成要素技術仕様
EbXML	電子ビジネス拡張マークアップ言語
EDI	電子データ交換
UMM	UN/CEFACT モデリング方法論
UN/CEFACT	貿易簡易化と電子ビジネスのための国連センター
OASIS	構造化情報標準促進協会
XML	拡張マークアップ言語

## 付録 A

### 参考文献

- . UN/CEFACT – ebXML Core Components Technical Specification, Release 1.90 (UN/CEFACT – ebXML コア構成要素技術仕様、リリース 1.90)
- . UN/CEFACT' s Modelling Methodology, Draft CEFACT/TMWG/N090R10 (UN/CEFACT モデリング方法論、草案 CEFACT/TMWG/N090R10)
- . UN/CEFACT – e-Business Architecture Technical Specification – Revision 0.83 (UN/CEFACT – 電子ビジネス アーキテクチャ技術仕様 – 改定 0.83 版)
- . UN/CEFACT – e-Business Glossary Working Draft Revision 0.53 (UN/CEFACT – 電子ビジネス用語解説作業草案改定 0.53 版)
- . ebXML Business Process Specification Schema v1.05 (ebXML ビジネス プロセス仕様スキーマ v1.05)
- . OASIS/ebXML Registry Information Model v2.0 (OASIS/ebXML レジストリ情報モデル v2.0)
- . OASIS/ebXML Registry Services Specification v2.0 (OASIS/ebXML レジストリ サービス仕様 v2.0)
- . ebXML Requirements Specification v1.06 (ebXML 条件仕様 v1.06)
- . OASIS/ebXML Collaboration-Protocol Profile and Agreement Specification v2.0 (OASIS/ebXML コラボレーション プロトコル プロフィールおよび契約仕様 v2.0)
- . OASIS/ebXML Message Service Specification v2.0 (OASIS/ebXML メッセージ サービス仕様 v2.0)
- . ebXML Technical Report, Business Process and Business Information Analysis Overview v1.0 (ebXML 技術報告書、ビジネス プロセスおよびビジネス情報分析概観 v1.0)
- . ebXML Business Process Analysis Worksheets & Guidelines v1.0 (ebXML ビジネス プロセス分析ワークシートおよびガイドライン v1.0)
- . ebXML Technical Report, E-Commerce Patterns v1.0 (ebXML 技術報告書、電子商取引パターン v1.0)
- . ebXML Technical Report, Catalog of Common Business Processes v1.0 (ebXML 技術報告書、共通ビジネス プロセス カタログ v1.0)
- . ebXML Technical Report, Core Component Dictionary v1.04 (ebXML 技術報告書、コア構成要素辞書 v1.04)
- . ebXML Technical Report, Core Component Structure v1.04 (ebXML 技術報告書、コア構成要素構造 v1.04)
- . UN/CEFACT e-Business Architecture Technical Specification Revision 0.83 (UN/CEFACT 電子ビジネス アーキテクチャ技術仕様、改定第 0.83 版)
- . Information Technology - Metadata registries: Framework for the Specification and Standardization of Data Elements, International Standardization Organization, ISO 11179-1 (情報技術 – メタデータ レジストリ: データ エレメント仕様および規格のためのフレームワーク、国際標準化機構、ISO 11179-1)

- . Information Technology - Metadata registries: Classification of Concepts for the Identification of Domains, International Standardization Organization, ISO 11179-2 (情報技術 – メタデータ レジストリ: ドメイン識別の分類および概念、国際標準化機構、ISO 11179-2)
- . Information Technology - Metadata registries: Registry Metamodel, International Standardization Organization, ISO 11179-3 (情報技術 – メタデータ レジストリ: レジストリ メタモデル、国際標準化機構、ISO 11179-3)
- . Information Technology - Metadata registries: Rules and Guidelines for the Formulation of Data Definitions, International Standardization Organization, ISO 11179-4 (情報技術 – メタデータ レジストリ: データ定義形成のための規則およびガイドライン、国際標準化機構、ISO 11179-4)
- . Information Technology - Metadata registries: Naming and Identification Principles for Data Elements, International Standardization Organization, ISO 11179-5 (情報技術 – メタデータ レジストリ: データ エlement命名および識別の原則、国際標準化機構、ISO 11179-5)
- . Information Technology - Metadata registries: Framework for the Specification and Standardization of Data Elements, International Standardization Organization, ISO 11179-6 (情報技術 – メタデータ レジストリ: データ エlementの仕様および規格化のためのフレームワーク、国際標準化機構、ISO 11179-6)

## 著作権表示

Copyright © UN/CEFACT 2002. All Rights Reserved.

本書ならびに本書の翻訳版は、上記の著作権通知およびこの段落を含めることを条件として、全体的、部分的の別を問わず、何ら制限を課されることなくコピーを作成して他者に提供したり、本書の解説および説明、あるいは本書の実装支援を目的として、本書に派生する資料を作成、コピー、公開、および配布したりすることができます。ただし、英語以外の言語に翻訳する際に必要な場合を除き、著作権通知や UN/CEFACT への参照を削除するなど、本書自体を変更することは一切許されません。

上記で与えられた限定許可は永続的であり、UN/CEFACT、その継承団体、もしくはその指定団体によって取り消されることはありません。

本書ならびに本書に含まれる情報は、「現状」のまま提供されるものであり、UN/CEFACT は、明示、暗示の別を問わず、すべての保証を否認します。これには、本書に含まれる情報が他の権利を侵害しないことの保証や、商品性や特定の目的への適合性について暗示される保証が含まれますが、これらに限定されません。

改定履歴:

1. 図 4-1 の表記法を変更。
2. 717 行目の図の表記法を変更。
3. 第 5.1.1.3 項および図 5-2 のタイトルをビジネス コラボレーション プロトコルに、そして「businessCollaborationActivity」を「businessTransactionActivity」に変更。
4. 図 5-3 の水平線を削除し、オブジェクト名に下線を加え、オブジェクトフローの線を点線に変更し、条件に [] を追加。
5. 「Make Sense (意味を成す)」からの「No」の矢印が「再作業」のボックスに向かうように図 4-12 を修正。
6. いくつかの箇所で「basis」(基礎) を「basic」(基本) に変更。

(序文等)

(奥付)

禁 無 断 転 載

平成15年度 経済産業省 受託業務  
UN/CEFACT コア構成要素  
ユーザーズガイド  
平成 16年 3月 発行

発行所 財団法人 日本情報処理開発協会  
電子商取引推進センター  
東京都港区芝公園3丁目5番8号  
機械振興会館 3階  
TEL: 03(3436)7500

印刷所 (所 名)  
(住 所)  
TEL:

この資料は再生紙を使用しています。